

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	食物栄養学科
職名・職位	学長・教授
氏名（フリガナ）	上野 奈初美（ウエノ ナウミ）
最終学歴	大阪教育大学大学院教育学研究科実践学校教育専攻修士課程修了
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	大手前女子大学助手（1983 年） 大阪成蹊短期大学専任講師（1987 年） 大阪成蹊短期大学助教授（1995 年） 大阪成蹊短期大学教授（2002 年） 小田原短期大学教授（2014 年） 小田原短期大学学科長（2018 年） 小田原短期大学副学長（2022 年） 小田原短期大学学長（2024 年）
専門分野	健康科学、身体教育学
研究テーマ	保健関連行動における行動変容
担当授業科目	健康、健康指導法
教育研究業績	【論文】 ・「本学の地域貢献とその必要性 -ルディックウォーキング 講習会の取り組み-」 （共著）（人間関係学研究 19、2018 年） ・「大学生のマナーに関する研究-アンケート調査から-」 （共著）（人間関係学研究 23、2022 年） 【著書】 ・「保育士のための基礎知識」（共著）（大阪教育図書、2015 年） ・「幼稚園・幼保連携型認定こども園専門教養の要点と問題」（共著） （大阪教育図書、2016 年） ・「表現指導法 -感性を育て表現の世界を拓く-」（編著）（萌文書林、2020 年） ・「健やかな育ちを支える領域「健康」」（編著）（ミネルヴァ書房、2023 年） ・「感じて楽しむ身体表現 -保育者のための 15 のアイデア-」（編著） （萌文書林、2024 年） 【資格】 ・中学校教諭一級免許、高等学校教諭二級免許 ・福祉レクリエーションワーカー、レクリエーションインストラクター
所属学会	日本学校保健学会、日本体育・健康・スポーツ学会、日本保育学会、
主な社会活動	小田原市スポーツ推進審議会委員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	学科長・教授
氏名（フリガナ）	吉田 収（ヨシダ オサム）
最終学歴	武蔵野美術大学 造形学部油絵学科
保有学位	芸術学士
主な職歴	武蔵野美術大学 助手(1987 年) 小田原女子短期大学専任講師 (2004 年) 小田原女子短期大学助教 (2008 年) 小田原女子短期大学准教授 (2011 年) ※2014 年より小田原短期大学 小田原短期大学教授 (2017 年)
専門分野	彫刻
研究テーマ	造形全般
担当授業科目	【1 年】造形表現Ⅰ、造形表現Ⅱ、表現（造形）、【2 年】造形表現指導法、表現実践～造形遊び～、卒業研究(ゼミナール)、サービスラーニング
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成における表現の教育についての一考察～「五感を使った表現」の授業の試み～」(共著) 2011 年本学研究紀要・保育学会ポスター発表 【著書】 ・生活事例から始める造形表現(共著) 青踏社 2015 年 ・現場のエピソードに学ぶ保育士受験対策講座(共著)2017 年日本教育クリエイト ・保育の計画と評価～豊富な例で 1 からわかる(共著)2018 年萌文書林 【その他】(展覧会) ・「和み」展(共催)2012 年 Gallery hippo ・「蔦谷」展(共催)2013 年書店「蔦谷 代官山」 ・個展(単独)2015 年ギャラリーなつか ・個展(単独)2016 年トキ・アートスペース ・個展(単独)2017 年ギャラリーなつか ・小田原城アート now2018(共催)2018 年 報徳博物館 ・「植物区」展 2018 年(共催)ギャラリーなつか ・小田原城アート now2019(共催)2019 年、小田原城天守閣、報徳博物館 ・和文化・室礼 2019 小田原 清閑亭、新春アート展 2020 小田原うめこ ・小田原城アート now2021 (共催)2021 年 小田原城天守閣 ・個展(単独)2021 年 ギャラリーなつか ・「梅華展」三の丸ホール、「植物区」展 2022 年 ギャラリーなつか 【資格】 ・中学校教諭 1 種免許(美術)、高等学校教諭 1 種免許(美術)
所属学会	
主な社会活動	箱根町子ども子育て会議委員(委員長)

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	図書館長 ・教授
氏名（フリガナ）	今泉明美（イマイズミ アケミ）
最終学歴	武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業 東京学芸大学大学院教育研究科音楽教育専攻声楽講座修士課程修了 ウエストミンスタークワイヤー大学（米国）別科にて（声楽・ピアノ）単位取得
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	・小田原女子短期大学准教授（2004 年）※2014 年 4 月より小田原短期大学 ・小田原短期大学教授（2010 年～現在） ・学生指導支援委員会委員長（2012～2015） ・小田原短期大学図書館長（2016 年～現在）
専門分野	音楽教育（声楽・音楽表現・乳幼児の音楽表現）
研究テーマ	保育者養成校の音楽表現授業、声の表現、乳幼児の音楽的育ち、保育者研修
担当授業科目	音楽表現Ⅰ、表現（音楽）、音楽表現指導法、ピアノ弾き歌い、卒業研究ゼミナール、サービスラーニング、表現実践（ヴォイスパフォーマンス）
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成における音楽技能の教育についての一考察Ⅳ ～10 年後再調査の現状と課題～(共著)」(「小田原短期大学研究紀要」第 50 号・2020 年 3 月発行) ・「音楽的要素から検討した保育者養成課程の音楽教育（１）～リズムを中心に～（共著）」(「小田原短期大学研究紀要」第 51 号・2021 年 3 月発行) 他 ・「ピアノ弾き歌い授業における学習成果の検討～ハイブリッド型授業での試みを通して（共著）」(「小田原短期大学研究紀要」第 52 号・2022 年 3 月発行) 他 【著書】 ・「子どものための音楽表現技術（共編著）」(萌文書林・2017 年) ・「保育の計画と評価（共著）」(萌文書林・2018 年) ・「保育のためのやさしい子どもの歌～弾き歌い・合奏・連弾・合唱（共編著）」(ミネルヴァ司書房・2023 年) 他 【その他】 ・「保育者養成課程における音楽表現と地域の音楽文化①共著）」(日本保育学会第 78 回大会遠隔ポスター発表 2023 年) ・「ベルカント茅ヶ崎～クラシックヴォーカルコンサート（共同）」(2021、2022 年茅ヶ崎市民文化会館)に出演 【資格】 ・中学校教諭一級普通免許音楽・高等学校教諭一級普通免許音楽
所属学会	日本保育学会、日本音楽教育学会、全国大学音楽教育学会、日本声楽発声学会 日本オルフ音楽教育研究会、幼児音楽研究会
主な社会活動	神奈川県立大井高等学校運営協議会、地域の保育現場での音楽表現活動講師、小田原短期大学乳幼児研究所研究員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	有村さやか（アリムラサヤカ）
最終学歴	東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程音楽教育専攻修了
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	小田原女子短期大学保育学科専任講師・助教（2006 年） 小田原女子短期大学保育学科准教授（2011 年） 小田原短期大学保育学科教授（2020 年）
専門分野	作曲表現、音楽教育（幼児教育、保育者養成）
研究テーマ	作曲表現、乳幼児の音楽教育、保育者養成
担当授業科目	表現指導法、音楽表現Ⅱ、ピアノ弾き歌い、卒業研究ゼミナール、サービスラーニング、おだたん人間成長講座、表現実践
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成における音楽技能の教育についての一考察Ⅳ～10 年後再調査の現状と課題～（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 50 号 2020 年） ・「ピアノ弾き歌い授業における学習成果の検討～ハイブリッド型授業での試みを通して～（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 52 号 2022 年） 【著書】 ・「保育入門テキスト（共著）」（萌文書林出版・2015 年） ・「オルフ・シュールヴェルクの研究と実践（共著）」（朝日出版・2015 年） ・「幼稚園教諭・保育士養成課程 子どものための音楽表現技術―感性と実践力豊かな保育者へ―（編著）」（萌文書林出版・2017 年） ・「保育のためのやさしい子どもの歌（編著）」（ミネルヴァ書房出版・2023 年） 【その他】 ・「The shadow of air – for Guiter and Contrabass」（作品発表 於:第 14 回嶺南国際現代音楽祭日本人作曲家招聘作品 2011 年） ・「Expression for Flute solo」（作品発表・演奏指導 於:第 36 回九州・沖縄国際現代音楽祭/『音楽現代 2016 年 11 月号』（芸術現代社）批評掲載 2016 年） 【資格】 ・中学校教諭専修免許（音楽）・高等学校教諭専修免許状（音楽） ・司書教諭資格
所属学会	九州作曲家協会、日本音楽教育学会、日本保育学会、幼児音楽研究会、日本オルフ音楽教育研究会
主な社会活動	日本オルフ音楽教育研究会、神奈川県保育エキスパート等研修講師、子ども園音楽講師

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	佐藤 みどり （サトウ ミドリ）
最終学歴	お茶の水女子大学大学院人文科学研究科舞踊教育学専攻 修士課程修了 放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻(人間発達科学) 修士課程修了
保有学位	文学修士 , 修士（学術）
主な職歴	国際武道大学体育学部助手 (1984 年) 国際武道大学体育学部教授 (2000 年) 小田原短期大学教授 (2015 年)
専門分野	教育学（舞踊教育, 幼児教育・保育）
研究テーマ	舞踊創作に関する実践研究, 「身体表現」科目の学習内容と成果
担当授業科目	身体表現Ⅰ 身体表現Ⅱ 卒業研究（ゼミナール）
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成課程における「身体表現」科目の学習内容の検討-アクティブラーニングに視点を置いた分析-(単著)」淑徳大学短期大学研究紀要第 57 号・2017 年 ・「保育者養成課程における身体表現科目の学習成果-コロナ禍における互いの距離と深い学びに関する一考察（単著）」小田原短期大学研究紀要 52 号・2022 年 【著書】 ・「教育・保育実習に役立つ部分実習指導案集（共著）」萌文書林, 2018 年 ・「アクティブラーニング対応～乳児保育（共著）」萌文書林, 2018 年 ・「感性を育て、表現の世界を拓く表現指導法（共著）」萌文書林, 2020 年 【その他】 ・「保育現場につながる“深い学び”とは～保育者養成課程「身体表現」授業の実践とその成果～（単著）」女子体育 vol.61-4/5, 2019 年 ・ポスター発表（共同）“How to Evaluate Creative Dance: Comparative Study between Teachers and Learners ” (IAPESGW World Congress/第 18 回国際女子体育会議・Barry 大学) May17-21, 2017 ・舞踊公演（合同）振付・出演：さとみどり 現代舞踊協会主催「モダンダンス 5 月の祭典」（めぐろパーシモンホール） 2019 年 PROJECT NAO PRESENTS「DANCE 創世紀」（北沢タウンホール） 2021 年 Free Package vol.36 SUN ARTS ダンスシリーズ（俳優座劇場） 2022 年 日本オルフ音楽教育研究会主催「カール・オルフの音楽教育セミナー」講師 2022 年 第 64 回全国舞踊コンクール 創作舞踊部 第 3 位受賞（東京新聞主催） 【資格】 ・小学校教諭 1 級普通免許状 ・中学校教諭 1 級普通免許状(保健体育) ・高等学校教諭 2 級普通免許状(保健体育)
所属学会	日本体育学会, 舞踊学会
主な社会活動	現代舞踊協会員, 舞踊作家協会員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	野津 直樹（ノヅ ナオキ）
最終学歴	玉川大学大学院文学研究科教育学専攻
保有学位	学士（法学） 修士（文学）
主な職歴	小田原女子短期大学助教（2008 年） 小田原短期大学講師（2014 年） 小田原短期大学准教授（2016 年） 小田原短期大学教授（2024 年）
専門分野	教育学、子ども学
研究テーマ	保育者としての葛藤と成長 新型コロナウイルス感染症影響下における保育者の葛藤 ドキュメンテーションの導入と活用 等
担当授業科目	保育者論、環境、環境指導法、保育・教職実践演習（幼稚園）、教育実習、 教育実習指導、ゼミナール、サービ斯拉ーニング、生活実践Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「ドキュメンテーションの導入と活用」（「小田原短期大学研究紀要」第 53 号・2023 年） ・「新型コロナウイルス感染症影響下における一保育所の現状（単著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 51 号・2021 年） ・「新型コロナウイルス感染症流行下において教育実習における学びを保障するための教育プログラム開発について（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 51 号・2021 年） ・「地域子育てひろばを活用した乳幼児家庭全戸支援（1）～小田原モデルの研究と試行～（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 45 号・2015 年） 【著書】 ・「保育・教職実践演習 実践力のある保育者を目指して（編著）」（萌文書林・2023 年） ・「保育者論―主体性のある保育者を目指して―（編著）」（萌文書林・2020 年） ・「保育する力（共著）」（ミネルヴァ書房・2018 年） ・「保育の計画と評価 豊富な例で 1 からわかる（共著）」（萌文書林・2018 年）
所属学会	日本保育学会 こども環境学会 日本児童学会
主な社会活動	社会福祉法人国府津保育園会評議員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	間野 百子（マノ モモコ）
最終学歴	東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻博士後期課程単位取得満期退学
保有学位	修士（教育学）博士（子ども学）
主な職歴	小田原短期大学教授（2014 年 4 月～）
専門分野	教育学（教育社会学、青少年問題、世代間交流）子ども学、幼児教育学
研究テーマ	課題を抱える子ども・若者支援、体験格差、対人援助ボランティアの学び
担当授業科目	教育社会学、幼児理解の理論と方法、保育・教育実践演習、卒業研究、サービス・ラーニング、基礎学力演習Ⅰ
教育研究業績	【論文】 ・「成人教育におけるセルフ・ヘルプ活動の役割—米国の『祖父母の会』に着目して（単著）」（『アメリカ教育学会紀要』第 20 号、2009 年、pp.58-69） ・「米国における祖父母と孫の世代間家族の現状と課題—孫を養育する祖父母支援に焦点をあてて（単著）」（『日本世代間交流学会誌』第 2 号、2012 年、pp.9-17） ・「課題を抱える少年支援ボランティアは活動をどのように体験するか（単著）」（『日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要』第 32 号、2019 年、pp.17-28） ・「少年支援ボランティアの長期継続を通じた援助成果の認識—BBS 会『ともだち活動』体験者の継時的変化に焦点をあてて」（単著）」（『更生保護学研究』日本更生保護学会、第 15 号、2019 年、pp.3-12） ・「課題を抱える少年と BBS(Big Brothers and Sisters) 会ボランティア援助者の相互交流プロセス—複線径路等性アプローチ(TEA Trajectory Equifinality Approach) による分析（単著）」（『小田原短期大学紀要』第 51 号、2021 年、pp.33-44） ・「課題を抱える少年支援におけるボランティア援助者の役割—長期継続者の学びに着目して（単著）」（『小田原短期大学紀要』第 53 号、2023 年、pp.55-71） 【著書】 ・『世代間交流学の創造—無縁社会から多世代間交流型社会の実現のために（共編著）』（あけび書房、2010 年 12 月） ・「ラーニング・ストーリーによる子ども理解の深まり（単著）」（野津直樹・宮川萬寿美編著『保育・教職実践演習—実践力のある保育者を目指して』萌文書林、2023 年） 【その他】 ・生涯学習の学習需要の実態とその長期的変化に関する調査研究報告書」文部科学省 国立教育政策研究所生涯学習政策研究部、立田慶裕研究代表（2010～2012 年度）国立教育政策研究所 他 【資格】 ・中学校教諭免許一級普通免許・高等学校教諭免許二級普通免許（英語科）
所属学会	日本教育学会、日本社会教育学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、日本更生保護学会、日本社会福祉学会、日本世代間交流学会 他
主な社会活動	日本世代間交流協会 他

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	特任教授
氏名（フリガナ）	宮川 萬寿美 （ミヤカワ マスミ）
最終学歴	お茶の水女子大学 大学院 家政学研究科 児童学専攻
保有学位	修士(児童学)
主な職歴	小田原短期女子大学 保育学科准教授を経て教授 （校名変更） 小田原短期大学 特任教授 小田原短期大学 乳幼児研究所所長
専門分野	児童学(保育、発達臨床)
研究テーマ	保育実践、心理劇
担当授業科目	保育原理、保育内容総論 I、保育実習指導 1A・II、保育実習、生活実践（保育と心理学）、言語表現、保育内容言語、通信課程も担当あり
教育研究業績	【論文】 ・地域の祭りをきっかけとした保育内容―地域文化の継承と創造―(共著)(「保育士養成協議会研究大会発表」2014) ・子どもの発達を総合的に促す保育活動の研究(2) 箱根町ソーラン踊りを通して(共著)(「小田原短期大学紀要」第 46 号・研究ノート 2016) ・発達臨床における子どもの自己のありように関する基礎的検討-親面接による質的研究- (単著)「第 37 回日本関係学会大会研究発表、関係学研究に掲載 【著書】 ・生活事例から始める保育内容総論 (共著)青踏社(2014) ・生活事例から始める保育原理 (共著)青踏社・(2015) ・保育の計画と評価 (共著)萌文書林・(2018) ・保育する力 (共著)ミネルヴァ書房・(2018) ・「保育内容「言葉」指導法(共著)ミネルヴァ書房(2018) ・保育者論(共著)萌文書林(2020) ・表現指導法(共著)萌文書林(2020) ・保育教職実践演習(共著)萌文書林 (2023) 【その他】 【資格】 ・幼稚園教諭一級免許 ・小学校教諭一級免許 ・臨床発達心理士
所属学会	日本保育学会・日本臨床発達心理士会 ・日本発達心理学会・日本心理劇学会（理事）・日本関係学会（事務局）・日本人間関係学会
主な社会活動	・小田原市・箱根町 早期発達・保育巡回相談員 ・社会福祉法人鎌倉すこやか会 保育園みつばち 監事 ・神奈川県教育委員会新採用職員研修指導員 ・湘南心理研究会「コスモスの会」運営委員 ・神奈川県児童福祉員議会委員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	上野 文枝（ウエノ フミエ）
最終学歴	奈良女子大学大学院人間文化研究科社会生活環境学専攻博士後期課程満期退学
保有学位	修士（家政学、社会福祉学）
主な職歴	社会福祉法人東京都福祉事業協会母子生活支援施設スタルト方南母子指導員（現：母子支援員）（1998 年） 東萌保育専門学校（現：埼玉東萌短期大学）専任講師(2005 年) 皇学館大学社会福祉学部助手（2007 年）、同学部助教(2008 年) 皇学館大学現代日本社会学部助教（2013 年） 小田原短期大学専任講師（2015 年）、准教授（2019 年）
専門分野	社会福祉学（子ども家庭福祉、社会的養護）、ジェンダー学
研究テーマ	母子家庭の現状と対策、児童虐待の現状と対策、不適切保育の防止
担当授業科目	社会的養護Ⅰ・Ⅱ、保育実習指導(施設)、子育て支援
教育研究業績	【論文】 ・「母子家庭の自立支援の現状と課題—元母子生活支援施設利用者へのインタビュー調査から—」（単著）（皇学館大学社会福祉論集第 11 号、2009 年） ・「現代日本における教育と福祉の共同—スクールソーシャルワーカー活用事業の経緯と今後の展望—」（単著）(皇学館大学社会福祉学部紀要No.13、2011 年) ・「母子寮及び父子寮に関する研究—ひとり親家庭に対する施策の変遷について—」(単著)（日本ジェンダー研究第 17 号、2014 年） ・「台湾におけるオルターナティブな出産としての「やさしい出産」—新たな助産師教育課程修了生の活動する出産施設調査から—」(共著)（千里金欄大学紀要、2020 年） 【著書】 ・「事例でわかる保育士受験対策講座社会的養護」（単著）(株)クリエイト、2016 年) ・「保育する力」(共著)(ミネルヴァ書房、2018 年) ・「よりそい支える社会的養護Ⅰ・Ⅱ」(共著)(教育情報出版、2019 年) ・「実習生の日誌事例から考察する社会的養護Ⅱ」(共著)(大学図書出版、2020 年) ・「保育者論—主体性のある保育者を目指して」（共著）（萌文書林、2020 年） ・「保育・教職実践演習 実践力のある保育者を目指して」(共著)(萌文書林、2023 年) 【その他】 ・「保育者による子ども虐待及び不適切な保育の防止について～被措置児童等虐待対応ガイドラインを参考に～」(単著)（小田原短期大学紀要第 49 号、2019 年） 【資格】 ・中学校教諭・高校教諭 1 級免許家庭、社会福祉士
所属学会	日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本子ども虐待防止学会、日本ジェンダー学会、日本家政学会家族関係学部会、日本保育者養成教育学会
主な社会活動	かながわ福祉サービス第三者評価推進機構評価調査者養成研修部会委員、他

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	内山 絵美子（ウチヤマ エミコ）
最終学歴	筑波大学人間総合科学研究科教育基礎学専攻 博士後期課程 単位取得退学
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	小田原短期大学助教（2014 年）→小田原短期大学専任講師（2017 年～）→小田原短期大学准教授（2024 年） 玉川大学非常勤講師、星槎大学大学院非常勤講師、山梨県立大学非常勤講師、東京学芸大学非常勤講師
専門分野	教育行政、教育経営、教育制度
研究テーマ	教育政策形成過程、地方自治体の教育政策、学校経営、保育カリキュラム
担当授業科目	教育制度論、保育カリキュラム論、日本国憲法、職業と社会、教育実習／教育実習指導
教育研究業績	【論文】 ・Digital Transformation in Primary and Secondary Education in Japan : <i>Emerging Trends and Historical Perspectives Surrounding Digital Transformation in Education: Achieving Open and Blended Learning Environments</i>, IGI Global （2023）〔分担執筆・査読有〕 ・「保育者養成課程における「ボランティア活動」の授業に関する研究（3）－コロナ禍における物を介したボランティア活動－」（『小田原短期大学研究紀要』第 52 号、2022、研究ノート）〔共著・査読有〕 ・「学校現場における授業スタンダードの普及―作成のプロセスと活用の実態に焦点を当てて―」（『日本教育行政学会年報』第 44 号、2018）〔単著・査読有〕 ・「学校マネジメント研究の国際動向～学校財務に焦点を当てて～」（『小田原短期大学研究紀要』第 45 号、2015）〔単著・査読有〕 【著書】 ・『保育士・教員のための憲法』（八千代出版、2024）〔分担執筆〕 ・『新訂 2 版 JSCP 双書 3 保育者・幼稚園教諭のための教育制度論 ～この 1 冊で基礎から学ぶ～』（教育開発研究所、2023）〔編著〕 ・『第 3 版 保育の計画と評価～豊富な例で一からわかる～』（萌文書林、2023）〔分担執筆〕 ・『学校教育制度概論（第 3 版）』（玉川大学出版会、2022）〔分担執筆〕 ・『予算財務で学校マネジメントが変わる』（学事出版、2016）〔分担執筆〕 【その他】 ・ポスター発表「コロナ禍を経た保育者養成課程におけるボランティア活動の展開―対面・非対面の手法を組み合わせた地域貢献―」（日本保育学会第 56 回大会、2023 年）共著
所属学会	日本教育行政学会、日本教育経営学会、日本教育制度学会、日本教育政策学会、日本スクールコンプライアンス学会、教師教育学会、日本保育学会
主な社会活動	小田原市新しい学校づくり検討委員会、小田原市幼児教育・保育アドバイザー事業

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	大浦 賢治（オオウラ ケンジ）
最終学歴	早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学
保有学位	修士（文学・教育学）
主な職歴	東京立正短期大学講師（2011 年） 小田原短期大学講師（2016 年） 准教授（2020 年）
専門分野	心理学（発達心理学 教育心理学 教育方法）
研究テーマ	認知発達 教育方法 保育学
担当授業科目	教育の方法と技術 職業と社会Ⅰ・Ⅱ
教育研究業績	【論文】主なもの ・「選言 3 段論法に関する推論様式の発達（単著）」（「教育心理学研究」第 60 号 2012 年 日本教育心理学会） ・「子どもの条件文解釈における実用的推論スキーマ説の妥当性（単著）」（「発達心理学研究」第 25 号 2014 年 日本発達心理学会） ・「ピアジェ理論に基づく幼児教育の特質とその課題－松井とカミイの比較を中心に－（単著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 53 号 2023 年 小田原短期大学） 【著書】主なもの ・「実践につながる新しい保育の心理学（編著）」（ミネルヴァ書房 2019 年） ・「保育士受験対策講座 保育の心理学（単著）」（三幸カレッジ 2019 年） ・「実践につながる新しい教養の心理学（編著）」（ミネルヴァ書房 2022） ・「実践につながる新しい乳児保育（編著）」（ミネルヴァ書房 2023 年） 【その他】主なもの ・「Children's natural responses to reduced array selection task」（Annual Conference of Korean Psychological Association in Korea 2019） ・（研究資料）「幼児教育に対する ICT 活用の現状と課題（単著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 52 号 2022 年 小田原短期大学） 【資格】 ・中学・高校英語科専修免許状（東京都教育委員会） ・国連英検 A 級（公益社団法人日本国際連合協会） ・保育士（試験合格：埼玉県）
所属学会	日本心理学会 日本発達心理学会 国際幼児教育学会
主な社会活動	令和 4 年度神奈川県保育士等キャリアアップ研修講師（障害児保育 2022 年） 令和 5 年度東京都保育士等キャリアアップ研修講師（幼児教育 2023 年）

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	小倉 直子（オグラ ナオコ）
最終学歴	京都大学 教育学部 教育学科 卒業 龍谷大学 文学研究科 教育学専攻（教育心理学） 修士課程 修了 龍谷大学 文学研究科 教育学専攻（教育心理学） 博士後期課程 単位取得満期退学
保有学位	学士（教育学）、修士（文学）
主な職歴	横田小児科医院「発達と育児の相談室」 発達相談員、近隣自治体における乳幼児健診、発達相談、療育教室、就学相談、教育相談、園巡回相談など 小田原短期大学 保育学科 非常勤講師（2014 年） 小田原短期大学 保育学科 特任講師（2015 年） 小田原短期大学 保育学科 専任講師（2016 年） 小田原短期大学 保育学科 准教授（2021 年）
専門分野	発達心理学、障害児保育、特別支援教育
研究テーマ	1 歳児の発達、保護者支援（ペアレント・トレーニング）、地域発達臨床、ほか
担当授業科目	障害児保育、特別支援教育・保育概論、言葉指導法、生活実践Ⅱ「子どもの発達と遊び」、保育実習指導ⅠA・ⅠB、保育実習Ⅰ（施設）・Ⅲ、卒業研究（ゼミナール）、サービスラーニング、おだたん人間成長講座Ⅰ・ⅡC コース学内イベントグループ
教育研究業績	【論文】 ・研究ノート「自治体の子育て支援システム構築におけるペアレント・トレーニングのあり方について（1）効果測定の方法」（小田原短期大学紀要第 50 号・2020） 【著書】 ・「生活事例から始める保育の心理学（共著）」（青踏社・2015 年） ・「保育者のための障害児保育 ー理解と実践（共著）」（萌文書林・2016 年） ・「保育内容「言葉」指導法（共著・編著）」（ミネルヴァ書房・2018 年） ・「保育する力（共著）」（ミネルヴァ書房・2018 年） ・「実践につながる新しい保育の心理学（共著）」（ミネルヴァ書房・2019 年） ・「新・育ちあう乳幼児心理学（共著）」（有斐閣コンパクト・2019 年） ・「保育学生のための「幼児と言葉」「言葉指導法」」（ミネルヴァ書房・2022 年） ・「応用心理学ハンドブック（共著）」（福村出版・2022 年） 【資格】 応用心理士 第 222 号、臨床心理士 第 17834 号
所属学会	日本応用心理学会、心理科学研究会、日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本臨床心理士会、日本特殊教育学会、全国障害者問題研究会、全国保育団体合同研究会
主な社会活動	コスモスの会（湘南心理研究会）会長、社会福祉法人泉会 理事、小田原市就学支援委員会 委員、南足柄市子ども・子育て会議 委員、西湘子ども発達研究会、支援教育実践研究会、現職保育者研究会、ほか

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	杉崎 雅子（スギザキ マサコ）
最終学歴	早稲田大学大学院教育学研究科学学校教育専攻修士課程修了
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	小田原短期大学専任講師（2017 年） 小田原短期大学准教授（2021 年）
専門分野	心理学（臨床心理学、教育相談）
研究テーマ	教育相談体制構築、移行期支援
担当授業科目	保育の心理学Ⅰ、子ども家庭支援の心理学、教育相談、教育相談・生徒指導の理論と方法、保育実習指導ⅠA・Ⅱ、保育実習Ⅰ（保育所）・Ⅱ、卒業研究（ゼミナール）、サービスマニエール、おだたん人間成長講座Bコース心理セッション
教育研究業績	【論文】 ・「幼稚園等のニーズに応じた研修内容の提案 -全国調査に基づく特別支援教育の現状から-（共著）」（「日本乳幼児教育・保育者養成研究」第2号・2022年） ・「スクールカウンセラーの移行期支援の認識と行動に関する研究―尺度作成と影響因の検討―（共著）」（「カウンセリング研究」第55号・2022年） 【著書】 ・「スギ先生と学ぶ教育相談のきほん（単著）」（萌文書林・2018年） ・「実践につながる新しい保育の心理学（共著）」（ミネルヴァ書房・2019年） ・「スギ先生と考える子ども家庭支援の心理学（単著）」（萌文書林・2021年） 【その他】 ・「特別な配慮を要する幼児を含む教育・保育の実践課題に関する実態調査（共著）」（文部科学省委託調査研究報告書・2020年） ・「Developing Recognition and Behavior Scale for Transition Support by School Counselor in Japan.（共著）」32nd International Congress of Psychology.（2021年） ・「Examination of Junior high school to high School transitional support provided by school counselors in Japan.（共著）」42nd International School Psychology Association Conference.（2021年） 【資格】・公認心理師・臨床心理士・学校心理士スーパーバイザー
所属学会	日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本心理臨床学会、日本学校心理学会、保育者養成教育学会、乳幼児教育・保育者養成学会、日本カウンセリング学会
主な社会活動	NPO 法人神奈川県スクールカウンセラー協会、NPO 法人あらたまスクールカウンセリングセンター、湘南心理研究会「コスモスの会」、花王株式会社ヒト試験研究倫理委員会、神奈川県立二宮高等学校学校運営協議会、児童養護施設ゆりかご園、小田原市いじめ防止対策調査会

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	富金原 光秀（フキンバラ ミツヒデ）
最終学歴	横浜国立大学大学院教育学研究科
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	豊岡短期大学講師（2014 年） 姫路大学講師（2016 年） フェリスアこども短期大学講師（2018 年） 小田原短期大学准教授（2022 年）
専門分野	教育学
研究テーマ	教材研究 教育方法 表現領域
担当授業科目	保育実習指導ⅠⅡⅢ
教育研究業績	【論文】 ・「色相環の絵の具」色を空間認知できる学習教材の開発：PCT 国際特許：新案 絵の具の持つ色の空間認知機能＝学習教材としての使用データ立証（共著）大学美術教育学会誌第 44 号 2012 年 ・西洋現代思想にみる身体性の問題と美容文化史研究-人類学的視点からのアプローチ-（単著）小池学園研究紀要第 10 号 2012 年 ・「発達の最近接領域における保育・教育方法について（単著）」豊岡短期大学論集第 13 号 2017 年 ・「子どもの自律と協働を支えるオランダのイエナプラン教育とその方法について（単著）」小田原短期大学研究紀要第 47 号 2017 年 ・「土の伝統文化を理念とした幼少期における造形教育の意義～民藝文化の興りとイギリス陶芸の道を通して～（単著）」鶴川女子短期大学国際センター研究紀要第 2 号 2017 年 ・「保育内容『表現』指導法における評価に関する研究～ポートフォリオ記録による内発的評価の有効性について～（単著）」豊岡短期大学論集第 14 号 2018 年 【著書】 ・「こどもと造形（共著）」豊岡短期大学 2017 年 ・「こどもと造形表現Ⅰ（共著）」豊岡短期大学 2017 年 ・「幼児と表現（共著）」インプレス R&D 2018 年 【その他】 ・幼児・児童向け学習教材「色相環絵の具」のデザイン及び開発特許 5565813 号/PCT 国際特許取得 WO2010/084873 号 2012 年 ・日本経済新聞連載『キャンパス発 この一品』『色の関係使いながら学べる絵の具セット』掲載 2017 年 ・世界幼児教育機構（OMEP）アジア太平洋京都会議パンフレット及び表紙デザイン制作 2019 年
所属学会	大学美術教育学会 日本保育学会 保育者養成教育学会 OMEP
主な社会活動	・子育て支援事業 ・世界幼児教育機構（OMEP）事業 ・東京おもちゃ美術館事業

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	山本陽子（ヤマモトヨウコ）
最終学歴	聖和大学大学院（現関西学院大学大学院）教育学部 教育学研究科 博士前期課程 修了
保有学位	教育学（修士）
主な職歴	横浜市小規模認可保育園・園長（2013 年） 聖セシリア女子短期大学 専任講師（2017 年） 小田原短期大学 准教授（2021 年～）
専門分野	教育学・保育学
研究テーマ	多文化共生保育・インクルーシブ保育
担当授業科目	教育実習・教育実習指導・保育・教職実践演習
教育研究業績	【論文】（主なもの） ・「幼稚園教育実習における実習記録の意義－幼稚園教諭による添削箇所への分析－（共著）」（聖セシリア女子短期大学紀要第 43 号・2017 年） ・「保育者としての資質について－実習生の実態から－（共著）」（聖セシリア女子短期大学紀要第 43 号・2017 年） ・「保育学生の保育教材研究に関する一考察－モンテッソーリ教具を中心に－（単著）」（聖セシリア女子短期大学紀要第 44 号・2018 年） ・「多文化共生保育の現状と課題（単著）」（聖セシリア女子短期大学紀要第 45 号・2019 年） 【著書】 ・谷口征子ほか編著「実践につながる新しい教育・保育実習」大浦賢治ほか編著 ミネルヴァ書房 2021 担当箇所 ステップ 3.4.30.31.32 ・大浦賢治ほか編著「実践につながる新しい乳児保育」大浦賢治ほか編著 ミネルヴァ書房 2022 担当章 2.9.18.20 章 ・教育開発研究所編「1 年間の園長式辞・あいさつ実例 134」教育開発研究所・2022 担当ページ p28.29. 38.39.236.237 ・野津直樹ほか編著「保育・教職実践演習」萌文書林 2023 担当章 2 章 1.2（p38-50） ・中山大嘉俊編「保育園・幼稚園・こども園 1 年間の園だより巻頭言実例 72」中央精版印刷 2023 担当ページ 34・35 頁 86・87 頁 【その他】 ・多文化共生保育の現状と課題」（日本乳幼児教育学会 第 29 回大会 2019） 【資格】・幼稚園教諭専修免許 ・保育士資格
所属学会	日本保育学会 日本乳幼児教育学会 日本保育者養成教育学会
主な社会活動	・横浜市内保育園における園内研修講師・保育士キャリアアップ研修講師など

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	澤田 優子（サワダ ユウコ）
最終学歴	武蔵野音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻修士課程修了
保有学位	修士（音楽）
主な職歴	小田原短期大学 助教（2020 年） 小田原短期大学 専任講師（2023 年）
専門分野	器楽（フルート）、音楽表現
研究テーマ	フルート演奏による実践、保育現場における聴く活動
担当授業科目	音楽表現Ⅰ、音楽表現Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「J.J.Quantz 著『フルート奏法試論』における前打音についての考察（単著）」（『武蔵野音楽大学大学院修士論文』、2015 年） ・「音楽のリラクセーション効果についての一考察（共著）」（『山梨学院短期大学研究紀要』第 36 巻、2016 年） ・「保育現場におけるフルート演奏に関する研究(1)～年齢別にみる子どもの聴く様子～（共著）」（『小田原短期大学研究紀要』第 53 号、2023 年） 【著書】 ・『教育・保育実習に役立つ部分実習指導案集（共著）』（萌文書林、2022 年） ・『保育のためのやさしい子どもの歌—弾き歌い・合奏・連弾・合唱—（共著）』（ミネルヴァ書房、2023 年） 【その他】 ・日本フルート協会・東京部会主催『第 40 回フルートデビューリサイタル』出演（2013 年 7 月、東京オペラシティ・リサイタルホール） ・山梨県主催『第 14 回やまなし県民文化祭 音楽祭』出演・奨励賞（2014 年 9 月、山梨県民文化ホール） ・『フルートとハープで奏でるフランスの風』企画・出演（2022 年 5 月、山梨県立図書館多目的ホール） ・『武蔵野音楽大学大学院生と卒業生による ジョイントリサイタル』出演（2023 年 7 月、小田原三の丸ホール）
所属学会	日本保育学会、山梨音楽療法研究会、日本オルフ音楽教育研究会、日本フルート協会
主な社会活動	・幼稚園、保育園、子育て支援センターでの演奏活動 ・小学校・中学校でのフルート実技講習 ・小田原短期大学乳幼児研究所研究員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通学課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	竹内 あゆみ(タケウチ アユミ)
最終学歴	東京家政大学大学院人間生活学総合研究科 児童学児童教育学専攻修士課程修了
保有学位	修士(家政学)
主な職歴	相模つばさ幼稚園 幼稚園教諭(2000 年) 日本児童教育専門学校 職員(2009 年) 聖ヶ丘教育福祉専門学校 非常勤講師(2014 年) 聖ヶ丘教育福祉専門学校 専任講師(2015 年) 小田原短期大学保育学科 専任講師(2021 年)
専門分野	保育学
研究テーマ	積み木遊び、フレーベルの恩物、玩具を媒介とした関わり
担当授業科目	人間関係、人間関係指導法、こどもアートコース「おもちゃ作り」、保育実習指導 IA、保育実習指導 II、保育実習 I(保育所)、保育実習 II(保育所)、保育・教職実践演習（幼稚園）、卒業研究(ゼミナール)、サービスラーニング
教育研究業績	【論文】 ・「物を媒介とした幼児のかかわりから見えるもの―他者と同じものを持つ姿に着目して―(単著)」(聖ヶ丘教育福祉専門学校紀要 2016 年) ・「幼児の表現行為に関する一考察―R 児とのかかわりを通して―(単著)」(星美学園短期大学研論叢 49 号 2017 年) ・「家庭での乳児の遊びに関する意識調査 I-保護者アンケートによる一考察-(単著)」(聖ヶ丘教育福祉専門学校紀要 2020 年) ・「保育学生の積み木遊びに対するイメージ～養成校におけるアンケート調査の結果から～(単著)」(聖ヶ丘教育福祉専門学校紀要 2023 年) 【著書】 ・『子どもの姿からはじめる 領域・人間関係(共著)』(株式会社みらい 2022 年) ・『保育・教職実践演習：実践力のある保育者を目指して(共著)』(萌文書林 2022 年) ・『実践につながる新しい保育内容「人間関係」(共著)』(ミネルヴァ書房) 他 【その他】 ・「園内研修における新任保育士の意識変容～保育の可視化により子どもの育ちを保護者と共有する～(単著)」(日本保育学会第 69 回 発表 2016 年) 【資格】 ・幼稚園教諭専修免許、保育士資格 ・童具館アトリエ認定講師、おもちゃコンサルタント、おもちゃコーディネーターR
所属学会	日本保育学会、日本乳幼児教育学会、日本保育者養成教育学会 認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会、和久創造共育普及協会
主な社会活動	・海老名市立子育て支援センターすくすく「おもちゃの広場」講師

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	特任 講師
氏名（フリガナ）	武山 美子（タケヤマ ヨシコ）
最終学歴	神奈川県立保健福祉大学大学院 保健福祉学研究科（保健福祉学専攻）修了
保有学位	修士（社会福祉学）
主な職歴	大妻女子大学助教（2015 年） 小田原短期大学特任講師（2019 年）
専門分野	介護福祉学（地域福祉学、福祉教育学、高齢者福祉）
研究テーマ	高齢者福祉 ボランティア活動
担当授業科目	社会福祉概論 子ども家庭福祉 子ども家庭支援論
教育研究業績	【論文】 ・「保育士養成課程における『ボランティア活動』の授業に関する研究(1)～実習事前体験としてのボランティア活動～（共著）』（小田原短期大学紀要・第 51 号 2021 年） ・「保育者養成課程における『ボランティア活動』の授業に関する研究（2）－子育て支援センターでのボランティア活動を中心に－（共著）」（小田原短期大学紀要 第 52 号・2022 年） ・「保育者養成課程における『ボランティア活動』の授業に関する研究（3）－コロナ禍における物を介したボランティア活動－（共著）」（小田原短期大学紀要・第 53 号 2023 年） 【著書】 ・「第 32.33.34.35 回介護福祉士全国統一模擬試験解説集 第 1 回基礎編 第 2 回応用編（共著）」(株式会社テコム・2020 年.2021 年.2022 年.2023 年度) ・「介護福祉士国家試験 2018 合格さん（共著）」（メディカ出版・2017 年） 【その他】 ・『保育養成課程における実習事前体験としての「ボランティア活動」② －子育て支援センターでの活動を通して－（共著）』（第 74 回日本保育学会・2021 年） ・『保育者養成課程における実習事前活動としての「ボランティア活動」③－コロナ禍における物を介しての地域貢献－（共著）』（第 75 回日本保育学会・2022 年） ・『コロナ化を経たコロナ禍を経た保育者養成課程におけるボランティア活動の展開―対面・非対面の手法を組み合わせた地域貢献―（共著）』（第 76 回日本保育学会・2023 年） ・『Understanding the Media Landscape Surrounding Children – A Survey of current status and Issues –（共著）』（第 44 回 国際幼児教育学会 タイ・バンコク編・2023 年） 【資格】・介護福祉士・介護支援専門員・介護教員講習会修了
所属学会	日本介護福祉学会・日本保育学会
主な社会活動	・NPO 法人オーバル

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	中山 貴太（ナカヤマ タカヒロ）
最終学歴	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ社会学領域スポーツマネジメント学専門 修了
保有学位	修士（スポーツ健康科学）
主な職歴	医療法人静和会 浅井病院（2012 年～2015 年まで） 社会福祉法人ゆりの木会 ゆりの木苑（2012 年～2015 年まで） 小田原短期大学助教（2015 年～2018 年） 小田原短期大学専任講師（2019 年～）
専門分野	スポーツ経営学、スポーツマネジメント学、スポーツ心理学、
研究テーマ	コーチング、保育マネジメント、保健
担当授業科目	教育実習、教育実習指導、身体表現Ⅰ、子どもの健康と安全ほか
教育研究業績	【論文】 ・『保育者養成課程の学生のレジリエンスの検討ー自己教育力と職業レディネスとの関連に着目してー』（共著）（小田原短期大学紀要第 47 号、125-128 頁・2017 年） ・『アクティブラーニング型授業の学習効果に関する基礎的研究～短縮版尺度の作成と信頼性と妥当性の検討』（共著）（小田原短期大学紀要第 48 号、1-8 頁・2018 年） 【著書】 ・『楽しく学ぶ運動遊びのすすめ ポートフォリオを活用した保育実践力の探求』（共著）（みらい・2017 年） ・『保育する力』（共著）（ミネルヴァ書房・2018 年） ・『教育実習・保育実習 幼稚園保育所の実習にそなえて』（共著）（青踏社・2018 年） ・『新版 保育者をめざす保育内容「健康」』（共著）（圭文社・2019 年） ・『保育者論ー主体性のある保育者を目指して』（共著）（萌文書林・2020 年） 【資格】 ・高等学校教諭専修免許状（保健体育） ・中学校教諭専修免許状（保健体育） ・日本サッカー協会公認 C 級コーチライセンス（日本体育協会公認指導員） ・日本サッカー協会公認キッズリーダー（ALL）
所属学会	人類動態学会 日本体育学会 日本スポーツ心理学会 日本幼児体育学会 アジア幼児体育学会
主な社会活動	開成町「初めての三歳児講座（旧：三歳児学級）～運動神経が良くなる運動あそび～」講師

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師（特任教員）
氏名（フリガナ）	石黒 芙美代（イシグロ フミヨ）
最終学歴	東京藝術大学大学院美術研究科修士課程芸術学専攻美術教育修了
保有学位	修士（美術）
主な職歴	小田原短期大学専任講師（2021 年）
専門分野	美術教育
研究テーマ	絵とことばの関係
担当授業科目	造形表現Ⅰ、造形表現Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「仮面の芸術性と教育的意味」（単著）（『アジア文化造形学会誌』(16)、2018 年） ・「翻訳絵本の翻訳国研究 ―教育における文化的多様性に着目して―」（単著）（『小田原短期大学研究紀要』(52)、2022 年） ・「造形表現科目で絵本を扱うことの可能性―「イメージ生成」と「造形要素・構成方法」に着目して―」（単著）（『美術教育学研究』(56)、2024 年） 【著書】 ・『こんなはなしがあったんだ 少数言語の民話絵本(1)』（単著）（パブリック・ブレイン、2020 年） ・『教育・保育実習に役立つ 部分実習指導案集』（共著）（萌文書林、2022 年） ・『アートベース・リサーチの可能性：制作・研究・教育をつなぐ』（共著）（勁草書房、2023 年） 【その他】 ・グループ展『美術教育の森 ―美術教育研究室の作家たち―』出品（東京藝術大学大学美術館、2019 年） ・企画展『少数言語の民話世界 ―絵本からジンポー語、セーシェル・クレオル語、ブリヤート語の民話をのぞいてみよう―』開催（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 1 階資料展示室、2020 年） ・東口図書館文化講座「少数言語の民話絵本制作の可能性」講師（小田原駅東口図書館、協力：小田原短期大学図書館、乳幼児研究所、2021 年） ・公開ディスカッション「昔話を伝えるということ」登壇（『耳と目で楽しむ昔話：ブリヤート、カチン、チベット』、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、2023 年） 【資格】 ・中学校教諭専修免許状（美術）、高等学校教諭専修免許状（美術、工芸）
所属学会	大学美術教育学会、絵本学会、環境芸術学会
主な社会活動	公益財団法人朝日新聞文化財団 2020 芸術活動特別助成対象事業

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	古謝 麻耶子（コジャ マヤコ）
最終学歴	沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科博士後期課程修了
保有学位	修士（教育学） 博士（芸術学）
主な職歴	沖縄キリスト教短期大学非常勤講師（2010 年～2022 年） 沖縄県立芸術大学非常勤講師（2016 年～） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2023 年）
専門分野	音楽教育学、民族音楽学、
研究テーマ	創造性を育む音楽教育、多言語社会と音楽
担当授業科目	音楽表現 I、音楽表現 II
教育研究業績	【論文】 ・「マプト市におけるティンビラ音楽の現代的な展開ー独立後の文化政策とワールド・ミュージック・ブームの影響ー（単著）」（「東洋音楽学会」第 83 号・2018 年） ・「声のコミュニケーションを用いた音楽創造」（「沖縄キリスト教短期大学紀要」第 49 号・2020 年） ・「いま-ここで、アフリカの楽器ティンビラと出会うー『異質』なモノがもたらす学びー（単著）」（「沖縄キリスト教短期大学紀要」第 50 号・2021 年） ・「多言語国家モザンビークにおける現地ミュージシャンの音楽実践ー使用言語・音楽スタイルに着目して（単著）」（「沖縄県立芸術大学学内研究誌『ムーサ』」第 22 号・2021 年） ・「沖縄のわらべうた継承の現代的特徴：蛍を題材にしたわらべうた《じんじん》に着目して（単著）」（「沖縄キリスト教短期大学紀要」第 51 号・2022 年） 【著書】 ・「地球日記ー沖縄発 JICA ボランティア（共著）」（沖縄タイムス社、2007 年） ・「地域芸能と歩む（共著）」（沖縄県立芸術大学今を生きる人々と育む地域芸能の未来、2021 年） 【その他】 ・講演・演奏：「人類学者が語るアフリカン・ポップス！（アフリカンポップス研究会イベント）」（2017 年、2018 年、2019 年、2020 年） ・演奏：「サウンドスケープ沖縄～耳を澄まし、自然に溶け込む（主催：AIO）」（2020 年、2021 年） 【資格】 ・中学校教諭専修免許（音楽）・高等学校教員専修免許（音楽）
所属学会	日本音楽教育学会 / 日本アフリカ学会 / 東洋音楽学会 / 民族芸術学会
主な社会活動	AIO(Art Initiative Okinawa)主催の教育プロジェクトや研究会への参加、アフリカ楽器を紹介する楽団 Manos に所属し学校訪問等の活動

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	水島 徳彦（ミズシマ ナルヒコ）
最終学歴	東海大学大学院 体育学研究科体育学専攻 修士課程 修了
保有学位	修士（体育学）
主な職歴	小田原短期大学 食物栄養学科 非常勤講師（2022） 小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 専任講師（2023） 明星大学 非常勤講師（2023） 飛鳥未来きずな高校 小田原キャンパス 非常勤講師（2023）
専門分野	体育学（体育哲学、スポーツ哲学）
研究テーマ	スポーツ倫理学
担当授業科目	健康・スポーツ実技、健康・スポーツ理論
教育研究業績	【論文】 ・「スポーツ世界における道徳法則の検討：カント哲学を中心として」（共著）（体育・スポーツ哲学研究 42 巻 1 号，2020） ・「スポーツ行為者の道徳に関する内的原理の深淵：カント倫理学における「嫌々の念」を手がかりに」（共著）（体育・スポーツ哲学研究 42 巻 2 号，2020） ・「スポーツ行為者の認識過程における「意思」と「意志」について：カント倫理学の可能性に関する一考察」（共著）（体育・スポーツ哲学研究 43 巻 2 号，2021） ・「体育哲学において倫理学を「応用」する意味に関する検討：ジープ「具体倫理学」の価値概念に着目して」（共著）（東海大学紀要体育学部 51 号，2021） ・「競技スポーツにおいて「悪をなす」とは：後期カント倫理学を手がかりに」（東海大学紀要体育学部第 52 号，2022） 【その他】 «セミナー» ・「「スポーツ倫理」という問題と「カント倫理学」の射程—学位論文の展望に向けて—」（2023 年 1 月 26 日，日本体育・スポーツ哲学会オンラインセミナー） «会報» ・「私の研究：競技スポーツを通じた人間理解」（日本体育・スポーツ・健康学会 体育哲学専門領域 会報 25（4），2022） «受賞» ・日本体育・スポーツ哲学会 奨励賞（2022） 【資格】 ・高等学校教諭専修免許状（保健体育） ・中学校教諭専修免許状（保健体育）
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会、日本体育・スポーツ哲学会、教育哲学会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	梅田 真紀（ウメダ マキ）
最終学歴	サンダーランド大学アニメーション&デザイン修士課程（英国） 修了
保有学位	学士（教育） 修士（アニメーション&デザイン）
主な職歴	星槎道都大学非常勤講師（2018 年） 札幌大谷大学非常勤講師（2023 年） 小田原短期大学特任助教（2023 年）
専門分野	美術教育学
研究テーマ	アートワークショップ、アニメーション、情報デザイン
担当授業科目	造形表現Ⅰ、造形表現Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「地域におけるこどものためのワークショップ実践報告（単著）」（「星槎道都大学紀要（美術学部）」第 44 号・2018 年） 【その他】 ・グループ展「New Point vol.21」（さいとうギャラリー/札幌・2024 年） ・星槎道都大学公開講座「親子のアトリエ」（2019、2020、2021、2022、2023 年） ・星槎道都大学公開講座「アニメーション入門」（2023 年） ・糸びと工房こども美術室主宰（旧カネヨよねぐち呉服店 他・2021 年～） ・北広島商工会青年部主催「みんなでボールパークの絵を描こう」ワークショップ実践（北広島市土木事務所・2022 年） ・「こどもアトリエタウン」にてワークショップ実践（えんぱーく塩尻市市民交流センター・2013、2014、2016、2020 年） 【資格】 ・中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術・工芸）、学芸員資格
所属学会	
主な社会活動	令和 4 年度 地域文化倶楽部（仮称）創設支援事業 当別町立とうべつ学園美術部講師 2022 年 長沼アート協会

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	特任助教
氏名（フリガナ）	佐藤 穂花（サトウ ホノカ）
最終学歴	日本体育大学大学院 体育学研究科 体育学専攻 博士後期課程在籍中
保有学位	修士（体育科学），博士（体育科学）*2025 年 3 月取得見込み
主な職歴	日本体育大学 スポーツ文化学部 助手（2018 年） 東京医科歯科大学 スポーツサイエンスセンター特別業務支援職員（2019 年） 日本体育大学 体育学部 助教（2021 年） 共立女子大学 非常勤講師（2021 年～現在に至る） 桐蔭横浜大学 非常勤講師（2023 年～現在に至る） 小田原短期大学 保育学科 助教（2023 年～現在に至る）
専門分野	教育学（健康教育・スポーツ教育），衛生学・公衆衛生学
研究テーマ	子ども，健康，生活習慣，運動習慣，ICT，ストレス
担当授業科目	身体表現Ⅰ，身体表現Ⅱ，健康・スポーツ実技
教育研究業績	【論文】 ・「戦後の空手道復興に関する一考察：雑誌『SPORT KARATE からて』の分析をととして（共著）」（日本体育大学オリンピック文化研究所，オリンピックスポーツ研究 4・2019 年） ・「中学生におけるスマートフォン使用に関する家庭内ルールの必要性～2019 年と 2020 年長期休校期間後に実施した調査結果からの検討～（単著）」（日本体育大学大学院・2020 年） ・「ICT を用いた武道・伝統芸能におけるデモンストレーションビデオの効果検証：海外在住者を対象としたアンケート調査からの検討（共著）」（運動とスポーツの科学 27（2）・2022 年） 【著書】 ・「大学体育・スポーツ学への招待 ワークブック-実践的な学びのために（共著）」（有限会社ナップ・2022 年） ・「部分実習指導案（共著）」（萌文書林） 【その他】 ・「平成 29 年度中学校武道授業（空手道）指導法研究事業」（指導者） ・「総合型地域スポーツクラブ 東深沢スポーツ・文化クラブ（空手道）」（指導者） ・令和 3 年度日本体育大学学術研究補助費 就寝前行動が中学生の生活習慣及びメンタルヘルスに及ぼす影響の実態解明-就寝前のスマートフォン使用状況からの検討-（研究補助金） 【資格】 ・中学校教諭専修免許状，高等学校教諭専修免許状（保健体育）
所属学会	日本・運動スポーツ科学学会，日本学校保健学会，日本ヘルスプロモーション学会
主な社会活動	御蔵島村立 御蔵島小・中学校における健康指導講師，認知症サポーター修了

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	岡元（石田）実和 オカモト(イシダ)ミワ
最終学歴	・Internazionale Musica Antica Orte Italia Diplomato
保有学位	音楽学士 ・生涯学習学修士
主な職歴	北翔大学 生涯学習システム学部学習コーチング学科非常勤講師 小田原短期大学准教授
専門分野	声楽・音楽心理学・音楽教育学・学校心理学
研究テーマ	・声楽・音楽と人格形成・宗教音楽
担当授業科目	音楽実践Ⅲ・Ⅳ ・こどものうたⅠ・Ⅱ・音楽表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
主な教育研究業績	【論文】 ・「幼稚園教諭・保育士養成課程における学生と幼児の感性を共に育む音楽環境構成の一考察～第一報幼児の言葉を歌詞にして」小田原短期大学紀要論文第 47 号出版 ・「幼稚園教諭・保育士養成課程における学生と幼児の感性を共に育む音楽環境構成の一考察～第 2 報主体的な感性の育ち」小田原短期大学紀要論文第 48 号出版 ・「幼稚園教諭・保育士養成課程における学生と幼児の感性を共に育む音楽環境構成の一考察～第 3 報幼児の表現から学ぶ」小田原短期大学紀要論文第 49 号出版 ・「保育者養成校における歌唱指導の一考察〈自己調整学習ノートの制作 vol1〉」日本音楽教育学会 ・「保育環境において道徳的雰囲気を作ることの意義〈コールバーグ道徳性の発達理論からの一考察〉」北海道人格協議会研究紀要「教育と人格」第 5 号 ・「自己調整学習ノートを用いた歌唱授業の実践報告」小田原短期大学紀要論文第 51 号 ・「保育者養成における歌唱実技の考察」小田原短期大学紀要論文第 52 号出版・ ・「コロナ禍における少年少女合唱団の音楽活動【生きることを】を歌詞にして」（単著）教育と人格第 7 号 ・「オペラ皇帝ティートの慈悲・台本分析オペラセリアの終焉」札幌大谷大学紀要 52 号・ ・「保育者養成校における歌唱実技の考察」小田原短期大学紀要論文第 53 号 ・太陽財団助成事業「愛する 14 人のための生きること歌曲集」作曲 2023 初演 【著書】・「実践につながる新しい幼児教育の方法と技術」第 5 章（新しい時代を生きる子どもたちの音楽）（共著）ミネルヴァ書房 【資格】・学校心理士・中学校・高等学校教員教職免許 第 1 種音楽専修免許
所属学会	・日本学校心理士会・日本声楽発声学会・ヘンデル協会・
主な社会活動	・合唱団指揮者・歌手活動・公立小学校への舞台・音楽表現のアウトリーチ・北海道作詞作曲家協会・北海道少年少女合唱連盟、各理事

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	小西 知子（コニシ トモコ）
最終学歴	東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程 音楽専修 卒業 お茶の水女子大学大学院人文科学研究科舞踊教育学専攻演奏学（声楽）修了 東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻（音声生理学）博士課程 修了
保有学位	学士（教育学） 修士（人文科学） 博士（医学）
主な職歴	東京大学大学院医学系研究科音声言語医学教室助手（1998 年） 札幌こども専門学校専任講師（2017 年）小田原短期大学准教授（2020 年）
専門分野	音楽教育、声楽、音声生理学
研究テーマ	各種発声法、音楽表現、ピアノ弾き歌い、感情表現
担当授業科目	音楽表現Ⅴ
教育研究業績・	【論文】 ・「A case study on humming phonation（単著）」（「Proceedings of the 13th Asia-Pacific Symposium for Music Education Research」・2021 年） ・「保育者養成校におけるコロナ禍の弾き歌いの実践報告—オンライン、分散、対面授業の取り組み（単著）」（「音楽教育実践ジャーナル」vol.19・2021 年） ・「コロナ禍での音楽表現活動と学生の意識調査—実習後アンケートより—（単著）」（「小田原短期大学紀要」第 52 号・2022 年） ・「主体的な音楽表現活動を育む指導法と声かけ—NHK「ピアノのおけいこ」を事例として—（単著）」（「小田原短期大学紀要」第 53 号・2023 年） 【著書】 ・「歌声の科学 The science of the singing voice」ヨハン・スンドベリ著（共訳）8 章：声、歌、感情を担当（東京電気大学出版局・2007 年） 【その他】 ・「A case study on humming phonation（ポスター発表）（単著）」（13th Asia-Pacific Symposium for Music Education Research, Tokyo・2021 年） ・「主体的な音楽表現活動を育む指導者の言葉かけと援助—NHK「ピアノのおけいこ」を事例として（単著）」NHK 番組アーカイブス学術利用トライアル 2022 年前期公募採択 ・「Words that encourage growth and teaching methods -Remote learning piano lessons by TV program（オンライン発表）（単著）」（10th International conference on new music concepts technology, Italy・2023 年） 【資格】 小学校教諭 1 種免許、中学校・高等学校教諭（音楽）1 種免許、中学校・高等学校教諭（音楽）専修免許、北海道リトミックセンター「リトミック指導員」、保育英検 2 級
所属学会	日本音声言語医学会、日本音声学会、日本声楽発声学会、日本音楽教育学会、幼児音楽研究会
主な社会活動	演奏活動など

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	矢野 愛実（ヤノ ヨシミ）
最終学歴	北海道教育大学院修士課程修了
保有学位	中学校教諭一種免許状(音楽) 高等学校教諭一種免許状(音楽) 中学校教諭専修免許状(音楽) 高等学校教諭専修免許状(音楽)
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程助教（2017 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2020 年）
専門分野	音楽(こどもの音楽教育、ピアノ、声楽、合唱)
研究テーマ	保育者養成における「表現」の育成に関する研究
担当授業科目	表現(音楽)
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成における表現力育成のための授業実践～様々な音色の変化を用いて～(単著)」(小田原短期大学研究紀要 49 号、2019 年 3 月) 【研究ノート】 ・「保育五領域「表現」における音楽表現の体験学習～「コンサートごっこ遊び」を通じて～(単著)」(小田原短期大学研究紀要 48 号、2018 年 3 月) ・「保育者養成における表現力育成のための授業実践～ハンドベルを用いて～(単著)」(小田原短期大学研究紀要 50 号、2020 年 3 月) ・「オンライン授業の一考察～保育者養成校における音楽授業の実践～(単著)」(小田原短期大学研究紀要 51 号、2021 年 3 月) 【その他】 ・「実験研究報告：オペラ『バスティアンとバスティエンヌ』の一考察～モーツァルト音楽週間参加作品でバスティエンヌ役を演じて～(単著)」(北海道教育大学・岩見沢校声楽第一研究室、北海道オペラ芸術文化論考集第 2 号、2019 年 5 月) 【資格】 ・リトミック指導資格 上級（NPO 法人リトミック研究センター） ・ヤマハ音楽ピアノグレード 6 級
所属学会	日本保育学会
主な社会活動	札幌音楽家協議会 北海道二期会 ハート音楽院 北海道教育大学オペラ研究所

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	今田 章子 （コンダ アキコ）
最終学歴	北海道大学大学院 教育学院 教育学専攻 博士後期課程 単位修得後退学
保有学位	学士号（教育学） 修士号（教育学）
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程助教（2020 年）
専門分野	教育学（教育心理学・臨床教育学・授業研究）
研究テーマ	子どもが学ぶ姿の研究（参与観察・子どもの学び・エピソード記述・授業研究）
担当授業科目	教育の方法と技術
教育研究業績	【論文】 ・「やる気の研究（単著）」（『北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）』・2014 年） ・「子どもたちが学びに向かう姿の検討（単著）」（『北海道の臨床教育学 第 5 号』・2016 年） ・「子どもが学びに向かう姿の研究：1 人の子どもの学びに向かう姿の変化に注目して（単著）」（『北海道大学大学院教育学研究院紀要 第 129 号』・2017 年） ・「臨床教育学におけるリフレクションとは何か：学校教育リフレクション部会 3 年間の経験を通して（共著）」（『北海道の臨床教育学 第 7 号』・2018 年） 【その他】 ・日本臨床教育学会・北海道臨床教育学会合同第 5 回研究発表大会 「子どもたちが学びに向かう姿の検討」（2015 年） ・北海道臨床教育学会第 6 回研究発表大会 「こどもたちが学びに向かう姿の検討」（2016 年） ・日本臨床教育学会第 6 回研究発表大会 「子どもたちが学びに向かう姿の検討②」（2016 年） ・日本臨床教育学会第 7 回研究発表大会 「子どもの学びから考える授業研究」（2017 年） 「続・臨床教育学におけるリフレクションとは何か-第三の場を創造し協働的に他者と関わり、『聴き合う』ことの意味を掘り下げる-（連名）」（2019 年） ・研究ノート 「新たな学びの場としてのオンライン授業～対話的学びの可能性～」（『小田原短期大学紀要 第 51 号』・2021 年） 【資格】 ・中学校・高等学校教諭専修免許（外国語）
所属学会	日本臨床教育学会・北海道教育学会・北海道臨床教育学会
主な社会活動	学校教育リフレクション部会

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	佐藤 由香理（サトウ ユカリ）
最終学歴	宮城学院女子大学大学院人文科学研究科人間文化学専攻
保有学位	修士（人間文化学）
主な職歴	社会福祉法人ロザリオの会 児童養護施設 仙台天使園（2005 年～2008 年） 学校法人三幸学園台医療秘書福祉専門学校 非常勤講師（2006 年～2016 年） 仙台市太白区役所（2011 年～2015 年 2017 年～現在） 近畿大学九州短期大学通信教育部 非常勤講師（2014 年～2016 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程特任講師 （2016 年～2020 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程准教授（2021 年～現在）
専門分野	心理学（発達心理学、社会心理学など）
研究テーマ	育児、保育、発達障害、安全など
担当授業科目	保育の心理学
教育研究業績	【論文】 ・「集団ロールシャッハ・テストによるパーソナリティ測定と大脳半球機能差(laterality)の関連性（共著）」（宮城学院女子大学大学院人文学会誌第 7 号・2006 年） ・「原子力災害が子育て中の母親に与えた影響－インターネット質問サイトの投稿分析より－（共著）」（小田原短期大学研究紀要第 47 号・2017 年） ・「災害時の心のケアに対するイメージ-インターネット質問サイトの投稿を対象として-（共著）」（小田原短期大学研究紀要第 50 号・2020 年） ・「Android™用観察・記録アプリケーションの開発 （共著）」（宮城学院女子大学発達科学研究No.20・2020 年） ・「心理学の授業における体験活動としての映画の有効性-身体感覚としての理解に着目して-（共著）」（小田原短期大学研究紀要第 51 号・2021 年） ・「保育者養成課程における実習日誌指導の評価視点の抽出-コロナ禍を機会ととらえて-（共著）」（小田原短期大学研究紀要第 52 号・2022 年） 【著書】 「実践につながる新しい教養の心理学（共著）」（ミネルヴァ書房・2022 年） 【その他】 ・「公園遊具の譲り合い行動に関する研究-独自に開発した Android™用アプリケーションを用いた観察の試み-（共著）」（日本発達心理学会第 31 回大会論文集・2020 年） 【資格】・認定心理士・臨床発達心理士・公認心理師
所属学会	東北心理学会・日本発達心理学会・日本臨床発達心理士会・日本子ども虐待防止学会・日本心理職協会・日本保育者養成教育学会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	小山 裕之（オヤマ ヒロユキ）
最終学歴	桐朋学園大学 音楽学部演奏学科声楽専攻課程 卒業 宮城教育大学大学院 教育学研究科教科教育専攻修士課程 修了
保有学位	学士（芸術） 修士（教育学）
主な職歴	鎌倉女子大学教育学部教育学科准教授（2009 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程准教授（2020 年）
専門分野	音楽（声楽）、教育学（音楽教育）
研究テーマ	声楽、発声法、合唱、管弦楽
担当授業科目	音楽表現Ⅰ
教育研究業績	【論文】 ・「高校普通授業におけるヴァイオリン導入の可能性―新設校における実践例を通して―（単著）」(2001 年) ・「ベートーヴェン：交響曲第 8 番の指揮と研究～高等学校教育現場におけるオーケストラ活動の可能性―全国高校教育現場におけるオーケストラ活動校へのアンケート調査をもとに～（単著）」（学位論文・2002 年） ・「スクールオーケストラ創設の実際（単著）」（「鎌倉女子大学紀要」第 21 号・2014 年） 【著書】 ・「こどもの歌 93 弾き歌いベスト曲集（共著）」（カワイ出版・2012 年） ・「新しい教育・保育実習（共著）」（ミネルヴァ書房・2022 年） 【その他】 ・「Liederabend 小山裕之バリトンリサイタル（単）」（仙台市青年文化センターコンサートホール・2004 年） ・「Liederabend 小山裕之バリトンリサイタル（単）」（仙台市太白区文化センター楽楽楽ホール・2006 年） ・「神奈川県保育の集い『交声曲かながわ』初演 指揮（単）」（神奈川県民ホール・2011 年） ・「鎌倉女子大学合唱団第 48 回定期演奏会 指揮（単）」（横浜市栄区文化センター・2011 年） ・「Liederabend 小山裕之バリトンリサイタル（単）」（神奈川県民ホール・2014 年） ・「サロンドムジカコンサート第 1 夜合唱とオーケストラ 指揮（単）」（横浜市戸塚区文化センター・2015 年） ・「第 78 回法楽館講演と歌う会 講演・合唱指導（単）」（仙台市泉創造文化センター 小ホール） ・「鎌倉女子大学管弦楽団第 1 回～4 回定期演奏会 指揮（単）」（横浜市栄公会堂、横浜市戸塚区文化センター、鎌倉女子大二階堂学舎ホール・2016 年～2019 年） ・「鎌倉女子大学特別講座 小山裕之レクチャーコンサート（単）」（鎌倉女子大二階堂学舎・2017 年） 【資格】 ・ZERTIFIKAT DEUTSCH ALS FREMDSPRACHE ・中学校・高等学校教諭専修免許状 ・ドイツ語検定 3 級
所属学会	日本声楽発声学会
主な社会活動	・全国保育士養成協議会 ・サロンドムジカ主宰 ・女声合唱団「ルーエ」指揮者 ・鎌倉女子大学生涯学習合唱講座講師 ・日本クラシック音楽コンクール審査員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	新居 佳子（アライ ヨシコ）
最終学歴	大阪大学大学院人間科学研究科人間科学専攻博士後期課程中途退学
保有学位	修士（人間科学）
主な職歴	大阪大学大学教育実践センター助手・助教（2005 年） 大阪大学人間科学研究科附属比較行動実験施設研究員（2009 年） 大阪市立大学文学研究科都市文化研究センター(UCRC)研究員（2011 年） 大阪市立大学大学教育研究センター研究員（2011 年） 小田原短期大学専任講師（2018 年） 小田原短期大学准教授（2022 年）
専門分野	心理学（認知心理学、実験心理学）
研究テーマ	因果性，推論，思考，効用，文化
担当授業科目	保育の心理学 I
主な教育研究業績等	【論文】 ・「参加型授業はなぜ効果的か—思考心理学からのアプローチ—（単著）」（『大阪大学大学教育実践センター紀要』第 2 号・2006 年） ・「キャリア教育授業が大学生の就職意識に与える影響（共著）」（『大阪大学大学教育実践センター紀要』第 3 号・2007 年） ・「トピックモデルを用いた授業評価アンケートの自由記述の分析（共著）」（『日本教育工学会論文誌』41 巻 3 号・2017 年） 【著書】 ・『高等教育論入門—大学教育のこれから—（共著）』（ミネルヴァ書房・2010 年） ・『思考と推論：理性・判断・意思決定の心理学（共訳）』（北大路書房・2015 年） ・『ユーモア解体新書：笑いをめぐる人間学の試み（共著）』（清文堂出版・2020 年） ・『実践につながる新しい教養の心理学（共著）』（ミネルヴァ書房・2022 年） 【その他】 ・“What kind of anxiety do parents have during raising children?（共同発表）”(The 17th PECERA Annual Conference・2016 年) ・“A cultural difference on causal reasoning by a causal induction paradigm: Japanese data.（共同発表）”(International Conference on Thinking・2016 年) ・日本教育工学会第 32 回論文賞受賞（2018 年） ・“Is it influenced by education? Cultural difference in causal reasoning.（共同発表）”(The 9th International Conference on Thinking・2021 年) ・“Cultural difference of self-criticism for smiles and laughs in Japan.（共同発表）”(The 32th International Congress of Psychology・2021 年)
所属学会	
主な社会活動	日本認知科学会大会発表査読

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	石川祐介
最終学歴	桐朋学園大学院大学
保有学位	修士（音楽）
主な職歴	小田原短期大学 専任講師（2023）
専門分野	音楽（ピアノ）
研究テーマ	ピアノ演奏
担当授業科目	音楽表現Ⅰ、音楽表現Ⅴ、音楽実践Ⅱ
教育研究業績	【コンクール】 ・第5回ローゼンストック国際ピアノコンクール第1位 ・第5回ノーヴィ国際音楽コンクール第3位 ・2005 アジア国際音楽コンクール第1位優勝 ・第15回日本クラシック音楽コンクール 第4位 【CD】 岡田鉄平《Gershwin》 岡田鉄平《Kreutzer》 【 リ サ イ タ ル 】 ・石川祐介ピアノリサイタル（2022年、仙台）
所属学会	全日本ピアノ指導者協会（PTNA）正会員、アドバイザー
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	内田 弘（ウチダ ヒロシ）
最終学歴	東北大学大学院医学系研究科医科学専攻 修士課程 修了 北海道大学大学院教育学院教育学専攻 博士後期課程 単位取得退学
保有学位	修士（医科学） 修士（教育学）
主な職歴	北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 非常勤講師（2018） 札幌医療秘書福祉専門学校 医療保育科 非常勤講師（2018） 札幌学院大学 人文学部 こども発達学科 非常勤講師（2020） 岩手大学 地域社会教育推進室 特任研究員（2021） 小田原短期大学 保育学科通信教育課程 専任講師（2023）
専門分野	教育学（社会教育、生涯学習）
研究テーマ	社会教育と地域づくり、地域社会の教育力
担当授業科目	教育原理
教育研究業績	【論文】 ・「『地域関連労働を担う若者』の力量形成：地域関連労働者調査報告（共著）」（北海道大学大学院教育学研究院社会教育研究室『社会教育研究』第 31 号・2013 年） ・「地域アイデンティティ形成と仲間づくり―北海道新得町レディースファームスクールの事例を通して（単著）」（北海道大学大学院教育学研究院社会教育研究室『社会教育研究』第 35 号・2017 年） ・「移住した若者の地域住民との交流とアイデンティティ形成―竹富町西表島のエコツーリズム協会との関わりを事例として（単著）」（北海道社会学会『現代社会学研究』32 巻・2019 年） ・「持続可能な地域づくりと若者のアイデンティティ形成・社会的自立（単著）」（北海道大学大学院教育学研究院社会教育研究室『社会教育研究』第 37 号・2019 年） ・「社会教育研究における学習論（共著）」（北海道大学大学院教育学研究院社会教育研究室『社会教育研究』第 38 号・2020 年） ・「福島県昭和村における伝統産業を象徴とする地域づくりの形成過程（単著）」（北海道社会学会『現代社会学研究』34 巻・2021 年） ・「『移動の自由』を巡る地域社会教育の展望と課題：長野県下伊那郡泰阜村の共同調査報告（共著）」（北海道大学大学院教育学研究院社会教育研究室『社会教育研究』第 40 号・2023 年） 【資格】 ・管理栄養士
所属学会	日本社会教育学会、北海道社会学会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	今野 佳代（コンノ カヨ）
最終学歴	宮城教育大学大学院 教育学研究科教科教育専攻美術教育専修 修了
保有学位	教育学修士（美術教育）
主な職歴	宮城県公立中学校教諭（1989 年）仙台市内児童館児童厚生員（1995 年） 近畿大学豊岡短期大学通信教育部非常勤講師（1996 年） 仙台幼児保育専門学校教員（2000 年）東二番丁幼稚園職員（2011 年） 仙台こども専門学校専任教員（2014 年） 小田原短期大学通信教育課程助教（2016 年）専任講師（2023 年）
専門分野	教育学（美術教育・幼児教育保育）
研究テーマ	鑑賞教育・造形表現と思考・墨による造形表現
担当授業科目	表現 ・ 表現指導法
主な教育研究業績等	【論文】 ・『保育者養成における造形表現分野から探る「言葉」と「思考」の研究～「気づき NOTE」の記録分析を通して～（単著）』（小田原短期大学研究紀要 48 号 2018 年） ・『保育内容「表現」の授業を通じた自らの感性に気づく保育者養成の試み～保育学生自身が綴る「私が『美しい』と思ったもの」（単著）』（小田原短期大学研究紀要 51 号 2021 年） ・『保育者養成課程における実習日誌指導の評価視点の抽出ーコロナ禍を機会ととらえてー（共著）』（小田原短期大学研究紀要 52 号 2022 年） 【学会発表】 ・日本保育者養成教育学会第 3 回研究大会発表（2019 年） 『幼児の創造的に「みる活動」をめぐる質的研究-造形表現分野を主軸にした考察』 ・日本保育者養成教育学会第 6 回研究大会発表（2022 年） 『保育内容「表現」における 保育学生の視点の考察～保育学生による身近な美しさへの気づきと子どもに伝えたいこと～』 ・日本保育学会第 76 回研究大会発表（2023 年） 『保育における「美しさ」の探求 ―保育者養成校学生の視点からー』 【その他 寄稿】 ・美術による学び研究会メールマガジン 400 号（2021 年 11 月）・428 号（2022 年 6 月）・452 号（2022 年 11 月）・501 号（2023 年 11 月）寄稿 【展覧会】 ・第 3 回 日美展 受賞（秀作） 国立新美術館（東京都港区）（2019 年） ・第 58 回 61 回 現水展 受賞（入選）東京都美術館（東京都台東区）（2019・2022 年） ・第 24 回 26 回 27 回 宮城平和美術展 宮城県美術館（2019・2022・2023 年） ・第 40 回 墨葉社展 せんだいメディアテーク（2019 年） ・墨創会作品展 東北電力グリーンプラザギャラリー（2023 年）
所属学会	日本保育学会・日本保育者養成教育学会・日本美術教育学会・美術による学び研究会
主な社会活動	・対話型鑑賞オンライン講座開発チームメンバー・メールマガジンライター（美術による学び研究会） ・放課後児童クラブ職員等ブロック研修会 講師（宮城県子ども総合センター） ・地域活動指導者養成講座 講師（宮城県教育委員会）

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	島貫 織江（シマヌキ オリエ）
生年	1976 年 5 月
最終学歴	山梨大学大学院教育学研究科修士課程教科教育専攻保健体育科専修修了
保有学位	教育学（修士）
主な職歴	独立行政法人国立青少年教育振興機構（15 年） 小田原短期大学助教（5 年）
専門分野	教育学（野外教育 環境教育）
研究テーマ	体験活動による教育効果、環境がもたらす刺激による行動の変化
担当授業科目	保育内容 環境 環境指導法
教育研究業績	【論文】 ・「問題解決力を測定する尺度の作成－自然体験において育まれる問題解決力を測る－（単著）」野外教育研究・第 8 巻 1 号・2004 年 ・「心理学の授業における体験活動としての映画の有効性-身体感覚としての理解に着目して-（共著）」小田原短期大学研究紀要第 51 号・2020 年 ・「保育者養成課程における実習日誌指導の評価視点の抽出－コロナ禍を機会ととらえて－（共著）」小田原短期大学研究紀要第 52 号・2021 年 【著書】 ・野外教育入門シリーズ第 2 巻「安全管理と安全学習-つくる安全、まなぶ安全-（共著）」(株)杏林書院出版・2011 年 ・野外教育学研究法（共著）(株)杏林書院出版・2017 年 【その他】 ・保育者養成における身近な森林環境の活用-公園の可能性-日本森林学会大会学術講演集・2019 年 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」への保護者の意識と期待、日本保育学会第 75 回大会・2022 年 【資格】 ・保育士 ・小学校教諭専修免許状 ・中学校教諭保健体育専修免許状 ・高等学校教諭保健体育専修免許状
所属学会	日本野外教育学会、日本保育学会
主な社会活動	山形県神室少年自然の家幼児キャンプ講師

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	千葉昌哉（チバマサヤ）
最終学歴	山形大学大学院地域教育文化研究科文化創造専攻音楽芸術分野修了
保有学位	修士（学術）
主な職歴	宮城県公立学校講師（1999～2012） 私立常盤木学園高等学音楽科非常勤講師（2008～） 東北福祉大学兼任講師（2012～） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2018～）
専門分野	声楽
研究テーマ	弾き歌い、声
担当授業科目	音楽表現Ⅰ
教育研究業績	【論文】 ・「声楽的見地における学生の弾き歌いに関する提言－『表現技術Ⅱ（音楽）』声楽系シラバス履修学生の調査から－（共著）」（東北福祉大学 教職研究 2016） ・保育者養成課程における実習日誌指導の評価視点の抽出－コロナ禍を機会ととらえて－（共著）（小田原短期大学研究紀要論文 2022） 【その他】 ・仙台オペラ協会公演【芸術文化振興基金助成事業 芸術銀河協賛事業】オペラ「ドン・ジョバンニ」言語上演（字幕付）にソリスト出演（2012） ・仙台フィル気仙沼特別公演ベートーヴェン作曲「交響曲第九」にバスソリスト出演（2014） ・文部科学省「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」石巻市民交響楽団（創立 40 周年記念演奏会）オペラ「トゥーランドット」ソリスト出演（2016） ・伊達安芸宗重公 350 年祭記念事業：記念 CD 歌唱録音(独唱) 伊達安芸宗重公 350 年祭記念事業実行委員会(2020) ・「保育者養成課程における歌唱とファルセットの可能性についての一考察」【第 19 回（天翔けるペガサス）大会】日本音楽表現学会誌上発表（2021） ・文化庁大規模かつ質の高い文化活動を核としたアートキャラバン事業「JAPAN LIVE YELL projeject」港と海にまつわる歌を集めて～お話付きのコンサート～出演（2021） 【資格】 ・学芸員資格・社会教育主事資格・中学校教諭専修免許(音楽) ・高等学校教諭専修免許（音楽）
所属学会	日本音楽表現学会、日本学校音楽教育実践学会、日本保育者養成教育学会
主な社会活動	宮城県芸術協会洋楽部（公社）、全日本ジュニアクラシック音楽コンクール審査員 女声コーラス コール・フォンターナ、コール・パストラーレ指導者

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	特任准教授
氏名（フリガナ）	望月 雅和（モチヅキ マサカズ）
最終学歴	慶応義塾大学大学院社会学研究科教育学専攻研究生修了
保有学位	福祉心理学（学士） 経営学（修士）
主な職歴	小田原短期大学保育学科特任准教授（2022 年） 小田原短期大学保育学科特任講師（2016 年） 東京大学先端科学技術研究センター協力研究員（2008 年） 現代 QOL 研究所主席研究員・教育研究局長（2014 年） 早稲田大学ジェンダー研究所招聘研究員（2009 年）
専門分野	教育学 経営学 福祉心理学 保育学 応用哲学・倫理学；学際研究
研究テーマ	ケアの教育と対人相談援助の学際的原理；キャリア教育・福祉心理・公共・ジェンダー
担当授業科目	教育原理 教育相談
教育研究業績	【論文】 ・「コロナ禍における子育てとケアの原理序説（単著）」現代 QOL 研究 4 巻、2021. ・「ケアの専門職教育における保育の原理と実践の学び：山田わかの人間形成論を契機として（単著）」日本経営倫理学会誌 24 号、2017. ・「保育者支援のできる保育者養成に関する研究：保育者養成校の学生に対する意識調査から（共著）」子育て研究 5 巻、2015. ・「戦後日本における働く女性と子育てをめぐる一考察：労働省婦人少年局の展開を契機として（単著）」日本経営倫理学会誌 18 号、2011. 【著書】 ・『子育てとケアの原理（新版：筆頭編著）』（北樹出版、2022） ・『山田わか 生と愛の条件：ケアと暴力・産み育て・国家（筆頭編著）』（現代書館、2018） 【その他】 ・「臨床・相談援助から考える子育て支援学（シンポジウム：司会）」（日本子育て学会 9 回大会、2017） 【資格】 ・公益社団法人日本心理学会認定心理士 ・日本応用心理学会応用心理士 ・社会福祉主事任用資格
所属学会	（公社）日本心理学会，（一社）日本教育学会，（一社）日本保育学会、日本経営倫理学会、日本子育て学会、現代 QOL 学会、日本応用心理学会
主な社会活動	日本心理職協会（専務理事），（一財）尾崎行雄記念財団弔志会（幹事）

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	古閑 真実（コガ マミ）
最終学歴	明星大学通信制大学院 教育学研究科 教育学専攻博士前期課程修了 同博士後期課程在学
保有学位	学士（芸術学）、修士（教育学）
主な職歴	小田原短期大学保育学科 助教（2018 年）、専任講師（2022 年）
専門分野	教育学（音楽教育、幼児教育・保育、リトミック、音楽表現、ピアノ）
研究テーマ	J=ダルクローズのソルフェージュ、リトミック、幼児教育、音楽教育
担当授業科目	表現（音楽）、音楽表現Ⅱ、音楽表現Ⅲ
教育研究業績	【論文】 ・「『ダルクローズ・ソルフェージュ』で用いられる数字による記譜に関する一考察（単著）」（明星大学通信制大学院研究紀要『教育学研究』第 19 号・2020 年） ・「絶対音感、相対音感およびその周辺を視点とするジャック＝ダルクローズのソルフェージュにおける一考察（単著）」（小田原短期大学研究紀要第 51 号・2021 年） ・「『ダルクローズ・ソルフェージュ』に取り入れられた『表現の法則』の教育的意義 —マーセルの挙げた音楽表現研究者たちの論議をたどる—（単著）」（日本ダルクローズ音楽教育学会編『リトミック研究論集』・2024 年） ・「『音楽表現』における学生の感性教育に関する一考察 —物語による音楽的創作を通して—（共著）」（小田原短期大学研究紀要第 50 号・2020 年） ・「保育者養成校における『聴く力』の育成に関する一考察—リズム聴取と創作リズムによる試みを通して—（共著）」（小田原短期大学研究紀要第 54 号・2024 年） 【著書】・『リトミック研究論集（共著）』（開成出版・2024 年） 【その他】・「『ダルクローズ・ソルフェージュ』における数字譜に関する一考察（口頭発表・単独）」（日本ダルクローズ音楽教育学会 第 51 回研究例会・2018 年） ・「ジャック＝ダルクローズによる『イントネーションの実践的練習 <i>Exercices Pratiques d'Intonation</i>』についての研究（口頭発表・単独）」（日本ダルクローズ音楽教育学会 第 52 回研究例会・2019 年） ・「『ダルクローズ・ソルフェージュ』に取り入れられたリュシの『表現の法則』の教育的意義についての研究—マーセルの挙げた音楽表現研究者たちの論議をたどる—（口頭発表・単独）」（日本ダルクローズ音楽教育学会 第 56 回研究例会・2023 年） ・合唱組曲『こゝろ』初演（作曲発表と伴奏、「サマージョイントコンサート」・2018 年） ・新作合唱曲『ルピナス』初演（作曲発表、「オータムジョイントコンサート」・2023 年） 【資格】・高等学校教諭二級・中学校教諭一級普通免許状（音楽） ・リトミック指導者資格 ディプロマ A（NPO 法人リトミック研究センター）
所属学会	日本ダルクローズ音楽教育学会、日本音楽教育学会、音楽教育史学会、こども早期発達支援学会、日本音楽表現学会、全日本ピアノ指導者協会（正会員）
主な社会活動	パープルエコー指導者、演奏活動、作曲活動

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	道源 綾香(ドウゲン アヤカ)
最終学歴	多摩美術大学大学院 美術研究科 油画専攻(修士課程)
保有学位	修士(芸術学)
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程助教(2015年) 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師(2018年)
専門分野	美術、造形表現
研究テーマ	芸術(美術)、幼児教育における造形表現について、保育者養成
担当授業科目	表現(造形)
教育研究業績	【論文】 ・「保育専門科目の親和性に影響を及ぼす要因の研究-造形表現の授業の受講生を対象にした調査をもとにして-(共著)」(「埼玉東萌短期大学研究紀要」第15号・2018年) ・「保育者としての専門性確立の過程に関する研究-造形表現教育を事例として-(共著)」(「埼玉東萌短期大学研究紀要」第15号・2018年) ・「インターネットを使用した美術・造形作品の展示方法およびワークショップの開催方法による効果とコミュニケーションの活性化に関する事例研究(共著)」(「小田原短期大学研究紀要」第53号・2023年・研究ノート) 【著書】 ・「すぐにできる！保育者のための紙芝居活用ブック(共著・第5章)」(明治図書出版株式会社・2018年) 【その他】 ・UN SEUL GRAIN DE RIZ-一粒の米展 Galerie METANOIA(パリ)/2013年・2016年・2017年・2018年 ・個展 距離をつかみなおす San-Ai Gallery+contemporary art(東京)/2018年・2019年・2023年 ・八色の森の美術展 池田記念美術館(新潟)/2018・2019年 ・第一回アート・サクレ フェスティバル(サンリス)/2019年 アメリカン・ユニバーシティ(パリ)賞、モダン・アート・エネジー賞 受賞 ・アートアトリウム-想の世界-展 SAN-AI GALLERY + contemporary art(東京)/2020年・2021年・2022年・2023年 ・Prix Galerie Combes du Festival d'Art sacre de Sanlis 2019展The American University of Paris(パリ)/2020年 ・Paris Etoiles#3展 Espace Sorbonne 4(パリ)/2022年 ・OUR VOICE展 リベストギャラリー創(東京)/2023年等 他グループ展多数参加 【資格】・中学校教諭専修免許状(美術)・おもちゃコンサルタント
所属学会	日本保育者養成教育学会
主な社会活動	NPO法人芸術と遊び創造協会会員・保育とおもちゃ研究会・アートws講師

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	竹内 直美（タケウチ ナオミ）
最終学歴	青山学院大学 文学研究科 教育学専攻 博士前期課程修了
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	淑徳幼児教育専門学校幼児教育学科専任講師（2006 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程助教（2018 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2023 年）
専門分野	教育学（幼児教育・保育学）
研究テーマ	伝承文化伝承 育児不安 子育て支援 保育者養成 ドキュメンテーション 食育
担当授業科目	保育内容総論 子ども家庭支援論 教育実習事前指導・事後指導ほか
主な教育研究業績	【論文】 ・「幼稚園教育実習における実習不安について（単著）」青山学院大学教育学会紀要第 68 号 2024 年 ・「親準備性に対する教育実習の効果からの考察（単著）」小田原短期大学研究紀要第 54 号 2024 年 ・「保育所における愛着障害児の潜在可能性と保護者支援のあり方に関する一考察（単著）」小田原短期大学研究紀要第 52 号 2022 年 【著書】 ・『実践につながる新しい教育・保育実習（共著）』ミネルヴァ書房 2022 年 【その他】 ・「就学前施設における伝統文化活動の可能性—いけばな活動からの考察—（共同）」日本子育て学会第 15 回大会 2023 年 ・「伝統文化伝承者としての保育者養成に向けて（単独）」日本保育学会第 76 回大会 2023 年 ・「外国にルーツをもつ子どものための食育ドキュメンテーションの役割-海外との食文化の違いに着目して-（共同）」国際幼児教育学会第 43 回大会 2022 年 ・「教育ドキュメンテーションの役割と可能性-多文化共生への期待-（共同）」日本保育学会第 75 回大会 2022 年 ・「四季を大切にした日本の幼児教育（単著）」国際幼児教育学会 会報第 75 号 P10 2022 年 【資格】 ・高等学校 1 種免許状（情報）/・高等学校 1 種/中学校 1 種免許状（家庭） ・司書教諭/・保育士
所属学会	日本保育学会 日本家政学会 国際幼児教育学会 日本幼少児健康教育学会 日本子ども虐待防止学会 日本子育て学会
主な社会活動	就学前施設における伝統文化伝承活動

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	原 麻美子（ハラ マミコ）
最終学歴	聖徳大学大学院 教職研究科 教職実践専攻専門職学位課程 幼児教育コース修了
保有学位	修士 （専門職学 学位取得）
主な職歴	保育園長・幼稚園副園長・保育士、幼稚園教諭、保育者養成校兼任講師
専門分野	子ども学、保育学、教育社会学
研究テーマ	子育て支援、保育者の共同性を育むメゾット、実習の現状と課題、幼児教育
担当授業科目	乳児保育、実習指導、教育実践指導、保育教職実践演習
教育研究業績	【論文】 「保育所・幼稚園・こども園実習の現状と課題」教職研究科紀要 9 121-136, 2019-03 「保護者の思いに寄り添う子育て支援の在り方について～保護者・保育者の視点から～」単独 教職実践研究：教職研究科紀要 10 31-41, 2020-03 「異年齢児保育の在り方に関する研究～A 保育所の実態から～」共著筆頭 千葉経済大学短期大学部研究紀要 (18) 47-56, 2022-03-31 「保育者の意欲を支える人的職場環境」共著筆頭 千葉経済大学短期大学部研究紀要 (19) 29-36, 2023-03-31 「自園における課題解決のために～子育ての支援を考える～」修士論文 「幼児期（3 歳児・4 歳児・5 歳児）の活動を通じた思考に関する一考察」共著 千葉経済大学短期大学部研究紀要 (20) 21-32, 2024-03-31 【著書】 「ふだんの保育を発表会につなげる 0 ～ 5 歳児昔話のたのしい劇あそび」池田書房 「子どもの力が伸びる 0 歳児の保育 12 カ月」、「子どもの力が伸びる 1 歳児の保育 12 カ月」、「子どもの力が伸びる 2 歳児の保育 12 カ月」ナツメ社 「保育内容（言葉）の発達と援助」ミネルヴァ書房 「寄り添い・ともに考える事例解決（若手保育者の育て方）」ぎょうせい 「場面別でよくわかる！ユーキャンの保育連絡帳の書き方＆文例」 【その他】「3 歳児の指導計画のヒント」、「5 歳児の指導計画のヒント」、「えほん、読んで！」ワンダー月間絵本指導計画のヒント 世界文化社 【資格】保育士、幼稚園教諭専修免許
所属学会	一般社団法人 日本保育学会 一般社団法人 国際幼児教育振興協会
主な社会活動	教育活動への協力等 千葉経済大学短期大学部こども学科ゲストティーチャー 目白大学人間学部子ども学科「第 19 回子ども学科公開講座シンポジウム」パネリスト 東京都台東区アプローチカリキュラム委員（至平成 31 年 3 月） 東社協研究発表会関東大会 第 60 回関東ブロック東京代表「園に求められている子育て支援とは」、私立保育園・幼稚園 職員園内研修講師「保育者の協働性を育むメゾット」 私立保育園 職員園内研修講師「保育者の共同性を育むメゾット」 私立保育員 新卒職員研修講師「保育者の共同性を育むメゾット」 私立幼稚園 職員園内研修講師「保育者の共同性を育むメゾット」

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	栗原 千春 （クリハラ チハル）
最終学歴	東京学芸大学大学院連合学校博士課程 在籍
保有学位	修士（教育学） 法務博士（専門職）
主な職歴	千葉県公立小学校教諭 千葉県総合教育センター（千葉県教科用図書専門調査員） 近畿大学豊岡短期大学（現 豊岡短期大学）通信課程保育科非常勤講師 東京学芸大学非常勤講師（2022 年から）
専門分野	教育制度、教育行政
研究テーマ	子どもの権利条約、教育福祉
担当授業科目	教育制度論、児童家庭支援論、児童家庭福祉
教育研究業績	【論文】 ・「就学援助制度における教育の機会均等保障の課題—申請主義を中心に—（査読単著）」（『教育制度学研究』第 27 号・2020 年） ・「就学援助制度における申請主義の形成過程と教育の機会均等保障の課題—生活保護制度の教育扶助と民生委員の役割の変化に着目して—（査読単著）」（『人間教育と福祉』第 10 号・2021 年） ・「『学校福祉』の意義と現代的課題—小川利夫の『教育福祉』問題関連構造に着目して—」『子ども虐待の克服を目指して 吉田恒雄先生古稀記念論文集』（尚学社・2022 年） ・「子どもの貧困問題における学校の発見主義と『学校アドボカシー』についての一考察（査読単著）」『日本義務教育学会紀要』（第 5 号・2022 年） 【その他】 ・「児童に関する『福祉法』と『教育法』との関係（単著発表）」広域科学教育学会（2019 年） ・「改正『子どもの貧困対策推進に関する法律』—第 2 条を中心に—（単著発表）」日本教育福祉学会（2020 年） ・「子どもの最善の利益と子どもの権利擁護—就学援助制度の申請主義を中心に（単著発表）」日本学校教育学会（2021 年） 【資格】 ・小学校専修免許（千葉県教育委員会）、社会教育主事（上越教育大学）、保育士、社会福祉士
所属学会	日本教育制度学会、日本教育政策学会、日本義務教育学会、日本学校教育学会 日本教育法学会、日本教育福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本保育学会
主な社会活動	児童福祉法研究会、社会福祉法人船橋聖会うめのき保育園第三者委員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	小田原短期大学 特任講師
氏名（フリガナ）	森井 佳代（モリイ カヨ）：森井 圭
最終学歴	東京学芸大学大学院連合学校 教育学研究科芸術系教育講座博士課程単位取得満期退学
保有学位	修士（児童学）
主な職歴	NPO 法人子ども ART プラットフォーム ディレクター バンタンデザイン研究所 創造性授業プログラム 講師 日本女子大学桜楓学園子ども造形教室 講師 他
専門分野	芸術学、芸術教育学、幼児教育学
研究テーマ	子ども芸術人類学、人間の創造性をどのように育むか 国際的な芸術教育の動向と今後、乳幼児の表現、障がい者の表現
担当授業科目	製作表現、造形表現
教育研究業績	【論文】 「レッジョ・エミリア・アプローチの日本への伝播経緯と概要に関する研究ノート」 （2020 年、東京学芸大学教育研究論集 42 号） 「レッジョ・エミリア・アプローチを社会的な ART として考察する」 （2020 年、日本美術教育研究論集 54 号） 【著書】 「女と絵本と男」（2009 年、翰林書房、中川素子、落合恵子らと共著） 【口頭発表】 「レッジョ・エミリア・アプローチとモンテッソーリ、フレネ教育などの関係性と影響を考察する」 （2020 年、東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科第四回広域科学教育学会大会） 「人間の礎を創る乳幼児教育—『子ども観』と政策から見る今後の課題と可能性—」 （2022 年、日本アクティブラーニング学会チャレンジ部会第 11 回研究会） 「レッジョ・エミリアの教育哲学と実践が日本で広がる際の課題」 （2023 年、教育と保育の理論と実践についての研究会） 【その他】 国内外からの芸術/教育専門家を招聘しての講演・シンポジウム等の企画多数 芸術教育に関わる指導者養成講座の企画・ディレクション多数 【資格】 保育士、放課後児童支援員
所属学会	日本美術教育連合、国際幼児教育学会、フレネ教育研究会
主な社会活動	フレネ教育研究会幼小連携部会 子どもと障がいを持つ人の表現の場みちのアトリエ副代表

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	石井 喜美（イシイ キミ）
最終学歴	千葉大学大学院 教育学研究科 学校教育学専攻 修士課程 修了 東京学芸大学 連合学校教育学研究科 博士課程 在籍
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	市川市公立幼稚園教諭（2017～2022 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程助教（2023 年～） 千葉明德短期大学 保育創造学科 非常勤講師（2023 年～） 植草学園植草短期大学 こども未来学科 非常勤講師（2023 年～）
専門分野	発達心理学
研究テーマ	・自伝的記憶における想起視点 ・外国人幼児と日本人幼児が保育の中で共生することで育っていく力
担当授業科目	保育の心理学 造形表現Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「自伝的記憶における想起視点」（修士論文） 【その他】 ・学会ポスター発表（共同）「幼稚園における割り箸素材を用いた造形表現活動の実践」（日本保育学会第 69 回大会・2016 年） ・学会ポスター発表（単独）「自伝的記憶における想起視点」（日本発達心理学会第 28 回大会・2017 年） 【資格】 ・幼稚園教諭専修免許 ・小学校教諭専修免許 ・保育士
所属学会	日本保育学会 日本発達心理学会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	三枝 まり(サエグサ マリ)
最終学歴	東京藝術大学大学院 音楽研究科 音楽学専攻 博士後期課程 修了
保有学位	博士(音楽学)
主な職歴	東京藝術大学音楽研究センター教育研究助手(2010 年) 独立行政法人日本学術振興会特別研究員 RPD(2016 年) 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師(2018 年)
専門分野	音楽教育、音楽学
研究テーマ	近現代の日本の音楽および音楽教育
担当授業科目	音楽表現 V、音楽実践 IV
教育研究業績	【論文】 ・「橋本國彦の「芸術的歌謡」概念と近代日本の音楽の課題(単著)」(『東京藝術大学大学院音楽研究科博士論文』・2010 年) ・「番組名から見る戦前期の洋楽放送(単著)」(『上野学園創立 115 周年記念論文集』・2020 年) 【著書】 ・『日本の吹奏楽史: 1869-2013 年(共著)』(青弓社・2013 年) ・『音楽家 近衛秀麿の遺産(共著)』(音楽之友社・2014 年) ・『展開する厚生音楽 : 戦争・職場・レクリエーション (共著) 』(金沢文圃閣・2021 年) ・『君が代 : 国歌 : 管絃楽譜 近衛秀麿編曲 (共著) 』(解説) (ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス・2021 年) 【その他】 ・「NAXOS 日本作曲家選輯 山田一雄:大管弦楽のための小交響楽詩『若者のうたへる歌』、交響的木曾 Op.12 他(CD8. 570552J)(曲目解説)」(ナクソス・ジャパン・2013 年) ・A study of Hidemaro Konoye: His view on orchestral music and his contribution to the history of Japanese reception of Western music (口頭発表), The 20th Quinquennial Congress of the International Musicological Society, 2017 ・「幼児教育における総合的な 表現活動の可能性の追究—NHK 教育『できるかな』に焦点を当てて(共著)」(「小田原短期大学紀要」第 48 号・2019 年) 【科学研究費等外部研究費の取得状況】 ・「戦前における日本文化の発信と国際音楽文化交流—近衛秀麿を中心に—」日本学術振興会 科学研究費補助金(若手研究) 2018 年- 2023 年
所属学会	日本音楽学会 日本音楽教育学会 東洋音楽学会 洋楽文化史研究会

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	ミヤザキ マリコ 宮崎 真利子
最終学歴	昭和音楽大学大学院音楽研究科博士後期課程
保有学位	博士（音楽）
主な職歴	ニューヨーク・シアター・バレエ（New York Theatre Ballet／アメリカ・ニューヨーク州） 専属ピアニスト 昭和音楽大学附属音楽・バレエ教室講師 埼玉学園大学人間学部子ども発達学科非常勤講師 聖学院大学人文学部児童学科非常勤講師 常磐短期大学幼児教育保育学科非常勤講師
専門分野	音楽教育学、ピアノ
研究テーマ	幼児教育・小学校教育における鍵盤楽器
担当授業科目	音楽表現Ⅰ、音楽実践Ⅰ
教育研究業績	【論文】 ・「ナディア・ブーランジェの音楽教育―その指導と講義内容」（昭和音楽大学研究紀要第38号）2019年3月 ・「明治初期のピアノ導入の経緯を探る―幼児教育,体操教育,音楽教育,楽器産業の視点から」（共著、常磐大学教職センター紀要『教職実践研究』第7号）2023年3月 ・「1950年～1960年代の小学校における器楽教育―オルガン演奏を中心に」（常磐短期大学研究紀要第52号）2024年3月 【著書】 『町に音楽を』（共著、東京図書出版、2011年8月） 【その他】 ・「サード・サズデイ・コンサート」（赤坂ベヒシュタインサロン、2015年12月） ・「YAMAHA 室内楽コンサートシリーズ」（ヤマハ銀座コンサートサロン、2017年2月） 【資格】 - 中学校教諭一種免許状（教科：音楽） - 高等学校教諭一種免許状（教科：音楽） - 特定非営利活動法人リトミック研究センター ディプロマA
所属学会	日本保育学会 日本保育者養成学会 日本オルフ教育研究会 幼児音楽研究会
主な社会活動	「浜の風コンクール」審査員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	飯村 諭吉(イムラ ユキチ)
最終学歴	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科 単位取得満期退学
保有学位	修士(教育学)
主な職歴	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 非常勤講師(2018 年) 小田原短期大学 保育学科通信教育課程 助教(2019 年) 茨城大学 非常勤講師(2022 年) 小田原短期大学 保育学科通信教育課程 専任講師(2023 年)
専門分野	打楽器、音楽教育
研究テーマ	音楽教育の歴史
教育研究業績	【論文】 ・「近代日本の小学校音楽科における歌唱教材の授業プランの比較考察：1940 年前後における《牧場の朝》（1932）の指導法を一例として(単著)」(全国大学音楽教育学会『全国大学音楽教育学会研究紀要』第 35 号・1-7・2024 年) ・「1961 年発行までの中学校音楽教科書の合奏教材に関する調査(単著)」(日本教材学会『教材学研究』第 34 巻・63-70・2023 年) ・「昭和初期における『新訂尋常小学唱歌 第六学年用』(1932)の指導法の事例研究：新たな採用曲に焦点を当てて(単著)」(全国大学音楽教育学会『全国大学音楽教育学会研究紀要』第 34 号・1-6・2023 年) ・「昭和初期におけるヨハネス・ブラームスの交響曲の紹介方法：新交響楽団の機関紙における曲目解説に着目して(単著)」(日本音楽表現学会『音楽表現学』Vol.19・1-12・2021 年) ・「昭和初期における管打楽器教材の基礎練習とその歴史的役割：『吹奏楽』『喇叭鼓隊』『鼓笛隊』に着目して(単著)」音楽教育史学会『音楽教育史研究』第 23 号 & 音楽教育史学会創立 30 周年記念誌合併号・3-12・2021 年) ・「1940 年前後における『幼稚園唱歌』(1901)研究の一側面：小出浩平、小林つや江の指導プランに着目して(単著)」(全国大学音楽教育学会『全国大学音楽教育学会研究紀要』第 31 号・1-11・2020 年) ・「管楽研究会『プラスバンド』(1933-1937 年)にみる管打楽器指導と学校教育実践(単著)」(音楽教育史学会『音楽教育史研究』第 21 号・1-12・2019 年) ・「教員養成課程の吹奏楽団体における海外公演の試み：上越教育大学吹奏楽団と国立南科国際実験高級中学管楽団の日台交流プログラムを事例として(共著)」(日本音楽教育学会『音楽教育実践ジャーナル』Vol.15・18-25・2017 年) 【著書】 ・「実践につながる 新しい教育・保育実習(共著)」(ミネルヴァ書房・2022 年) 【資格】 ・保育士、幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状(音楽)、高等学校教諭専修免許(音楽)
所属学会	日本音楽教育学会、日本音楽表現学会、日本教材学会、 全国大学音楽教育学会、音楽教育史学会

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	井芹 まい（イセリ マイ）
最終学歴	早稲田大学大学院教育学研究科教育基礎学専攻博士後期課程 退学
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	早稲田大学教育・総合科学学術院 非常勤講師（2017 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程 助教（2018 年） 東京墨田看護専門学校 非常勤講師（2019 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程 専任講師（2021 年）
専門分野	教育学、教育心理学
研究テーマ	学校・学級経営、青年期のキャリア発達
担当授業科目	教育制度論
教育研究業績	【論文】 ・「学校から社会への移行期における学生の学びと成長―正課・正課外活動のバランスと社会人基礎力、アイデンティティとの関連に注目して―（共著）」（学級経営心理学研究 第 6 号 第 2 巻 2017 年） ・「近代における教育や学力観について―『学制』公布から『戦時教育令』公布まで―（共著）」（千葉科学大学 教職・学芸員センター通信 別冊第 2 号 2018 年） ・「特別支援教育制度の流れを踏まえた今後の教員養成についての示唆（共著）」（小田原短期大学紀要 第 51 号 2021 年） ・「保育者養成校の学生を対象とした防災意識に関する研究」（地域マネジメント研究 第 7 号 2022 年） ・「保育者養成校におけるアートを活用した防災教育の効果―2021 年と 2022 年の比較から見えてくるもの―」（地域マネジメント研究 第 8 号 2023 年） 【著書】 ・「教育相談の理論と実際-改訂版-（分担執筆）」（図書文化社・2019 年） ・「生徒指導・進路指導の理論と実際-改訂版-（分担執筆）」（図書文化社・2019 年） ・「開かれた協働と学びが加速する教室（分担執筆）」（図書文化社・2022 年） 【資格】 ・小学校教諭専修免許状 ・公認心理士 ・学校心理士
所属学会	日本心理学会 日本教育心理学会 日本カウンセリング学会 日本キャリア教育学会 日本教育カウンセリング学会 学級経営心理学会 地域マネジメント学会
主な社会活動	東京ガイダンスカウンセラー会 監査

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	久保寺 賀子(くぼでら よしこ)
最終学歴	横浜国立大学大学院教育人間科学研究科芸術系教育専攻美術教育分野
保有学位	修士(教育学)
主な職歴	学校法人篠原学園篠原保育医療情報専門学校専任講師(2016 年) 学校法人弘徳学園豊岡短期大学非常勤講師(2016 年) 学校法人三幸学園小田原短期大学保育学科通信教育課程助教(2017 年) 株式会社市進 杏桐学園幼児絵画造形教非常勤講師(2017 年) 学校法人アゼリー学園江戸川幼稚園工作絵画非常勤講師(2019 年) 学校法人九里学園浦和大学こども学部こども学科非常勤講師(2020 年) 学校法人千葉明德学園千葉明德短期大学保育創造学科非常勤講師(2020 年) 学校法人三幸学園小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師(2020 年)
専門分野	美術教育
研究テーマ	幼児の造形表現、美術鑑賞教育
担当授業科目	表現（造形）
教育研究業績	【著書】 ・「教育・保育実習に役立つ 部分実習指導案集(共著)」(萌文書林、2018 年) ・「幼児の鑑賞教育に関する一考察～保育者による造形教材とこども～(単著)」(小田原短期大学研究紀要)2018 年) ・「幼児における総合的な表現活動の可能性の追求—NHK 教育「できるかな」に焦点を当てて—(共著)」(小田原短期大学研究紀要)2019 年) ・実践研究「」（第 55 号） 【その他】 ・寄稿「若手保育者の早期離職問題を考える～共同体感覚と対人関係～(単著)」(「ねぞす No.62」一般財団法人神奈川県高等学校教育会館教育研究所、2019 年) ・ポスター発表「対話型鑑賞のファシリテーターの機能と役割を取り入れた“劇あそび”の活動 —保育内容「表現」科目における授業実践より—（第 18 回日本子ども学会学術集会 2022 年） ・口頭発表『幼児表現活動における「工芸のプログラム」の開発と実践—伝統技法の体験「箸をつくる」の研究—』（第 56 回日本美術教育研究発表会 2022 年） ・実践研究報告『幼児表現活動における「工芸プログラム」の開発と実践—伝統技法の体験「箸をつくる」の研究—』（日本美術教育研究論集 56 2023 年）
所属学会	日本美術教育連合 日本こども学会 日本保育学会 美術のまなび研究会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	中西 里果（ナカニシ リカ）
最終学歴	・武蔵野音楽大学大学院音楽研究科音楽教育専攻 ・千葉大学大学院教育学研究科学校教育専攻 ・慶応義塾大学大学院社会学研究科教育学（教育心理学）専攻後期博士課程満期退学
保有学位	・修士（芸術学） ・修士（教育学）
主な職歴	・大妻中学高等学校 音楽科講師（1989 年） ・帝京平成大学 帝京メディア・ラボ 研究員（2001 年） ・東京こども専門学校 講師（2017 年） ・慶応義塾大学・近畿大学・東京都市大学にて研究協力者・研究支援スタッフ ・小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2018 年） ・小田原短期大学保育学科通信教育課程准教授（2024 年）
専門分野	音楽教育学、認知心理学、音楽心理学
研究テーマ	・音楽と感情の相関要因に関する認知心理学的研究 ・音楽教育における動き情報の機能に関する研究
担当授業科目	表現（音楽）
教育研究業績	【論文】 ・「感性の育成を目指した音楽指導：音楽情動と動き情報の相関に着目して」 （「小田原短期大学研究紀要」第 49 号・2019 年） ・「音楽と情動の相関における動き情報の役割：緊張と弛緩の交代に着目して」 （「日本感性工学会論文誌」第 16 巻 5 号・2016 年） ・「ビートトラッキング時と音楽聴取時の脳波 α 波帯域パワー変動の比較検討」 （「感性工学研究論文集」第 5 巻 3 号・2005 年） ・「演奏の情動表現の解釈技能の発達」 （「音楽知覚認知研究」第 6 巻 1 号・2002 年） ・「C.オルフの《動き Bewegung》--パラダイム転換がもたらす可能性」 （「音楽教育学」（第 22 巻 2 号・1993 年） 【その他】 ・「学習方略の違いが読譜能力に及ぼす影響」 （「日本保育者養成教育学会第 7 回研究大会抄録集」2023 年） ・「音楽情動メカニズムにおける動き情報の役割：感性を育む音楽教育を志向して」 （「日本教育工学会 2022 年春季全国大会（第 40 回大会）講演論文集」 pp.145-146・2022 年） 【資格】中学校 1 種免許状（音楽） ・ 高等学校専修免許状（音楽）
所属学会	日本感性工学会 日本保育者養成教育学会 全国大学音楽教育学会 日本教育工学会 日本情動学会

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	岡崎律子（オカザキ リツコ）
最終学歴	聖徳大学大学院 博士前期課程
保有学位	児童学 修士
主な職歴	成子坂愛育園保育士・杉並区特別支援教室支援員・ 小規模保育所マグハウス西荻園長・順天堂大学病院病後児保育室保育士・ 三幸学園非常勤講師・東京保育専門学校非常勤講師
専門分野	保育 乳児保育
研究テーマ	乳児保育の質
担当授業科目	保育製作Ⅰ・製作あそび・子どもの製作・言葉・人間関係指導法・社会的養護Ⅰ・ 病児のあそび・教育相談
教育研究業績	【論文】・討論型授業における保育観の差異についての考察 ・幼児の粘土遊びと表現力についての一考察 ・乳児の泣きに対する保育者の関わりと言葉の発達 【著書】 【その他】 【資格】 幼稚園教諭 2 種・保育士・
所属学会	日本保育学会・日本保育者養成学会・日本社会福祉マネジメント学会
主な社会活動	保育者キャリアアップ研修乳児保育講師・特例制度乳児保育講師 肢体不自由児・者通所施設ボランティア・東京都立小児総合医療センターボランティア

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	時得 里彩（トキエ リサ）
最終学歴	東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程音楽選修卒業 東京学芸大学教育学研究科専門職学位課程修了
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	小田原短期大学保育学科助教（2022 年）
専門分野	音楽教育学
研究テーマ	ICT を活用した音・音楽による創作表現
担当授業科目	音楽表現Ⅲ、音楽表現Ⅳ
教育研究業績	【論文】 ・ “Utilizing ICT (Information & Communications Technology) Devices In Collaborative Lessons In High School Music Classes”, Proceedings of the International Society for Music Education (ISME), 35th World Conference on Music Education, Vol. 35, 2022. （共著） ・ “The Current Status and Future Potential of ICT Software in Japanese Music Classes”, Proceedings of the 8th Japan-China Teacher Education Conference, Edited by The Local Organizing Committee of the 9th Japan-China Teacher Education Conference, Vol. 9, 2022. （共著） ・ “Guidance and Support Mechanisms for Music Teachers Using ICT Software in Composition Classes”, 13th Asia Pacific Symposium for Music Education Research (APSMER), Tokyo, Vol. 13, 2021. （共著） ・ “Utilizing “YAMAHA VOCALOID” in collaborative lessons: A study using ICT in an elementary school music class”, Proceedings of the International Society for Music Education (ISME), 34th World Conference on Music Education (Helsinki), Vol. 34, 2020. （共著） ・ “An Examination of Primary Education Music Lesson Planning Based on a Workshop Case Study”, Proceedings of the 8th Japan-China Teacher Education Conference, Edited by The Local Organizing Committee of the 8th Japan-China Teacher Education Conference, Vol. 8, 2019. （単著） 【その他】 ・ “The application of ICT (Information & Communications Technology) on Creative Music Making in Elementary Schools”, 12th Asia Pacific Symposium for Music Education Research (APSMER) Macao, 2019. （国際学会口頭発表） 【資格】 幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状（音楽）、高等学校教諭専修免許状（音楽）（東京都教育委員会）
所属学会	日本音楽教育学会、ISME (International Society for Music Education)
主な社会活動	練馬区立南田中児童館 嘱託職員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	小林 美季子（コバヤシ ミキコ）
最終学歴	東京学芸大学大学院教育学研究科総合教育開発専攻表現教育コース修了 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科学校教育学専攻芸術系教育講座博士課程在籍
保有学位	修士（学術） 学士（音楽）
主な職歴	武蔵野大学能楽資料センター非常勤職員（2012） 東京学芸大学附属大泉小学校音楽専科教諭（2014） 小田原短期大学保育学科助教（2024）
専門分野	音楽学 音楽教育
研究テーマ	日本の伝統音楽と教育
担当授業科目	音楽表現Ⅲ 音楽表現Ⅳ
教育研究業績	【論文】 ・「音楽科の『伝統』と『郷土』をめぐる探究的実践」（単著、『2023（令和5）年度教育実践論文集録第2集』, 2023） ・「『郷土』をめぐる戦前音楽教育の展開－明治期から昭和初期の郷土教育との関連から－」Development of <i>kyodo</i> (hometown) education in prewar music education: Focus on its relationship with local education from the Meiji era to the early Showa era.（単著、『学校教育学研究論集第50号』, 2024） 【その他】 ・「佐渡の能－地方に残る能の現状と意義－」（東洋音楽学会東日本支部第76回定例研究会口頭発表, 2014） ・「『グローバル社会に生きる力』を育む～異文化間教育カリキュラムの評価・検証／英語教育の教科化を見据えたカリキュラム作り～」（共著、『平成26年度東京学芸大学附属大泉小学校研究紀要』, 2015） ・テネシー州立オースティンピー大学（Austin Peay State University）出張講義、レクチャーコンサート、テネシー州ナッシュビル国際音楽祭 2015（Celebrate Nashville Cultural Festival 2015）出演 ・「社会科との史的関連にみる『郷土の音楽』の一考察－音楽科における『郷土』の位置づけと可能性－」（第7回広域科学教育学会大会研究発表口頭発表, 2023） ・「郷土の音楽の変遷－学習指導要領および戦後検定期以降の教科書から－」（日本音楽教育学会第54回弘前大会口頭発表, 2023） ・令和5年度公益財団法人日本教育公務員弘済会東京支部教育実践論文優秀賞 ・研究プロジェクト「箏と箏曲の史的展開に関する研究」（東京学芸大学, 2024） ・『佐渡の能に関する研究調査報告』（単著, 2024）
所属学会	東洋音楽学会 日本音楽教育学会 音楽教育史学会
主な社会活動	東洋音楽学会参事（本部総務・第75回大会実行委員）

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	松浦 加奈子 （マツウラ カナコ）
最終学歴	一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻博士後期課程修了
保有学位	修士（社会学） 博士（社会学）
主な職歴	都留文科大学非常勤講師「担当科目：教育社会学」（2016 年～現在） 大妻女子大学非常勤講師「担当科目：子どもの世界」（2017 年～現在） 小田原短期大学専任講師（2022 年～現在）
専門分野	教育社会学、障害学、社会学
研究テーマ	発達障害の社会学
担当授業科目	教育原理、教育の方法と技術、教育制度論、基礎学力演習
教育研究業績	【論文】 ・「ディスアビリティ経験における不利益とその回避戦略－健常／障害の自己認識をめぐる親子の語りに着目して－（単著）」（『年報社会学論集』第 34 号・2021 年） ・「発達障害児をめぐる〔支援者―被支援者〕の関係－通常学級における支援の担い手としての児童に着目して－（単著）」（『子ども社会研究』第 25 号・2019 年） ・「発達障害の社会学―特別な配慮実践からみる学級内部の秩序と能力－（単著）」（学位論文・2019 年） ・「新聞報道における『発達障害』の概念分析－教師・保護者・発達障害児の振る舞いに関する概念の使用の変化に着目して－（単著）」（『教育と社会』研究』第 28 号・2018 年） ・「発達障害児に対する特別な配慮実践－授業場面の相互行為を中心に－（単著）」（『都留文科大学紀要』第 87 集・2018 年） ・「授業秩序はどのように組織されるのか―児童間の発話管理に着目して－（単著）」（『教育社会学研究』第 96 集・2015 年） 【翻訳】 ・『インクルーシブ教育ハンドブック』倉石一郎他監訳,ラニ・フロリアン編,北大路書房,pp.1-864.担当部分 pp.513-524「第 24 章 カテゴリーとラベルを超えて支援する知識－問題は明確に設定されているか？－」（2023 年） ・『批判的教育学事典』長尾彰夫他監修,マイケル・W・アップル編,明石書店,pp.1-584.担当部分 pp.135-154,ヴァレリー・スキャタンプロ・ダンニバーレ,ピーター・マクラレン,「第 3 部再配分・承認・差異化権力 7 章 資本主義の君臨－階級闘争におけるベダゴジーと実践」（2017 年） 【著書】 ・『教師の責任と教職倫理－経年調査にみる教員文化の変容』久富善之,長谷川裕,松浦加奈子（計 8 名）,勁草書房,pp.1-491,担当部分 pp.267-291「第 11 章 特別支援教育の取り組み状況の校種間比較―教師の期待認知・責任意識の形成に着目して」（2018 年）
所属学会	日本教育社会学会、子ども社会学会、関東社会学会
賞罰	日本子ども社会学会研究奨励賞（論文）受賞（2019 年）

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	高橋 まどか（タカハシ マドカ）
最終学歴	東京工業大学大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻博士後期課程修了
保有学位	博士（学術）
主な職歴	鶴川女子短期大学幼児教育学科 専任講師（平成 23 年 4 月～平成 25 年 3 月） 日本女子大学人間社会学部心理学科非常勤講師（平成 24 年 4 月～令和 2 年 3 月） 慶応義塾大学環境情報学部非常勤講師（令和 3 年 5 月～至現在） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（令和 6 年 4 月～至現在）
専門分野	スポーツ心理学、発達心理学
研究テーマ	幼児期の社会性の育ちと運動獲得の関わり
担当授業科目	「基礎学力演習」、「日本国憲法」、「情報処理論」
教育研究業績	【論文】 「幼児の足踏み動作の同期に関連する基礎的研究」（紀要論文・共著）澤田美砂子， <u>高橋まどか</u> ，日本女子大学紀要家政学部，第 67 号 pp.1-6, 2020 年. 【著書】 【その他】 「大人との対面状況における幼児の足踏み動作の同期行動」（ポスター発表・共同） <u>高橋まどか</u> ，澤田美砂子，第 13 回日本発育発達学会，2015 年. 【資格】 厚生労働省認定 保育士資格（平成 23 年 1 月）
所属学会	なし
主な社会活動	特記事項なし

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	門倉 洋輔（カドクラ ヨウスケ）
最終学歴	早稲田大学人間科学部健康福祉学科卒業 早稲田大学大学院人間科学研究科修士課程修了
保有学位	修士（人間科学）
主な職歴	公益財団法人東京 YMCA 学童保育指導員・児童館職員（2016 年） 玉成保育専門学校保育学科専任教員（2022 年） 小田原短期大学保育学科専任講師（2024 年～）
専門分野	子どもの健康福祉学、保育学
研究テーマ	子どもの生活リズム、学童保育、児童館、自然体験
担当授業科目	人間関係、英語、人間関係指導法、健康指導法、環境指導法
教育研究業績	【論文】 ・「高知県土佐市幼児の生活習慣とその課題（筆頭・共著）」（食育学研究 Vol.13 No.2、2019 年） ・「学童保育における「おやつ」提供の実態と課題（筆頭・共著）」（子どもの健康福祉研究 第 31 号、2020 年） ・「幼児・児童期の人間関係における自然あそびの意義と効果 子どもの昆虫体験プログラム実践報告（第 2 報）（単著）」（子どもの健康福祉研究 第 34 号、2023 年） ・「外あそび文献研究－学童保育の外あそび実態調査に向けて－（筆頭・共著）」（レジャー・レクリエーション研究 第 100 号、2024 年） ・「子どもの自然体験実践報告－東京都港区児童館における昆虫体験プログラム－（単著）」（自然保育学研究 第 6 巻第 1 号、2024 年） 他 【著書】 ・「幼児体育指導ガイド 4（共著）」（大学教育出版・2021 年） ・「幼児と健康（編著・共著）」（大学教育出版・2024 年） ・「人を育む幼児体育の魅力と役割（共著）」（大学教育出版・2024 年） ・「外あそび用語集（共著）」（大学教育出版・2024 年） ・「子どもの健全な成長のための外あそび推進ガイド（共著）」（ミネルヴァ書房・2024 年） 【資格】 ・保育士・放課後児童支援員・外あそび推進スペシャリスト
所属学会	日本保育学会、日本子ども社会学会、日本自然保育学会、子ども家庭福祉学会、日本レジャー・レクリエーション学会、日本家政学会、国際幼児体育学会 他
主な社会活動	国際幼児体育学会常任理事、国際幼児健康デザイン研究所アドバイザー、子どもの健全な成長のための外あそびを推進する会推進委員、神奈川県放課後児童支援員認定資格研修講師、北海道放課後児童支援員認定資格研修講師 他

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	相原 絵利那（アイハラ エリナ）
最終学歴	武蔵野音楽大学大学院博士前期課程音楽研究科器楽ピアノ専攻修了 カタルーニャ州立高等音楽院 修士課程ピアノ演奏科修了（スペイン）
保有学位	修士（音楽） Master of Music（音楽修士）
主な職歴	小田原短期大学保育学部保育学科 特別ピアノ講師（2014 年-2016 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程 助教（2016 年-2018 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程 助教（2021 年-現在に至る）
専門分野	音楽
研究テーマ	ピアノ演奏法 室内楽 伴奏法 幼児音楽教育
担当授業科目	音楽表現
主な教育研究業績	【論文】 ・ジョン・ケージのプリペアド・ピアノ作品の研究―《ソナタとインターリュード》を中心に―（武蔵野音楽大学大学院修士論文・2015） ・A Comparative Study of the Composition Styles of Maurice Ravel and Claude Debussy （カタルーニャ州立高等音楽院修士論文・2020） 【授業評価基準】 ・「幼稚園教諭・保育士を目指すピアノ初心者のための演奏基礎テクニック」（授業評価基準 小田原短期大学保育学科通信教育課程編・2018 年） 【受賞歴】 ・平成24年度武蔵野音楽大学福井直秋記念奨学生（2012） ・第6回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan A 1 部門 銀賞受賞（金賞該当者なし）（2015） ・東京国際芸術協会基金助成「海外音楽大学マスタークラス学費免除」によりウィーン国立音楽大学マスタークラス受講料免除（2018 年） 【演奏歴】 ・「相原絵利那 ピアノ デビューリサイタル」（西湘むさしの会主催・2015） ・「かもめコンサート13 相原絵利那 ピアノリサイタル」（小田原市主催・2018） ・スペイン国立カタルーニャ美術館 MNAC コンサート出演（2019 年） 【資格】 ・ヤマハピアノ演奏グレード5 級 ・ヤマハ指導者グレード5 級
所属学会	公益財団法人ピアノ教育連盟 全日本ピアノ指導者連盟（ピティナ） 日本クラシック音楽コンクール審査員
主な社会活動	ヤマハ厚木楽器ピアノ講師 ピアノ演奏ボランティア

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	風間 みどり（カザマ ミドリ）
最終学歴	東京女子大学大学院人間科学研究科生涯人間科学専攻修了
保有学位	博士（生涯人間科学）、修士（学術）
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程准教授（2018 年～現在）
専門分野	発達心理学
研究テーマ	子どもの他者理解、感情コントロールの発達、生理的ストレス反応
担当授業科目	子どもの理解と援助、人間関係、人間関係指導法、教育相談、心理実践
教育研究業績	【原著論文】 ・風間みどり セロトニン・トランスポーター遺伝子多型と感情に関する研究動向と課題 小田原短期大学研究紀要第 53 号, 127-134. 2023 年 ・風間みどり・渡邊えり子 幼児期の子どもの自己の発達と子ども理解 小田原短期大学研究紀要第 51 号, 205-212. 2021 年 ・Sarah Myruski, Samantha Birk, Mayumi Karasawa, Aya Kamikubo, Midori Kazama, Hidemi Hirabayashi,& Tracy Dennis-Tiwary, Neural signatures of child cognitive emotion regulation are bolstered by parental social regulation in two cultures』 Social Cognitive and Affective Neuroscience, 947-956,2019. ・KaI.Ip, Alison Miller, Mayumi Karasawa, Hidemi Hirabayashi, Midori Kazama, Li Wang, Sheryl Olson, Daniel Kessler, & Twila Tardif. Emotion expression and regulation in three cultures: Chinese, Japanese, and American preschoolers' reactions to disappointment, Journal of Experimental Child Psychology, August 20, 2020. https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0022096520304264) 【研究資料】 ・風間みどり 幼児教育における ICT 活用に関する研究動向と課題 小田原短期大学研究紀要第 52 号, 329-337. 2022 年 【著書】 ・大浦賢治編著 『実践につながる新しい子どもの理解と援助 第 4 章 4 歳から 6 歳児の理解と援助』 ミネルヴァ書房 2021 年 ・大浦賢治編著 『実践につながる新しい教養の心理学 第 3 章 感情の心理学』 ミネルヴァ書房 2022 年 【学会発表】 ・風間みどり・平林秀美・唐澤真弓 子どもの社会的スキルと保護者の養育態度との関連-幼児期と児童期の子どもの特徴- 日本心理学会第 86 回大会 2022 年 9 月 ・風間みどり・平林秀美・唐澤真弓 日本の子どものセロトントランスポーター遺伝子多型と感情制御との関連 日本社会心理学会第 63 回大会 2022 年 9 月 【資格】・幼稚園教諭 1 級普通免許状、小学校教諭 1 級普通免許状
所属学会	日本発達心理学会、日本心理学会、日本教育心理学会、日本社会心理学会
主な社会活動	青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	渡邊 さらさ
最終学歴	Liszt Ferenc Academy of Music, Hungary
保有学位	修士（音楽）
主な職歴	名古屋経営短期大学専任講師（2010 年 4 月-2012 年 3 月） 名古屋経営短期大学准教授（2012 年 4 月-2014 年 9 月） 東海学園大学非常勤講師（2007 年 4 月-2010 年 3 月） 名古屋芸術大学非常勤講師（2009 年 4 月-2014 年 9 月） 東京福祉大学非常勤講師（2009 年 4 月-2010 年 3 月） 東筑紫短期大学准教授（2016 年 4 月-2017 年 3 月） 小田原短期大学准教授（2018 年 4 月-）
専門分野	音楽（ピアノ、ピアノ教育、音楽表現）
研究テーマ	ピアノ演奏法、表現法、コダーイ・アプローチ
担当授業科目	音楽表現 I、音楽 III、音楽 IV、音楽 V、音楽 VI、表現
教育研究業績	・（研究ノート）ハンガリーの幼児教育プログラムとその実態（単）名古屋経営短期大学紀要第 54 号 2013 年 ・（研究ノート）保育内容「表現」の授業実践と考察－「諸感覚を通じた感性と表現」から学生の主体的な学びを求めて－（単）小田原短期大学紀要 49 巻 2020 年 ・（研究発表）保育者養成校学生を対象としたソルフェージュ能力向上のための段階的試行－（単）全国大学音楽教育学会中部地区前期研究会 2021 年 8 月 ・（報告）ハンガリー文化センター東京主催オンライン講座「子ども、音楽、芸術 ～ハンガリーと日本」報告（単）日本コダーイ協会機関誌 2021 年秋号 ・（翻訳）コダーイ・ゾルタン著「民謡（わらべうた）による教授法」カナダ・トロント大学にて行われた第 3 回マクミラン講話から（単）日本コダーイ協会機関誌 2021 年秋号 ・（翻訳）キシユ・ヘンリエット著「ダラージュ・アールパード博士生誕 100 周年」（単）日本コダーイ協会機関誌 2022 年秋号 ・（演奏）ピアノ・ピアノ・ピアノ～時代の流れに沿って～（共）2019 年 9 月 於：小金井宮地楽器ホール（東京） ・（演奏）日本コダーイ協会主催総会コンサート「明日への光」（共）2022 年 7 月 於：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京） ・（演奏）EarlySpringConcert（共）2023 年 3 月 於：三百年古民家（東京） 【資格】 ・中学校教諭専修免許状（音楽）、高等学校教諭専修免許状（音楽）
所属学会	日本コダーイ協会、全国大学音楽教育学会、日本ダルクローズ音楽教育学会、日本音楽表現学会
主な社会活動	演奏活動など

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	細川 匡美（ホソカワ マサミ）
最終学歴	明星大学大学院教育学研究科教育学専攻後期課程修了
保有学位	学士（芸術）、修士（教育学） 博士（教育学）
主な職歴	細川ピアノ教室（30 年） につさい幼稚園リトミック・音楽指導講師（2004 年） リトミック研究センター埼玉支局指導講師（2005 年） 明星大学非常勤講師（2014 年） 小田原短期大学助教（2018 年）講師（2019 年）准教授（2023 年）
専門分野	教育学（音楽教育、音楽教育史、幼児教育）
研究テーマ	音楽教育、リトミック教育理念
担当授業科目	音楽表現Ⅱ、Ⅲ、表現指導法
教育研究業績	【論文】 ・「クラパレードからジャック＝ダルクローズへなされた教育に関する示唆について（単著）」（日本ダルクローズ音楽教育研究第 41 号、2017 年） ・「ベルギーの教育におけるリトミックの受容と展開－ドクローリ・メソードとの関係を中心に－（単著）」（日本ダルクローズ音楽教育研究第 42 号、2018 年） ・「保育者養成におけるソルフェージュ指導法－シャスヴァン・メソードの分析を通して－（単著）」（立正社会福祉研究第 34 号、2019 年） ・「バルセロナにおけるジョングラスの視覚障害児教育に関する一考察：エミール・ジャック＝ダルクローズの方法論との関連を通して（単著）」（日本ダルクローズ音楽教育学会第 44 号、2019 年） ・「ジャック＝ダルクローズのバランスに関する一考察：「バランス"l'équilibre"」を手掛かりに（単著）」（小田原短期大学紀要第 50 号、2020 年） ・「子どものリトミック教授法に及ぼすシャスヴァンの影響について」（日本ダルクローズ音楽教育研究第 47 号、2022 年） 【著書】 ・『リトミックバイエル』（共編著）（リトミック研究センター出版・2017 年第 9 版） ・『ジャック＝ダルクローズの教育観の発展－新教育思潮におけるリトミック－』（単著）（風間書房出版、2021 年） ・『実践につながる新しい教育・保育実習―自ら学ぶ実習を目指して』（共著）（ミネルヴァ書房、2022 年） 【資格】 ・中学校教諭一種免許（音楽）・高等学校教諭二種免許（音楽） ・リトミック指導資格ディプロマ A（リトミック研究センター）
所属学会	日本ダルクローズ音楽教育学会、音楽教育史学会、日本音楽教育学会
主な社会活動	ピアノ・リトミック指導、演奏活動

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	宮下 美砂子（ミヤシタ ミサコ）
最終学歴	千葉大学大学院人文社会科学専攻科博士後期課程修了
保有学位	修士（文学）、博士（文学）
主な職歴	小田原短期大学特任講師、千葉商科大学講師、千葉大学講師
専門分野	表象文化、ジェンダー
研究テーマ	絵本、児童文学、子ども文化
担当授業科目	言葉、言語表現、造形表現 I
教育研究業績	【論文】※全て単著 ・「フェミニズムとルッキズムのはざまで一映画『バービー』への批判を国内ファッションドールの様相から考える―」『千葉大学人文公共学研究論集』第 48 号、千葉大学大学院人文公共学府、2024 年 3 月 ・「ジェンダーの視点から考える読み聞かせの過去・現在・未来」『小田原短期大学研究紀要』第 50 号、小田原短期大学、2020 年 3 月（査読有） ・「絵本を教材としたジェンダー教育の可能性―『ピンクがすきってきめないで』を活用した保育者志望の学生への講義を通して―」『絵本学』21 号、絵本学会、2019 年 3 月（査読有） ・「『いわさきちひろ』となりにきたこ』を考える―ジェンダーの視点からの新たな可能性―」『絵本学』18 号、絵本学会、2016 年 3 月（単著、査読有） ・「いわさきちひろの画業の変遷を考える―同時代の「主婦・母親観」との関わりにおいて―」『総合女性史研究』第 32 号、総合女性史学会、2015 年 3 月（査読有） 【著書】 ・総合女性史学会編『ジェンダー分析で学ぶ女性史入門』岩波書店、2021 年 3 月（共著） ・宮下美砂子『いわさきちひろと戦後日本の母親像』世織書房、2021 年 6 月（単著） 【その他】 ・国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座講師「幼年童話とジェンダー」2023 年 10 月 ・女性史青山なを賞受賞、2022 年 12 月 ・トークセッション登壇「子どもの本のいまを考える―感動物語の罫―」子どもの本専門店ブックハウスカフェ、2019 年 10 月 【資格】 ・博物館学芸員（美術系）
所属学会	総合女性史学会、美学会、絵本学会、ジェンダー史学会
主な社会活動	イメージ&ジェンダー研究会

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	太田雅代（オオタ マサヨ）
最終学歴	慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科医療マネジメント専修修了
保有学位	博士（健康マネジメント）、修士（教育学）
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2019 年度～2023 年度）
専門分野	特別支援論
研究テーマ	発達障害児の家族支援
担当授業科目	障害児保育、社会的養護
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成校において保育実習が学生の保育観に与える影響」,小田原短期大学紀要,第 52 巻,2022 年 ・太田雅代「保育者養成校の施設実習における学生の意識の変化」,小田原短期大学研究紀要, 第 50 巻, 155-160.2020 年 ・太田雅代「保育者のワークライフバランスについての研究の動向」,小田原短期大学研究紀要, 第 50 巻, 379-382.2020 年 ・太田雅代「わが国における障害児保育研究の動向 ―テキストマイニングを用いた論文タイトルの分析―」,小田原短期大学紀要, 49, 173-178.2019 年 ・太田雅代・山内慶太「自閉症児をもつ母親の障害受容過程―受容前と受容後の比較―」,日本社会精神医学会雑誌, 第 27 巻第 4 号, 271-284.2018 年 ・太田雅代・山内慶太「わが国における広汎性発達障害児をもつ親の心理に関する研究の動向」,日本社会精神医学会雑誌, 第 26 巻第 4 号, 290-298.2017 年 ・太田雅代・山内慶太「母親からみた自閉症児の養育の特徴 ―テキストマイニングを用いた探索的分析―」,ストレス科学, 第 31 巻第 4 号, 320-329.2017 年 【著書】 ・「実践につながる新しい教養の心理学」（共著）ミネルヴァ書房・2022 年 ・「実践につながる新しい子どもの理解と援助:いま、ここに生きる子どもの育ちをみつめて」（共著）ミネルヴァ書房・2021 年 【その他】 ・「保育者養成校の学生が施設実習前に抱く感情の分析」,日本ストレス学会学術総会第 37 回大会、オンライン開催、2022 年 ・「自閉症児をもつ母親の障害受容過程 ―テキストマイニングを用いた探索的分析の試み―」, 日本社会精神医学会第 36 回大会, 大田区産業プラザ PiO. 2017 年
所属学会	日本保育学会、日本社会精神医学会、日本ストレス学会、日本社会福祉学会

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	岩羽 紗由実
最終学歴	横浜国立大学大学院教育学研究科障害児教育専攻 修了
保有学位	教育学修士
主な職歴	横浜市立小学校教諭（特別支援コーディネーター）（11年） 聖ヶ丘教育福祉専門学校 専任講師・非常勤講師（5年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程 専任講師（2023年～）
専門分野	障害児保育・特別支援教育
研究テーマ	発達障害 アセスメント インクルーシブ保育 不器用さ ムーブメント教育
担当授業科目	特別支援教育・保育概論
教育研究業績	【論文】 ・身体運動配慮児の教育支援アセスメント—低学年向け— ムーブメント IESA の開発（共著）日本特殊教育学会 2013 年 ・要配慮児の発達を巡る保育者のスキル形成と専門性の向上に関する研究—インクルーシブ保育の実践を目指して—（共著）保育科学研究 2018 年 ・インクルーシブ保育の実践における保育者の専門性の向上に関する研究—アセスメントの活用による保育実践—（共著）保育科学研究 2019 年 ・低年齢児保育における動的環境の検討—感覚運動発達の育ちを巡って—（共著）保育科学研究 2020 年 ・低年齢児保育における動的環境に関する実践的研究—ムーブメント遊具を用いた遊びの広がり注目して—（共著）保育科学研究 2022 年 【著書】 ・発達障がい児の育成・支援とムーブメント教育（共著）大修館書店 2014 年 ・運動・遊び・学びを育てる ムーブメント教育プログラム 100—幼児教育・保育、小学校体育、特別支援教育に向けて—（共著）大修館書店 2021 年 ・実践！ ムーブメント教育・療法 楽しく動いて、からだ・あたま・こころを育てる（共著）クワイッツかもがわ 2023 年 【資格】 ・小学校教諭 1 種免許 ・中学校教諭 1 種免許(国語) ・高等学校教諭 1 種免許(国語) ・養護学校教諭 1 種免許 ・特別支援学校教諭専修免許（知的障害・肢体不自由・病弱者） ・認定ムーブメント教育・療法上級指導者(ムーブメント教育教師)
所属学会	・特定非営利活動法人 日本ムーブメント教育・療法協会(JAMET) ・日本児童学会 ・社会福祉法人日本保育協会、保育科学研究所
主な社会活動	・保育士等キャリアアップ研修 講師(2023 年～) ・横浜市、川崎市における幼稚園、保育園、横浜市の地域子育て支援センター等 特別支援教育、障害児保育のアドバイザー 巡回相談、研修会等実施(2021 年～)

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	大田 美郁（オオタ ミカ）
最終学歴	東京芸術大学大学院音楽研究科 音楽学専攻音楽教育 修士課程修了
保有学位	修士（芸術学）
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程 助教（2019 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程 専任講師（2022 年）
専門分野	音楽教育学
研究テーマ	音楽教育における日本音楽・民族音楽
担当授業科目	こどものうたⅠ
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成における『表現のための』替え歌づくりの教育的可能性（単著）」（『小田原短期大学研究紀要』第 51 号・2021 年） ・「自然の音を生かした音楽表現―音色に着目して―（単著）」（『小田原短期大学研究紀要』第 52 号・2022 年） ・「〈研究資料〉ドラムジカの実践による学生の学び―保育者養成における総合的な音楽表現として―（単著）」（『小田原短期大学研究紀要』第 54 号・2024 年） 【著書】 ・『日本音楽を学校でどう教えるか 本多佐保美編（共著）』（開成出版・2020 年）（「ガムランのコロトミー構造に着目した実践」「アジアの音楽と日本の音楽」） ・『保育・教育の方法と技術 阿部アサミ・小林祥子編（共著）』（大学図書出版・2022 年）（「第 5 章子どもの生活と遊び①音遊び・運動遊び」） ・『ガムラン音楽文化の魅力―きいて・みて・まねして・つくって・楽しもう！（共著）』（岩手大学教育学部音楽教育科 川口明子・2023 年） ・『音楽を世界横断的にとらえアクティブに経験する学習―小泉文夫の音楽教育論を手がかりに―（共著）』（科学研究費補助金研究成果報告書・2023 年） ・『アクティブに楽しく学ぶ世界の音楽 組み合わせて使える教材ユニット集（共著）』（音楽之友社・2023 年） 【その他】 ・ガムラングループ・ランバンサリ自主公演「青銅音曲 XXIV ジャワの影絵芝居ワヤンとガムラン」出演（日暮里サニーホール・2023 年 6 月） ・ポスター発表「The Perception of Japanese Music by University Students in Japan」（APSMER 2023 ソウル大会・2023 年） 【資格】 中学校教諭 1 種免許状（音楽）、高等学校教諭 1 種免許状（音楽）
所属学会	日本音楽教育学会、東洋音楽学会
主な社会活動	日本音楽教育学会 28 期音楽文献目録委員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	特任講師
氏名（フリガナ）	張 愛子（チョウ アイコ）
最終学歴	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士後期課程修了
保有学位	修士（教育学） 博士（教育学）
主な職歴	市川市教育委員会指導課ライフカウンセラー、地方行政法人東京都健康長寿医療センター心理士（1 年） 学校法人増田学園千葉女子専門学校（4 年）
専門分野	教育学、学校心理学
研究テーマ	生きづらさ、自己形成、親子関係、友人関係
担当授業科目	子どもの理解と援助
教育研究業績	【論文】 ・「The effects of a Journey of the Brave Counseling Program on anxiety, well-being, and life adjustment in Taiwanese children.（共著）」（BMC Psychiatry volume 23, Article number: 657・2023 年） ・「中学時代の職場体験がキャリア形成に及ぼす影響：教職を目指す学生の進路選択過程や学業に注目して（共著）」（「文京学院大学教職研究論集」第 11 号・2020 年） ・「特別なニーズを有する幼児への支援における課題：幼保連携型認定こども園に在籍する外国籍幼児に対する支援という視点から（単著）」（「千葉女子専門学校研究紀要・2018 年」） ・「現代社会を生きる日中大学生の『生きづらさ』に関する予備的調査研究（単著）」（「関係性の教育学」・2015 年） ・「大学生の自己愛傾向に関する研究：親の養育態度と友人関係との関連から（単著）」（「学校教育学研究論集」・2014 年） ・「日中青年における自己愛傾向とアイデンティティとの関連（共著）」（千葉大学教育学部研究紀要）・2013 年） 【その他】 ・「基礎基本シリーズ④ 教員の在り方と資質向上（第 4 章コラム）」（「大学教育出版」・2018 年） ・「『現代社会を生きる若者たちの自己形成をめぐる発達課題および有効な援助形態に関する探索的研究』研究成果報告書（共著）」（「平成 25 年度院生連携研究プロジェクト B」） 【資格】 ・学校心理士（学校心理士補（2013 年～2018 年）から更新：2018 年～） ・心理諮師三級（中国）（2005 年～）
所属学会	日本学校教育相談学会、日本学校心理士会、日本学校心理学会、日本保育学会、日本教育心理学会、日本 LD 学会、日本認知行動療法学会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	山崎 輝美（ヤマザキ テルミ）
最終学歴	東京芸術大学大学院美術研究科芸術学専攻後期博士課程単位取得満期退学
保有学位	修士（美術）
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程助教（2018 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2021 年～）
専門分野	芸術学（美学、美術史）教育学（哲学、教育思想史、幼児造形）
研究テーマ	西洋芸術理論（ミーメシス）と造形表現について
担当授業科目	教育原理、教育制度論
教育研究業績	【論文】 ・「詩における形象と抽象概念について -ヘルダーリンの後期抒情詩から-（単著）」（女子美術大学大学院研究紀要第 44 号 2014 年） ・「ヘルダーリンの哲学思考と詩作について -カントの構想力における「意識」の概念を媒介にして-（単著）」（女子美術大学大学院研究紀要第 45 号 2015 年） ・「ヘルダーリンの『オイディプスへの注解』における悲劇の意味 -「中間休止」の概念を媒介にして-（単著）」（女子美術大学大学院研究紀要第 48 号 2018 年） ・「『エミール』における「趣味」と「模倣」-幼児期における「見ること」の大切さについて-（単著）」（小田原短期大学研究紀要第 49 号 2019 年） ・「シュタイナーの幼児造形活動「にじみ絵」について -色から形をみることは何か-（単著）」（小田原短期大学研究紀要第 50 号 2020 年） 【著作】 ・「保育・教育の方法と技術（共著）」（大学図書出版・2022 年） 【その他】＜制作活動＞ 1. 個展(2015 年 7 月) Gallery 銀座一丁目 2. 第 3 回新春ミニアチュール展(2016 年 2 月) ギャラリーぶたのしっぽ 3. 個展(2016 年 3 月) ギャラリーぶたのしっぽ 4. 二科展 入選 (2021 年 9 月) 東京国立新美術館 5. 二科展 神奈川支部展(2022 年 5 月) 横浜市民ギャラリー 6. 二科展 入選 (2022 年 9 月) 東京国立新美術館 7. 二科展 神奈川支部展(2023 年 6 月) 横浜市民ギャラリー（奨励賞受賞） 8. 二科展 入選 (2023 年 9 月) 東京国立新美術館 9. 2023 現代童画展(第 49 回) (2023 年 11 月) 東京都美術館 【資格】 ・ 中学校教諭一種免許状美術 ・ 中学校教諭専修免許状美術 ・ 養護学校教諭一種免許状 ・ 聾学校教諭二種免許状 ・ 学芸員資格
所属学会	美学会、日本教育思想史学会、日本デイルタイ協会、日本ヘーゲル学会 日本乳幼児教育・保育者養成学会、
主な社会活動	二科神奈川支部同人、湘南市民美術会会員、女子美術大学同窓会神奈川支部同人

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	松原 詩緒（マツバラ シオ）
最終学歴	立正大学大学院心理学研究科博士後期課程心理学専攻
保有学位	博士（心理学）
主な職歴	文化学園大学現代文化学部健康心理学科助教、岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校教育・社会福祉専門課程保育士養成科専任教員などを経て、2024年4月より現職。
専門分野	心理学
研究テーマ	人間関係、発達、社会心理
教育研究業績	【論文】 ● 自己開示と精神の健康に関する研究（単著） 立正大学大学院心理学研究科研究紀要, 3(3), 29-39, 2008年 ● 重要な他者へ向けた自己開示の性差、開示対象差と、自己開示と健康なパーソナリティーの関係についての検討（単著） 立正大学大学院心理学研究科研究紀要, 4, 33-48, 2009年 ● 自己開示の性差、開示対象者による相違および健康なパーソナリティーとの関係（共著筆頭） 応用心理学研究, 34(2), 126-143, 2009年 ● 大学生における着装基準尺度の研究（単著） 文化学園大学紀要, 23, 35-49, 2015年 ● 社会的規範と集団規範のずれによる規範逸脱に対する自己評価や感情の変化（共著筆頭） 繊維製品消費科学, 56(5), 447-454, 2015年 ● 着着装、着装場面、性別による心理的变化に関する調査（単著） 文化学園大学・文化学園大学短期大学部紀要, 49, 57-67, 2018年 ● 装基準に関する研究—性別、年代、着装場面に着目して—（単著） 繊維製品消費科学, 59(2), 115-122, 2018年 【著書】 ● ストレス科学事典（分担執筆） 実務教育出版, 2011年 ● 応用心理学ハンドブック（分担執筆） 福村出版, 2022年 【資格】 公認心理師、保育士
所属学会	日本心理学会、日本社会心理学会、日本健康心理学会、日本応用心理学会、日本パーソナリティ心理学会、日本繊維製品消費科学会、日本保育学会
主な社会活動	● 日本カウンセリング学会広報委員, 2009年から2011年まで ● こだいらNPOボランティアセミナー推進委員, 2013年から2018年まで ● 日本応用心理学会 第8期 第2部門（教育・発達・人格）編集委員, 2024年から現在に至る

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師（特任教員）
氏名（フリガナ）	山鹿 貴史（ヤマガ タカシ）
最終学歴	桜美林大学 大学院 大学アドミニストレーション研究科 大学アドミニストレーション専攻（通信教育課程）修士課程 修了
保有学位	修士（大学アドミニストレーション）桜美林大学 / 学士（教育学）玉川大学
主な職歴	小田原短期大学 非常勤講師（2016～2024 年） 東京保育医療秘書専門学校（現・東京立川こども専門学校）講師（2018～2021 年） 八洲学園大学 専任講師（2016～2019 年） / 准教授（2019～2024 年）
専門分野	教育学（通信・遠隔教育、高等教育、学校教育、幼児教育・保育、情報教育）
研究テーマ	遠隔高等教育、保育者養成、伝統文化教育、スポーツ健康科学教育、情報基礎教育ほか
担当授業科目	情報処理論
教育研究業績	【論文等】（主なもの） ・「国と通信教育 ―戦後大学政策における伏流の系譜―」（『平成 29 年度 日本通信教育学会 研究論集』／2018 年）〔共著・査読付〕 ・「保育者を目指す学生の職業選択に関する一考察」（『八洲学園大学紀要 第 16 号』／2020 年）〔共著〕 ・「大学通信教育における人材育成方針と教育観の研究 ―教育代表者のメッセージ分析から―」（『信州大学 総合人間科学研究 第 17 号』／2023 年）〔共著・査読付〕 ・「保育者養成校における情報教育の実践 ―通信制短期大学の教職課程でのスクーリング事例から―」（『小田原短期大学研究紀要 第 53 号』／2023 年）〔査読付〕 ・「通信制大学における武道・スポーツ教育の実践」（『八洲論叢 第 3 号』／2023 年） ・「保育者養成校における ICT を活用した指導案作成の試み ―「情報リテラシー I」と「教育方法論」での取り組みから―」（『リカレント研究論集 第 4 号』／2024 年） 【著書】 ・日本通信教育学会 編 『日本通信教育学会 70 周年記念誌』（担当ページ：97-111、223-226／2022 年） 【その他】 ・「Drinking Behavior of Pregnant Women and Mothers of Infant in Japan」（ヨーロッパ健康心理学会／2017 年）〔共著〕 ・「大学通信教育における学修支援の類型と機能に関する考察」（大学教育学会／2024 年）〔共著〕 【資格】 保育士資格、社会福祉主事任用資格、JSPO スポーツリーダー、ドットコムマスターベーシック
所属学会	日本通信教育学会（事務局幹事）、日本教育学会、日本教育社会学会、大学教育学会
主な社会活動	大学市民研究員（2012～2016 年） 大学公開講座講師（2012～2024 年） 企業研修講師（2016 年） 教員免許状更新講習講師（2017 年） 公益社団法人調布市スポーツ協会 調布市スポーツ指導員（2017 年～） 神奈川県立スポーツセンター 神奈川県スポーツリーダーバンク 登録指導者（2024 年～）

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	田代琴美（タシロ コトミ）
最終学歴	法政大学大学院人文科学研究科心理学専攻博士後期課程 単位取得退学
保有学位	修士（心理学）
主な職歴	小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 助教（2021 年～）
専門分野	発達心理学，教育心理学
研究テーマ	感情制御の発達
担当授業科目	教育相談
教育研究業績	【論文】 ・「児童期における自己調整行動の発達と感情表出（単著）」（「法政大学大学院紀要 83 号」・2019） ・「音声からの他者感情理解と共感性との関連（共著）」（「教育心理学研究」第 71 号・2023 年） ・「描画者の「見る」行為に着目した能動的な調整活動 美術系学生のデッサン観察の時間見本法による分析（共著）」（「美術教育学研究」第 56 号・2024 年） 【著書】 ・「第 12 章 保護者・地域との連携と保幼小接続「おうちの人、まちの人といっしょに！」『保育・教育の方法と技術 ビジュアル・エイド』（大学図書出版・2022 年） ・「第 15 章 発達の連続性と就学の支援（分担執筆）」『子ども理解・幼児理解 ビジュアル・エイド』（大学図書出版・2022 年） 【その他】 ・Development of self-regulation function in emotional competence (41st International School Psychology Association Conference in Switzerland, 2019) 【資格】 ・中学校教諭第一種教員免許、高等学校第一種教員免許 ・公認心理師 ・保育士
主な所属学会	日本教育心理学会，日本発達心理学会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	森 志津（モリ シズ）
最終学歴	千葉大学大学院教育学研究科国語教育専攻修士課程修了 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科人間発達科学専攻博士前期課程修了 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科人間発達科学専攻博士後期課程在籍
保有学位	修士（教育学、学術）
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程助教（2020 年）
専門分野	保育学、幼児教育学、国語教育学
研究テーマ	幼小接続、言語教育
担当授業科目	言葉
教育研究業績	【論文】 ・「就学前後における子どもの「かく」という行為に関する研究－共同性による「場」生成の位相に焦点を当てて－（単著）」（「お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学論叢」第 20 巻、2017 年） ・「幼児期の「かく（描く・書く）」という遊びに関する研究（単著）」（「幼児の教育」第 119 巻第 1 号、2019 年） ・「幼児の言語使用における実態研究－描画・書字・お話づくりの事例から－（単著）」（「月刊国語教育研究」第 58 巻通巻 610 集、2023 年） 【著書】 ・「Step51 3・4・5 歳の言葉あそび（単著）」（谷口征子・大浦賢治編著『実践につながる新しい教育・保育実習－自ら学ぶ実習を通して』ミネルヴァ書房、2022 年） 【その他】 ・書評「セレストン・フレネ著・里見実訳『言語の自然な学び方－学校教育の轍の外で－』」（「お茶の水女子大学子ども学紀要」第 4 号、2016 年） ・学会発表「就学前後における子どもの「かく」という行為に関する研究（単独）」（日本保育学会第 69 回大会、2016 年） ・学会発表「就学前後における子どもの「かく」という行為に関する研究（2）（単独）」（日本保育学会第 70 回大会、2017 年） ・学会発表「幼小接続期における対話的学びを培うカリキュラム研究－「かく」ことからひろがる書きことばの学習－（共同）」（日本保育学会第 71 回大会、2018 年） 【資格】 ・小学校教諭専修免許状、幼稚園教諭専修免許状、保育士資格
所属学会	日本国語教育学会、日本保育学会、日本社会福祉マネジメント学会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	古田 啓一（フルタ ケイチ）
最終学歴	岐阜大学大学院教育学研究科教科教育専攻美術教育専修修了
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2018 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程准教授（2023 年）
専門分野	教育学（造形美術教育、鑑賞教育、教育方法、幼児教育・保育）
研究テーマ	子どもの学びを深める造形美術教育
担当授業科目	造形表現
教育研究業績	【論文等】 ・「絵画教育における実践事例研究 第 2 報（共著）」（「岐阜大学教育学部研究報告 人文科学」第 48 巻 第 1 号・1999 年） ・「小学校教育を見通した幼児の造形鑑賞活動に関する基礎研究（研究資料）」（「小田原短期大学研究紀要」第 49 号・2019 年） ・「一人ひとりが学びを深める美術鑑賞 -知識構成型ジグソー法を用いた大学生の鑑賞プロセスから-」（大学美術教育学会「美術教育学研究」第 54 号・2022 年） 【著書】 ・「美術館が教室になる -岐阜県美術館の教育普及活動-（共著）」ミュージアム・マガジン『D O M E』（日本文教出版・2004 年） ・「図画工作・美術科教育の理論と実践（分担執筆）」（現代教育社・2007 年） ・「実践につながる 新しい教育・保育実習 -自ら学ぶ実習を目指して-」（分担執筆）」（ミネルヴァ書房・2022 年） 【学会発表等】 ・「一人ひとりが学びを深める美術鑑賞」第 58 回大学美術教育学会岐阜大会口頭発表（岐阜大学・2019 年） ・「通信教育課程によるスクーリングで学生は何を学んでいるのか -保育者養成からみた”豊かな感性の育み”を目指して-」日本保育学会第 72 回大会口頭発表（共同）（大妻女子大学・2019 年） ・「知識構成型ジグソー法を用いた美術鑑賞の授業デザイン -ルドン作品の鑑賞実践から-」第 44 回美術科教育学会東京大会口頭発表（明治学院大学 オンライン・2022 年） ・「知識構成型ジグソー法を用いた美術鑑賞の授業デザイン -小学 4 年生におけるクレー作品の鑑賞実践から-」第 45 回美術科教育学会兵庫大会口頭発表（神戸大学 オンライン・2023 年） 【資格・免許】 ・小学校専修免許、中学校専修免許（美術） 岐阜県教育委員会
所属学会	美術科教育学会、大学美術教育学会、日本感性教育学会、日本保育学会、日本保育文化学会
主な社会活動	鑑賞教育研究会（主宰）

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	田中 眞帆(タナカ マホ)
最終学歴	名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程後期課程単位取得退学
保有学位	修士(教育学)
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程助教(2020 年)
専門分野	教育学(教育方法学、教育工学)
研究テーマ	教師の実践知の共有・蓄積、教師の授業洞察力の可視化
担当授業科目	教育の方法と技術
主な教育研究業績	【論文】 ・「授業検討会における参加者の授業観の抽出と変容(単著)」(名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要. 教育科学, 66(2). 2020 年) ・「教師の実践知の共有可能性に関する研究 : 西之園晴夫の「教育技術」論に注目して(単著)」(小田原短期大学研究紀要(51) . 2021 年) 【学会発表】 ・「子どもの思考を把握するための実践論文を用いた訓練教材の開発(連名)」(日本教育工学会第 33 回全国大会) ・「授業観の変容の機会としての授業検討会の意義(連名)」(日本教育工学会 2019 年秋季全国大会) ・「教育専門職の授業洞察力を高めるための教材の開発の試み(1)(連名)」(日本教育工学会 2020 年春季全国大会) ・「教育専門職の授業洞察力を高めるための教材の開発の試み(2)(連名)」(日本教育工学会 2021 年春季全国大会) ・「教育専門職の授業洞察力を高めるための教材の開発の試み(3)—教師と学生の回答の比較にもとづくループリックの提案—(連名)」(日本教育工学会 2022 年春季全国大会) ・「協同的な探究における子どもの多面的・多角的な思考様式の解明—中間項を用いた潜在的諸要因の関連構造の明示化を通して—(連盟)」(日本教育方法学会第 57 回大会) 【資格】 ・高等学校教諭一種免許状(国語)
所属学会	日本教育方法学会、日本教育工学会、日本教師教育学会、中部教育学会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	上山 明子(ウエヤマ アキコ)
最終学歴	愛知県立芸術大学 大学院 美術研究科 彫刻専攻 修士課程 修了
保有学位	修士(芸術学)
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程助教（2018 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2021 年）
専門分野	教育学(美術教育、造形教育) 芸術学(彫刻、古典技法、乾漆彫刻)
研究テーマ	乾漆彫刻 美術教育 造形教育 文化継承
担当授業科目	造形表現
教育研究業績	【論文】 ・「乾漆彫刻の系譜と継承のための教育（単著）」(「美術教育研究」第 25 号・2019 年) ・「文化芸術の継承と教育―鬼のお面制作の授業実践―(単著)」(「小田原短期大学紀要」第 49 号・2019 年) ・「高蔵寺リ・ニュータウンの地域文化創生の一考察-幼児造形講座の指導案づくり-(単著)」(「小田原短期大学紀要」第 50 号・2020 年) ・「高蔵寺ニュータウン地域文化創生の一考察―1 年間を通じた造形講座のまとめ―(単著)」(「小田原短期大学紀要」第 51 号・2021 年) 【著書】 ・国画会彫刻部「第 95 回国展」図録上山明子作品掲載(国画会 彫刻部 2021 年) 【その他】 学会発表： アートがつなぐ未来への思考力の芽生え（第 76 回大会日本保育学会）アートを通じた地域文化創生の一考察―高蔵寺リ・ニュータウンでの実践―(第 58 回 大学美術教育学会 岐阜大会 2019) 展示発表「ORIGIN」（第 27 回美術教育研究大会 2021） 芸術活動： 国展に出品（新国立美術館 東京都美術館・1998 年から 2022 年） 個展「名古屋市芸術賞受賞記念上山明子乾漆彫刻展」（大阪 高島屋・2019 年） 個展「上山明子乾漆彫刻展」（名古屋 ・2022 年 2023 年） 受賞： 第 27 回愛銀教育財団 教育・文化活動に携わる個人への助成金 名古屋市平成 29 年度名古屋市芸術賞（奨励賞） / 第 84 回国展 F 氏賞受賞 第 46 回中部国展 中部新人賞受賞 / 第 35・40・47 回中部国展 奨励賞受賞 【資格】 学芸員資格（1999 年）高等学校教諭・中学校教諭専修免許状(美術)（2001 年）
所属学会	日本保育学会・大学美術教育学会・美術教育研究会
主な社会活動	各務原市生涯学習の講座・講演/グループふじとう児童館・造形講座(2019 年から) かすがい市民文化財団みんなの美術部【漆アート】招待講師 2023 年

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	加藤 由紀子（カトウ ユキコ）
最終学歴	名古屋音楽大学大学院音楽研究科修士課程器楽専攻（ピアノ）修了
保有学位	修士（音楽）
主な職歴	小田原短期大学非常勤講師（2016 年） 小田原短期大学専任講師（2017 年）
専門分野	音楽（ピアノ演奏、幼児音楽教育）
研究テーマ	ドイツ・オーストリア音楽、ショパン、音楽あそび、リトミック
担当授業科目	表現（音楽）
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成課程学生の音楽活動実践能力向上のための試行的研究－課外活動における実践を通して－（単著）」（「保育文化研究」第 7 号・2018 年） ・「これからの幼児教育・保育におけるリトミックの役割－ダルクローズの理念と幼稚園教育要領の関連に着目して－（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 50 号・2020 年） ・「保育者養成校における音楽表現指導－ピアノ指導に関する質問紙調査から－（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 51 号・2021 年） ・「ピアノ演奏時における「あがり」の予備研究：保育者養成校の学生を対象に（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 52 号・2022 年） 【著書】 ・「音楽と語りで夢を育む絵本ケア（共著）」（三恵社・2019 年） 【その他】 ・「学生の音楽活動実践能力の向上について－リトミックにおける即興演奏をヒントに－（単独）」（日本保育者養成教育学会第 2 回研究大会口頭発表・2018 年） ・「保育者養成校学生の感性を育む「絵本と音楽研究ノート」（共同）」（日本保育文化学会第 6 回大会口頭発表・2019 年） ・「保育学生の継続的な学びを支援する ICT の活用－音楽・造形表現における試み－（共同）」（日本保育学会第 73 回大会口頭発表・2020 年） ・「グレの会ピアノコンサート光 No.7（共同）」（グレの会・2018 年） ・「0 歳の赤ちゃんから参加できるクリスマスコンサート（共同）」（小田原短期大学通信教育サポートセンター（名古屋）・2018 年） ・「0 歳からの親子で楽しむコンサート（単独）」（小田原短期大学通信教育サポートセンター（名古屋）・2019 年）
所属学会	日本保育学会、全国大学音楽教育学会、日本保育者養成教育学会、日本保育文化学会、日本ジャック＝ダルクローズ協会
主な社会活動	全日本ジュニアクラシック音楽コンクール審査員 東京国際ピアノコンクール審査員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	七原 真紀（ナナハラ マキ）
最終学歴	University of Alaska, Anchorage, Music (performance)卒業 名古屋音楽大学大学院音楽研究科音楽教育学専攻修了 豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程修了
保有学位	学士（音楽）、修士（音楽）、博士（工学）
主な職歴	新城市児童発達支援施設おおぞら園、医療法人鳳紀会可知病院音楽療法士
専門分野	音楽学（音楽教育、音楽療法）、音楽医科学（障害児・者、リハビリテーション）
研究テーマ	発達障害児・者および脳卒中患者に対する家庭遠隔音楽リハビリテーション
担当授業科目	音楽表現Ⅵ、保育の英会話
教育研究業績	【論文】 ・「構音障害を有する中枢神経疾患患者に対する声域・声の強さの向上のための音楽療法事例～音声分析に基づいて～（単著）」（「日本音楽療法学会学術誌」vol.8, No.1・2008） ・“Correlation of acoustic features of pitch/rhythm/power and perceptual impressions after singing training for people with dysarthria(共著)”, (Paper, Acoustical Science and Technology, vol.43, 1・2022) ・「脳卒中片麻痺患者における鍵盤楽器訓練による手指リハビリテーションの効果の指標としての客観評価と主観評価の検討（共著）」（「生体心理学研究」vol.15, No.1・2023） 【著書】 ・「the ミュージックセラピー(共著)」(音楽之友社, vol.05・2004, vol.10・2006) 【学会発表】 ・“Evaluating Keyboard Instrument Rehabilitation for Post-Stroke Patients Using sEMG, MIDI(共著)” (24th Rehabilitation World Congress in Aarhus, Denmark, online ポスター・2021) ・「脳卒中患者数の手指リハビリテーションのための鍵盤楽器演奏課題 ～表面筋電図と MIDI による客観的評価と主観的評価の検討～(共著)」(第 21 回日本音楽療法学会学術大会、オンデマンド、口頭・2021) 他 【その他】 ・第 3 回日野原賞「論文部門」, “Correlation of Acoustic Analysis of Pitch/Rhythm with Perceptual Impression Evaluations after Singing Training for Dysarthria Patients”. 第 23 回日本音楽療法学会, September 2023. ・「歌唱訓練用・音楽療法支援アプリ」(株式会社ネットコム共同開発・2015) 【資格】 ・日本音楽療法学会認定音楽療法士 ・岐阜県音楽療法士
所属学会	日本保育学会,日本音楽療法学会,日本生態心理学会,日本音響学会,日本音楽医療研究会
主な社会活動	福祉施設利用者や在宅児童などを対象にした定期的な音楽療法の実践。愛知県内の保健所, 福祉施設, 教育委員会などで音楽療法の講演会の講師活動。

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	服部 安里 （オギタ アンリ）
最終学歴	奈良教育大学大学院 教育学研究科 音楽教育専修 修士課程 修了
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	大阪樟蔭女子大学児童学部児童学科非常勤講師（2016 年） 奈良教育大学教育学部研究員（2016 年） 名古屋芸術大学保育専門学校保育科専任教員（2018 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程助教（2020 年）
専門分野	音楽（音楽教育学、音楽心理学）
研究テーマ	音楽教育、子どもの音楽活動、音楽心理学、ストレス、社会性
担当授業科目	音楽表現
教育研究業績	【論文】 ・「音楽の授業は子どもたちのストレスを下げる（共著）」（「奈良教育大学教育学部紀要人文・社会科学」第 64 巻第 1 号・2015 年） ・「教員および保育士養成学部におけるピアノ実技の自主練習に関する研究（共著）」（「大阪樟蔭女子大学児童学部児童学科紀要こども研究」Vol.7・2016 年） ・「小学校の合唱と教員養成-特別活動を中心に-（共著）」（「大阪樟蔭女子大学研究紀要」7・2017 年） ・「教員および保育士養成学部における声楽実技の指導法（共著）」（「大阪樟蔭女子大学樟蔭教職研究」第 2 巻・2018 年） ・「音・音楽と香りの相互作用と脳（共著）」（「AROMARESEARCH No.75」Vol.19No.3・2018 年） ・「ピアノ演奏時における「あがり」の予備研究—保育者養成校の学生を対象に—（共著）」（小田原短期大学研究紀要 52・2022 年） ・「保育者養成課程の学生における授業時間外のピアノ学習—演奏動画の利用に着目して—（共著）」（「保育文化研究」第 14 号・2022 年） 【その他】 ・「Chill-inducing music regulates social hormones and increases altruism（査読付・共同）」（Japan Neuroscience Society Neuroscience2016） ・「合唱は利他性を高める（共同）」（日本音楽知覚認知学会平成 30 年度春季研究発表会） ・「Chorus increases altruism（査読付・共同）」（Japan Neuroscience Society Neuroscience2018） ・「音楽と共感性（共同）」（日本音楽知覚認知学会 2019 年度春季研究発表会） ・「Music Enhances Altruism – Behavioral Economics, Behavioral Endocrinology Research（査読付・共同）」（Japan Neuroscience Society Neuroscience2019） ・平成 27 年度科学研究費補助事業【基盤研究（A）】分担研究者「音楽科教育は社会性を育む—音楽教育学、行動内分泌・遺伝学、脳機能イメージング研究」 【資格】 ・幼稚園教諭免許状（一種・専修）・小学校教諭免許状（一種・専修）・中学校教諭免許状「音楽」（一種・専修） ・高等学校教諭免許状「音楽」（一種・専修）・学校図書館司書教諭資格 ・リトミック研究センターディプロマ B
所属学会	・日本音楽知覚認知学会 ・日本神経科学学会 ・日本音楽教育学会 ・リトミック研究センター ・日本保育文化学会

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	タカギヨシコ 高木芳子
最終学歴	愛知県立大学大学院人間発達学専攻博士後期課程 単位修得後退学
保有学位	修士（人間科学）
主な職歴	保育士
専門分野	保育学（障害児保育・保育実習）
研究テーマ	障害児保育（気になる子ども・インクルーシブ保育・集団作り）
担当授業科目	障害児保育、教育実習事前事後指導、保育実習事前事後指導、教育・保育実践演習
教育研究業績	【論文】 「気になる子ども」に関する研究動向—個別支援と参加の観点からの整理—（2021）愛知県立大学大学院人間発達研究科 人間発達学研究 他者との関係構築に特別なニーズのある子どもへの支援—保育者の意図と子どもの意図のずれに着目して—（2022）愛知県立大学大学院人間発達研究科 人間発達学研究 【著書】 幼児の造形 ニューヒット教材集 2（2012）明治図書出版 共著 【その他】 統合保育における保護者との連携についての実践及び考察 中堅Ⅳ・統合保育研修報告書（1993）名古屋市民生局児童部保育課 pp.115-129 応答的環境としての保育者の役割についての実践及び考察 中堅Ⅳ・統合保育研修報告書（2000）名古屋市健康福祉局児童家庭部保育課 pp.1-18 【資格】 保育士資格 幼稚園教諭専修免許状
所属学会	保育学会
主な社会活動	愛知保育問題研究会（集団作り・乳児保育・障害児保育）

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	高間 準（タカマ ジュン）
最終学歴	京都市立芸術大学大学院美術研究科
保有学位	修士（芸術学）
主な職歴	プール学院大学短期大学部幼児教育保育学科（2015～2019） 小田原短期大学保育学科通信教育課程（2019～）
専門分野	現代美術、幼児造形教育
研究テーマ	幼児期の再帰的「感性」の研究及びそれに係る保育者の目的論的志向性の研究
担当授業科目	造形表現Ⅲ、保育・教職実践演習（幼稚園）、教育の方法と技術など
教育研究業績	【論文】 ・「領域『表現』（造形分野）や『図画工作』に関する資質・能力の捉え方とディシプリンに基づく美術教育について」（プール学院大学紀要第59号・2019年） ・「領域『表現』における『感性』の省察性について」（小田原短期大学 第51号研究紀要・2021年） ・「幼稚園教育要領『豊かな感性』の意味するところ」（小田原短期大学 第53号研究紀要・2023年） ・「領域『表現』の豊かな感性での『豊かな』を顕在化することは幼児教育に何をもたらすか？」（保育を考える研究会紀要第5号・2023年） 【著書】 ・「保育・教職実践演習－わたしを見つめ、求められる保育者になるために（共著）」（ミネルヴァ書房・2017年） 【その他】 ・《教育実践発表》「見ることや美術館の作品鑑賞体験から位置づけ、資質・能力を相互に関連させながら試みた、幼稚園でのプロジェクト活動の事例について－和歌山県立近代美術館との連携による鑑賞教育に係る包括的研究－（共同研究）」（第67回日本美術教育学会学術研究大会「三重大会」・2018年） ・《教育実践発表》「見ることや美術館での作品鑑賞体験を重視しながら資質・能力を高めることを目指した、幼児期の表現活動について（共同研究）」（第68回日本美術教育学会学術研究大会「東京大会」・2019年） ・日本保育学会(口頭発表・分科会座長及び研究奨励賞推薦委員 2021年) ・日本保育学会(口頭発表・分科会座長及び研究奨励賞推薦委員 2022年)・ ・《教育実践発表》「幼稚園教育要領豊かな感性と学習指導要領に記される感性とは何が違うのか(共同研究)」(第73回日本美術教育学会学術研究大会「岐阜大会」・2023年)
所属学会	日本美術教育学会、美術科教育学会、日本保育学会
主な社会活動	「和歌山県立近代美術館との協定締結・連携事業の推進」2017年～

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	福田 明子（フクダ アキコ）
最終学歴	・Graduate School of Music and Fine Arts, The University of Kansas 博士課程修了 ・Manhattan School of Music 修士課程修了 ・明星大学通信制大学院教育学研究科教育学専攻博士前期課程修了
保有学位	博士（Doctor of Musical Arts） 修士（Master of Music）、修士（教育学）
主な職歴	龍谷大学学部共通コース非常勤講師（2012 年） 大和大学教育学部非常勤講師（2014 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程准教授（2016 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程教授（2022 年）
専門分野	音楽教育（幼児）、音楽表現
研究テーマ	幼児音楽教育、イギリス学校音楽教育、リトミック教育、教員養成（ピアノ）
担当授業科目	表現（音楽）、合奏、リトミック、ピアノ
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成課程におけるリトミック授業のあり方に関する一考察－模擬リトミックから見えてくる指導上の重要ポイント－」（「保育を考える研究会紀要」第 3 号・2021 年） ・「ジャック＝ダルクローズのレクチャー・デモンストレーション－イギリスの学校音楽教育への影響－（単著）」（「音楽教育史研究」第 22 号・2020 年） ・「イギリスの学校音楽教育におけるリトミックの受容－音楽ジャーナル『学校音楽評論』のリトミックに関する記述を中心に－（単著）」（「ダルクローズ音楽教育研究」第 43 号・2019 年） ・「リトミックとコダーイ・メソッドの比較検討と幼児教育のための実践指導案（単著）」（「保育を考える研究会紀要」第 1 号・2019 年） ・「幼児を対象とした親子リトミックワークショップの事例研究（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 47 号・2017 年） 【著書】 ・『幼児教育における表現 I〈理論的研究編〉（共著）』（三恵社・2018 年） ・『幼児教育における表現 I〈実践的研究編〉（共著）』（三恵社・2018 年） ・『実践につなぐ新しい教育・保育実習－自ら学ぶ実習を目指して－（共著）』（ミネルヴァ書房・2022 年） 【その他】 ・「イギリスへの資料収集の旅－その準備から成果までの報告（単著）」（「保育を考える研究会紀要」第 4 号・2023 年） ・「幼児鼓隊のリズム指導に関する考察－幼稚園教員への研修を通して－（単著）」（「保育を考える研究会紀要」第 2 号・2020 年） 【資格】 ・リトミック指導資格ディプロマ A（NPO 法人リトミック研究センター）
所属学会	日本ダルクローズ音楽教育学会、音楽教育史学会、日本音楽教育学会、日本保育学会、日英教育学会
主な社会活動	・大阪市内の保育園において 1～5 歳児クラス対象にリトミック指導。

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	久保 玄理（クボ ハルヨシ）
最終学歴	同志社大学大学院総合政策科学研究科公共政策専攻博士後期課程満期退学
保有学位	修士（政策科学）
主な職歴	三重県公立学校教諭 小田原短期大学専任講師（５年）
専門分野	教育学（総合学習、社会科教育法、幼児に関する教育）
研究テーマ	子どもの諸活動に関すること
担当授業科目	教育の方法と技術
教育研究業績	【論文】 ・「地域おこしにかかわる幼児の特性について（単著）」（「小田短紀要第 47 2016 年」 ・「地域おこしにかかわる幼児の特性について 2（単著）」（「小田短紀要第 48 2017 年」 【著書】 ・「三重県中学生用社会科副読本（共著）」（三重県教育委員会・2010） ・「三重県中学生用道徳副読本『三重県心のノート』（共著）」（県教委・2013） ・「絵本が幼児に与える影響に関する一考察（共著）」（三恵社・2018 年） ・「展覧会を通して見えてくる幼児の芸術感（共著）」（三恵社・2018 年） ・「実践につながる新しい幼児教育の方法と技術（共著）」（ミネルヴァ書房・2020） ・「誕生月別による子どもの差異に関する一考察—Ｊリーガーを通して—（共著）」（保育を考える会紀要第 4 号・2022 年） 【その他】 ・日本教育実践学会第 1 3 回研究大会 1 日目午前の部 B 会場座長（上越教育大学・2010） ・「支援学級生徒による幼稚園児への造形制作指導ポスター発表」（2016 年） ・日本部活動学会大阪大会実行委員会委員（大阪大学・2019） 【資格】 ・中学専修教員免許（社会）・高校 1 種免許（社会）・小学 2 種免許
所属学会	・日本教育行政学会・日本教育実践学会・日本特別ニーズ教育学会 ・日本部活動学会・日本公教育計画学会
主な社会活動	和歌山県男女協働参画審議会委員 新宮市教育委員会事務事業評価等委員会委員 県立高校対話集会講師

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	近藤 正子（コンドウ マサコ）
最終学歴	奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程複合領域科学専攻博士課程満期退学
保有学位	修士（文学）
主な職歴	甲子園短期大学幼児教育保育学科（2006－2008 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2016 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任准教授（2021 年）
専門分野	健康心理学、身体表現学、幼児体育
研究テーマ	幼児間のトラブルへの保育者の介入、主体的な劇遊び指導法、実習不安を低減させる実習指導法
担当授業科目	人間関係、身体表現Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「スクーリング(集中講義)の学習動機づけ－実技科目が目指す授業展開とは－(共著)」(保育を考える研究会研究紀要第 1 号・2019 年) ・「保育者に求められる身体表現力とは(2)－学生の意識調査と実技科目連携の試み－(共著)」(甲子園短期大学紀要第 26 号・2008 年) 【著書】 ・『実践につながる新しい教育・保育実習(共著)』(ミネルヴァ書房・2022 年) ・「実践につながる新しい幼児教育の方法と技術(共著)」(ミネルヴァ書房・2020 年) ・「事例と図解で学ぶ保育実践『子どもの心の育ちと人間関係』－人を育てるためのかわり」と援助－(共著)」(保育出版社・2009 年) 【その他】 ・「教育実習後の自己評価と園評価の比較－2022 年度教育実習について－(共著)(資料)」(保育を考える研究会研究紀要第 5 号・2023 年) ・「園内研修への外部講師としての関り(単著)(報告)」(保育を考える研究会研究紀要第 5 号・2023 年) ・「体育系実技科目連携に関する調査(共著)(資料)」(保育を考える研究会研究紀要第 5 号・2023 年) ・「教育実習体験後の実習に対する意識調査(単著)(研究資料)」(保育を考える研究会研究紀要第 4 号・2022 年) ・「劇作品づくりにおけるインターネット検索利用の有用性(単著)(授業研究)」(保育を考える研究会研究紀要第 3 号・2021 年)
所属学会	日本体育学会（体育心理）・大阪体育学会・日本健康心理学会 日本保育者養成教育学会
主な社会活動	認定こども園新光明池幼稚園園内研修講師・保育研究アドバイザー

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	中塚 健一（ナカツカ ケンイチ）
最終学歴	埼玉大学大学院教育学研究科学校臨床心理専修 修了
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	小田原短期大学専任講師（2016 年） 小田原短期大学准教授（2022 年）
専門分野	教育学（教育方法、教育思想、教師論、学校臨床）
研究テーマ	教職論、教師教育、学級経営、いじめ問題、教授学習組織、教育法、初等教育
担当授業科目	教育原理、教育制度論
教育研究業績	【論文】 ・教員が子どもを「叱ること」に関する一考察—幼保小接続を中心に—（小田原短期大学研究紀要 52 号・2022 年） 【著書】 ・『子どもとともに未来をデザインする保育者論・教育者論（共著）』（わかば社・2020 年） ・『資料とアクティブラーニングで学ぶ初等・幼児教育の原理（共著）』（萌文書林・2022 年） 【その他】 ・（学会発表）教職課程において教育理論を学ぶ意義について—近代教育思想を中心に（日本教師教育学会・2023 年） 【資格】 ・小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状（社会）、高等学校教諭専修免許状（地理歴史・公民）
所属学会	日本教師教育学会、日本教育方法学会、日本保育者養成教育学会、日本保育学会
主な社会活動	保育を考える研究会

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	森本 利夫（モリモト トシオ）
最終学歴	高野山大学大学院文学研究科密教学博士前期課程修了
保有学位	修士（密教学）
主な職歴	裏千家茶道資料館学芸員（1979 年）,兵庫県立高等学校教員（1982 年） 関西保育福祉専門学校専任講師（2003 年）、兵庫県労働局（2017 年） 小田原短期大学専任講師（2018 年）、小田原短期大学准教授（2022 年）
専門分野	仏教教育学（教育史、教育思想、教育方法）
研究テーマ	仏教保育史、関西の幼児教育史、宗教教育
担当授業科目	情報処理論、教育の方法と技術、教育原理
教育研究業績	【論文】 ・「大阪における本願寺派の農繁期託児所研究:大阪府豊能郡萱野農繁期託児所を中心として」(査読単著)『日本仏教教育学研究』第 27 号、2019 年・「昭和初期の都市幼稚園における夏季林間保育と幼児の健康について:京都・永観堂幼稚園を事例として」(単著)『小田原短期大学研究紀要』第 50 号、2020・「倉橋惣三の『育ての心』にみる仏教的孩子も理解と保育・幼児教育思想の一考察:仏教関連文献との比較論」(単著)『保育を考える研究会研究紀要』第 2 号、2020、・「花圓淵澄の保育事業活動とその著書に見る仏教保育観:仏教保育の視座から農繁期託児所の歴史的意義を再考する」(査読単著)『日本仏教教育学研究』第 29 号、2021 年、・「近畿地方の寺院と農繁期託児所の歴史的展開過程:戦前までの各宗派における農村での保育事業活動考」(単著)『小田原短期大学研究紀要』第 51 号、2021 年、・「真宗大谷派僧の雲英晃耀・猶龍(関信三)兄弟における破邪学研究の一考察:因明研究教育者と幼児教育者との接点」(単著)『保育を考える研究会研究紀要』第 3 号、2021 年・「倉橋惣三と内山憲尚の幼児期における宗教教育について」(単著)『小田原短期大学研究紀要』第 52 号、2022 年・「日本仏教保育史の研究(1):出産と子育ての古代編」(単著)『保育を考える研究会研究紀要』第 4 号、・2023 年「日本仏教保育史序説研究(2):中世の子ども観と死生観」(単著)『保育を考える研究会研究紀要』第 5 号 【その他】 ・「寺院における農繁託児所:1930 年代を視点として」(単独パネル発表)日本保育学会第 69 回学術大会、2017 年、・「関西における黎明期の幼稚園送迎車について」(単独パネル発表)日本保育学会第 73 回学術大会、2020 年 【資格】 ・高等学校教諭二級免許(社会)、中学校教諭一級免許(社会)、博物館学芸員、社会教育主事、高野山真言宗僧侶、終活ライフケアプランナー
所属学会	日本仏教教育学会、日本保育学会、日本教育史学会
主な社会活動	兵庫県教育委員会、宝塚市シルバー人材センター、他

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	山西 多加（ヤマニシ タカ）
最終学歴	兵庫教育大学大学院学校教育研究科人間発達教育専攻 博士課程前期課程 修了
保有学位	教育学学士（大阪教育大学）；学校教育学修士（兵庫教育大学）
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程助教（2016 年）同専任講師（2019 年）
専門分野	教育学（美術教育、幼児教育、保育）
研究テーマ	美術教育思想・教材
担当授業科目	表現（造形），製作表現Ⅰ
主な教育研究業績	【論文】 ・「ワークショップ『聴く・創る・贈る』の開発と実践（共著）」（兵庫教育大学研究紀要第 45 巻・2014 年） ・「彫刻家佐藤忠良の教育理念—美術を通じた学び—（単著）」（日本基礎造形学会『基礎造形 028』・2020 年） ・「彫刻家佐藤忠良の彫刻教育観（単著）」（日本基礎造形学会『基礎造形 029』・2021 年） ・「造形表現活動を通じた幼児の自然環境教育（単著）」（日本教材学会『教材学研究第 32 巻』・2021 年） ・「彫刻家佐藤忠良の絵本挿絵における幼児・児童の情操教育観（単著）」（日本基礎造形学会『基礎造形 030』・2022 年） ・「資質・能力の育みを繋ぐ幼児・児童・生徒の絵巻物教材（単著）」（日本教材学会『教材学研究第 33 巻』・2022 年） ・「図画工作科教科書『子どもの美術』が掲載する「絵に表す」活動にみられる教育観（単著）」（日本基礎造形学会『基礎造形 031』・2023 年） 【著書】 ・『教育・保育実習に役立つ部分実習指導案集（共著）』（萌文書林・2018 年） ・『おじょうさまのえをかこう（単著）』（華頂短期大学・2018 年） 【その他】 ・未来のこども絵本大賞・大賞（華頂短期大学・2017 年度） ・手作り絵本コンクール・審査委員長賞（佐賀市立図書館・2018 年度） ・こどもの館手づくり絵本コンクール・優秀賞（兵庫県立こどもの館・2017 年度）奨励賞（2019・20・21 年度）こどもの館賞（2023 年度） 【資格】 ・幼稚園・小学校・中学校・高等学校（美術）教諭専修免許；特別支援学校（知的・病弱・肢体・視覚・聴覚）教諭 2 級免許；保育士・博物館学芸員資格
所属学会	日本基礎造形学会、日本教材学会
主な社会活動	A 市生涯学習市民講師

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	尾山 祥子（オヤマ ショウコ）
最終学歴	大阪教育大学大学院教育学研究科学学校教育専攻幼児教育学コース修了
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程助教（2017 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2020 年）
専門分野	幼児教育学・保育学
研究テーマ	保育者の資質・専門性
担当授業科目	保育者論、教育実習、保育・教職実践演習（幼稚園）
教育研究業績	【論文】 ・「2 歳児の遊びを支える担任保育者の実践的思考の検討－自由遊び場面に対する振り返りの語りに着目して－(共著)」(「エデュケア」第 38 号・2018 年) ・「保育者養成課程で習得される資質能力と課題－履修カルテにおける自己評価の分析を通して－(単著)」(「小田原短期大学研究紀要」第 49 号・2019 年) ・「多文化共生保育における物的・人的環境－アメリカの日系プレスクールの実践から－(単著)」(「小田原短期大学研究紀要」第 50 号・2020 年) 【著書】 ・「保育職論(共著)」(建帛社・2015 年) ・「幼稚園教育実習(コンパクト版保育者養成シリーズ)(共著)」(一藝社・2017 年) ・「改訂 保育職論(共著)」(建帛社・2019 年) ・「実践につながる新しい幼児教育の方法と技術(共著)」(ミネルヴァ書房・2020 年) ・「実践につながる 新しい子どもの理解と援助－いま、ここに生きる子どもの育ちをみつめて」(ミネルヴァ書房・2021 年) ・「子どもの文化 演習ブック(共著)」(ミネルヴァ書房・2022 年) 【その他】 【資格】 ・幼稚園教諭専修免許 ・特別支援学校教諭 1 種免許 ・保育士資格
所属学会	日本保育学会 日本乳幼児教育学会 こども環境学会 中国四国教育学会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	萩原 恵里（ハギワラ エリ）
最終学歴	ドイツ国立ヴュルツブルグ音楽大学大学院修了 兵庫教育大学大学院人間発達教育専攻幼年教育コース修了
保有学位	Konzertdiplom（ピアノ）、修士（学校教育学）
主な職歴	小田原短期大学助教（2016 年） 小田原短期大学専任講師（2019 年）
専門分野	音楽教育（幼児教育）、ピアノ
研究テーマ	保育者養成におけるピアノ教育、幼児の音楽表現に関する研究
担当授業科目	音楽表現Ⅰ、音楽表現Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成におけるピアノ弾き歌いに関する一考察（単著）」（幼年教育 WEB ジャーナル第 2 号・2019 年） ・「幼稚園令制定後の保姆試験検定における音楽実地試験に関する研究（単著）」（保育を考える研究会第 1 号・2019 年） ・「幼児向け音楽コンサートに関する一考察（単著）」（保育を考える研究会第 5 号・2023 年） 【著書】 ・「実践につながる新しい教育・保育実習-自ら学ぶ実習を目指して（共著）」（ミネルヴァ書房・2022 年） 【その他】 ・ 【資格】 ・中学校・高等学校教諭専修免許（音楽） ・子育て支援コーディネーター（兵庫教育大学）
所属学会	日本保育学会、日本音楽教育学会、日本保育者養成教育学会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	関岡 有季（セキオカ ユキ）
最終学歴	大阪体育大学大学院 スポーツ科学博士後期課程 満期退学
保有学位	修士（スポーツ科学）
主な職歴	小田原短期大学 助教（2020 年） 小田原短期大学 専任講師（2023 年）
専門分野	スポーツ心理学
研究テーマ	大学新入生のメンタルヘルスについて
担当授業科目	健康、健康指導法、体育（講義）
教育研究業績	【論文】 ・「幼児の調整力に関する運動学習の効果（その1）－ボール投げ入れ・ボール蹴り返し・とびこしくぐりでの検証－（共著）」（「佛教大学教育学部学会紀要」第 19 号・2020 年） ・「コロナ禍における専門学校生の精神的健康度－オンライン授業終了時と対面授業終了時の比較－（単著）」（「保育を考える研究会紀要」第 3 号・2021 年） ・「コロナ禍における専門学校生の精神的健康度－1 年生の経時的変化－（単著）」（「保育を考える研究会紀要」第 4 号・2022 年） ・「コロナ禍における大学新入生の精神的健康度について（単著）」（帝塚山大学教育学部紀要 4 37-45, 2023 年） ・「ストレスマネジメントとしてのタッチングの効果－身体接触に抵抗感のある学生を対象として－（単著）」（「保育を考える研究会紀要」第 5 号・2023 年） 【著書】 ・「新．体育あそびアラカルト（共著）」（昭和堂出版・2018 年） ・「伝承遊び大百科－現代アレンジで遊ぶ－（共著）」（昭和堂出版・2021 年） ・「実践につながる新しい教育・保育実習－自ら学ぶ実習を目指して（共著）」（ミネルヴァ書房・2022 年） ・「コミュニケーション力を育むレクリエーション－保育・教育現場で使えるクラフト&ゲーム 70 選－（共著）」（実生社・2023 年） 【その他】 【資格】 ・小学校教諭第 2 種免許状
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会 日本カウンセリング学会 日本スポーツ心理学会 ボディートーク協会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	西元 咲文（ニシモト サアヤ）
最終学歴	大阪総合保育大学大学院児童保育研究科 児童保育専攻 修士課程修了
保有学位	学士（こども学）、修士（教育学）
主な職歴	堺市 公立幼稚園（常勤講師） The Japanese School of Guam 全日制（専任幼稚部教員） The Japanese School of Guam 補習授業校小学部習熟度クラス担任（専任小学部教員） 富田林市 公立幼稚園（常勤講師） 大阪こども専門学校（教員）
専門分野	発達・子育て、幼児教育・保育、第二言語習得理論
研究テーマ	言語発達、幼児の言葉、バイリンガル
担当授業科目	言語表現、言葉、公務員対策講座
教育研究業績	【論文】 ・グアム島在住の日英バイリンガル児の言語習得と精神発達について（「大阪総合保育大学大学院修士論文」2020 年） ・「グアム日本人学校での保育内容について」（「保育を考える研究会研究紀要」2023 年 3 月） ・「グアム日本人学校幼稚部 視察訪問報告」（「保育を考える研究会研究紀要」2024 年 3 月） 【その他】 ・富田林市 公立幼稚園「幼稚園支援教育研修会」支援教育実践発表（2018 年 9 月） ・富田林市 教育委員会作成 家庭学習支援用コンテンツのインターネット上での公開（2020 年 5 月） ・海外在住の 5 歳児～自閉症児の事例について～（「大阪総合保育大学総合保育研究所気になる子どもの理解と支援」2023 年 10 月） ・The Japanese School of Guam 幼稚部職員研修会（「グアム日本人学校の気になる子について～外国籍の子ども・保護者への配慮について～」2023 年 12 月） ・保育者養成校における言語表現の現状と課題—コロナ禍後における「言語表現」のアンケートをもとに在り方を考える—（「日本保育者養成教育学会 2024 年 3 月」） 【資格】 ・保育士資格 ・幼稚園教諭専修免許状 ・小学校教諭専修免許状
所属学会	日本保育学会、日本発達心理学会、日本保育者養成教育学会
主な社会活動	在外教育アドバイザー、大阪総合保育大学総合保育研究所研究員、教育課程編成委員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	藤田 華（フジタ ハナ）
最終学歴	東京藝術大学大学院音楽研究科器楽専攻修士課程 修了
保有学位	修士（音楽）
主な職歴	小田原短期大学助教（2021 年）
専門分野	音楽教育、音楽表現、器楽（クラリネット）
研究テーマ	乳幼児の音楽教育、演奏実践
担当授業科目	音楽表現 I
教育研究業績	【論文】 ・「クラシック音楽におけるヴィブラート〜クラリネットとヴィブラート〜（単著）」（「東京藝術大学大学院修士論文」2018 年） ・「乳幼児向けコンサートについての一考察―コロナ禍におけるクラシック業界―（単著）」（「保育を考える研究会研究紀要」第 4 号・2022 年） ・「音楽アウトリーチの実践を通して（単著）」（「保育を考える研究会研究紀要」第 5 号・2023 年） ・「乳幼児のためのコンサートに関する研究～舞台上からみた子どもの様子と保護者アンケートの結果～（単著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 54 号・2023 年） ・「幼児期における器楽合奏についての一考察（単著）」（「保育を考える研究会研究紀要」第 6 号・2024 年） 【その他】 ・未就学児向け「親子で楽しむ音楽会」コンサートの企画・実施（2022 年 10 月） 【資格】 ・中学校教諭一種免許状（音楽）、高等学校教諭一種免許（音楽） ・リトミック指導資格中級（NPO 法人リトミック研究センター）
所属学会	日本保育学会
主な社会活動	乳幼児向けコンサートの企画、実演 小学校・中学校でのアウトリーチ活動、音楽指導

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	永田 美奈子（ナガタ ミナコ）
最終学歴	国立音楽大学 音楽学部 音楽教育学科 リトミック専修 明星大学通信制大学院 教育学研究科 教育学専攻 博士前期課程
保有学位	学士（音楽） 修士（教育学）
主な職歴	広島文教女子大学（現 広島文教大学） 非常勤講師（2011 年） 小田原短期大学 助教（2019 年） 小田原短期大学 専任講師（2022 年）
専門分野	教育学（音楽教育学）
研究テーマ	リトミック、幼児教育、音楽科教育、障がい児教育
担当授業科目	音楽表現Ⅱ、Ⅳ 音楽実践Ⅱ、Ⅲ
教育研究業績	【論文】 ・「ジャック＝ダルクローズの障がい児教育に関する研究－ジャック＝ダルクローズとロバンとの相互影響の検討を中心に－（単著）」（明星大学通信制大学院研究紀要「教育学研究」Vol.17・2019 年） ・「アナクルーズを意識した身体運動を取り入れたピアノ基礎訓練（単著）」（小田原短期大学研究紀要第 51 号・2021 年） ・「20 世紀前半のフランスにおける知的障がい児のためのリトミック臨床研究に関する一考察（単著）」（ダルクローズ音楽教育研究通関第 45 号・46 号・2022 年） ・「『数の概念』を育むリトミックの提案（単著）」（小田原短期大学研究紀要第 53 号・2023 年） ・「ピアノ弾き歌い技術の評価における課題と提案（単著）」（小田原短期大学研究紀要第 54 号・2024 年）他 【その他】 ・口頭発表「『イメージ画』を活用して思いや意図をもって歌う力を養う指導法の提案－歌唱共通教材《もみじ》を題材とした実践例－」（日本学校音楽教育実践学会第 27 回全国大会、自由研究の部・2022 年）他 【資格】 ・中学校教諭 1 種免許（音楽） ・高等学校教諭 1 種免許（音楽） ・NPO 法人リトミック研究センター Diploma A
所属学会	・日本音楽教育学会 ・日本ダルクローズ音楽教育学会 ・日本保育者養成学会 ・一般社団法人こども家族早期発達支援学会 ・日本学校音楽教育実践学会
主な社会活動	Kammerchor Hiroshima Kantorei 団員 他

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	助教
氏名（フリガナ）	岸本 沙織（キシモト サオリ）
最終学歴	広島大学大学院 教育学研究科 心理学専攻 博士前期課程修了
保有学位	修士（心理学）
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程 助教（2020 年～2023 年）
専門分野	教育学（障害児保育）、心理学（臨床心理学）
研究テーマ	精神疾患に対する集団療法、LGBT 者への支援法、ダンスセラピー、運動療法、認知行動療法、発達障害児・者への支援法
担当授業科目	特別支援教育・保育概論
主な教育研究業績	【論文】 ・「アスペルガー障害の特性を有した境界性パーソナリティ障害者に対する視覚的行動療法の試み（共著）」（「鳥取医学雑誌」第 38 号・2010 年） ・「専門家の自閉症に関する認識と今後望まれる専門家教育（単著）」（「日本発達障害学会 発表論文集」第 46 巻・2011 年） ・「教師の自閉症に関する認識と今後望まれる啓発活動（共著）」（「中国四国心理学会論文集」第 44 巻 2012 年） ・「境界性パーソナリティ障害傾向とアスペルガー障害の特性との関連（共著）」（「中国四国心理学会論文集」第 45 巻 2013 年） 【その他】 ・「境界性パーソナリティ障害者に対する自閉症スペクトラム障害特性の評価の重要性とその介入方法」2012 年 日本心理臨床学会 ・「社会不安障害・コミュニケーション困難者を対象とした少人数グループ精神療法の開発」2014 年 全国精神保健福祉センター研究協議会 ・「動き・ダンスエクササイズ」2021 年 日本心理臨床学会 第 40 回大会 実行委員会企画 シンポジスト 【資格】 ・臨床心理士 ・保育士
所属学会	日本心理臨床学会
主な社会活動	広島県臨床心理士会 日本性同一性障害と共に生きる人々の会

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	神宮 咲希(シング サキ)
最終学歴	福岡女学院大学大学院人文科学研究科比較文化専攻修士課程 修了 國學院大學大学院文学研究科文学専攻博士後期課程 満期退学
保有学位	修士（比較文化学）
主な職歴	小田原短期大学保育学科通信教育課程 専任講師（2016） 小田原短期大学保育学科通信教育課程 准教授（2020）
専門分野	日本文学（『万葉集』を中心とした韻文）、幼児教育学
研究テーマ	・『万葉集』を中心に、人間にとって歌とは何かを考えています。 ・領域「言葉」を中心に、保育者の関わりと言葉の発達について考えています。
担当授業科目	言語表現、言葉、言葉指導法
教育研究業績	【近年の主要論文】 ・「防人歌の歌唱構造—武蔵国防人歌をモデルとして—」(単著)(『東アジア比較文化研究』(16)、2017年) ・「防人歌の大君歌 ——『大君の醜の御楯』をめぐる——」(単著)(『東アジア比較文化研究』(18)、2019年) ・「領域「言葉」オンデマンド型授業による学習効果調査—幼児教育における部分実習指導案作成方法を中心に—」 (単著)(『小田原短期大学研究紀要』(51)、2021年) ・「『万葉集』防人歌の拙劣歌—「拙劣」はどこから来たのか—」(単著)(『東アジア比較文化研究』(20)、2021年) 【著書】 ・「古事記歌謡注釈—歌謡の理論から読み解く古代歌謡の全貌」(共著)(新典社、2014年) ・「教育・保育実習に役立つ部分実習指導案集」(共著)(萌文書林、2018年) ・「ことばの呪力—古代語から古代文学を読む—」(共著)(おうふう、2018年) ・「実践につながる新しい教育・保育実習—自ら学ぶ実習を目指して」(共著)(ミネルヴァ書房、2022年) 【その他】（近年の主要学会発表など） ・「防人歌の歌唱システム—武蔵国防人歌をそのモデルとして—」（全国大会） (単独)(東アジア比較文化国際会議（日本・二松学舎大学）、2016年6月) ・「防人歌と『大君の命かしこみ』」（全国大会）(単独)(美夫君志会（日本・中京大学）、2017年7月) ・「東アジアと防人歌—『大君の醜の御楯』の表現をめぐる—」（国際大会） (単独)(東アジア比較文化国際会議（日本・二松学舎大学）、2018年9月) ・「大伴家持の防人歌」（全国大会）(単独)(上代文学会（日本・九州女子大学）、2019年5月) ・小田原短期大学科目「言葉」の全国版オンデマンド型授業用映像の作成(単独)(2020年) ・「『拙劣』について」（国際大会） (単独)(東アジア比較文化国際会議（中国・南開大学/オンライン）、2021年11月) ・「防人歌の作者たち」（11月例会）（単独）（古代文学会（オンライン）、2022年11月) 【資格】 ・中学校教諭専修免許状（国語）、高等学校教諭専修免許状（国語）
所属学会	上代文学会、全国大学国語国文学会、東アジア比較文化国際会議、 古代文学会、美夫君志会、國學院大學國文學會
主な社会活動	上代文学会（理事）、全国大学国語国文学会（委員） 対馬グローバル大学「対馬と日本文学」担当講師、インフィニティ国際学院カリキュラムコンサルタント 発達障害支援ポータルサイト「REDE」（コラム執筆）

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	前田 奈緒（マエダ ナオ）
最終学歴	University of Missouri-Kansas City（音楽教育修士課程修了） 九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻博士後期課程単位取得満期退学
保有学位	修士（音楽教育学）
主な職歴	近畿大学九州短期大学非常勤講師（2013 年） 福岡県立筑紫丘高等学校非常勤講師（2015 年） 小田原短期大学特任助教（2016 年） 小田原短期大学専任講師（2022 年）
専門分野	声楽、音楽教育学
研究テーマ	歌唱、音感教育
担当授業科目	音楽表現Ⅱ、音楽表現Ⅲ、音楽実践Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「子どもの歌の変遷に関する一考察 -《森の熊さん》の受容を通して-（共著）」（小田原短期大学研究紀要第 51 号・2021 年） ・「子どもの歌の変遷に関する一考察 -Yankee-Doodle と《アルプス一万尺》の変容を通して-（共著）」（小田原短期大学研究紀要第 52 号・2022 年） 【その他（学会発表）】 ・「保育者養成校における歌唱指導-歌唱に苦手意識を持つ学生への実践から-（単独）」（第 49 回日本音楽教育学会全国大会・2018 年） ・「保育者養成校における歌唱-学生の歌唱に関する意識調査を通して-（単独）」（第 3 回日本保育者養成教育学会全国大会・2019 年） 【その他（演奏活動）】 ・「Duo Recital：スタバト・マーテル全曲（共同）」（2014 年） ・「オペラ：ヘンゼルとグレーテル（共同）」（2015 年） ・「Duo Recital（共同）」（2017 年） 【資格】 ・中学校教諭第 1 種免許（音楽） ・高等学校教諭第 1 種免許（音楽） ・幼児音楽教育プログラム（Music Together）実技指導講師
所属学会	日本音楽教育学会 日本音楽表現学会 日本保育者養成教育学会 国際幼児教育学会 IMSE: International Society for Music Education
主な社会活動	チャリティーコンサート

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	下地恭子（シモジヤスコ）
最終学歴	国立鳴門教育大学大学院教育学部障害児教育学専攻終了 国立琉球大学医学部小児科研究科修了
保有学位	学士（初等教育学） 修士（教育学）
主な職歴	豊岡短期大学 通信教育学部非常勤講師（2012 年） 近畿大学姫路 通信教育学部非常勤講師（2014 年） 九州近畿大学 通信教育学部非常勤講師（2016 年） 学校法人三幸学園子ども専門学校保育科教員（2017 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2020 年）
専門分野	教育学（特別支援教育、幼児教育・保育） 心理学（発達心理学、神経心理学）
研究テーマ	特別支援教育 発達心理学 神経心理学
担当授業科目	保育の心理学・教育相談・子ども家庭支援の心理学・心理実践Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
教育研究業績	【論文】 ・「3 歳～5 歳児における（間違い探し課題）とアスペルガー症候群児 1 症例との検討（単著）」（「第 15 回日本質的心理学会」・2018 年） ・「保育園のリトミック活動における自閉スペクトラム症児への支援の一考察（単著）」（第54回日本発達障害学会・2019年） ・「自閉スペクトラム症との関わりアスペルガー児（軽度）の継次処理と同時処理の 1 症例（単著）」（小田原短期大学研究紀要 第51号 2021年） ・「保育者と子ども間のコミュニケーション支援 カラーメンタリングを使用して」（小田原短期大学研究紀要 第52号 2022年） 【その他】 ・小さい子どもの生と性 沖縄保育問題研究会・2018年5月 ・手立ての難しい子 沖縄保育問題研究会・2018年9月 ・子どもを叱らない親？叱れない親？ 沖縄保育問題研究会・2019年 5 月 ・躰の文化差（アメリカ人の子と日本人の子の比較） 沖縄保問研究会・2019年10月 ・「AI時代に問われる非認知的能力」沖縄保問研究会・2020年12月 ・「3000万語の格差」 沖縄保問研究会・2021年 4 月 ・戦争が子どもに及ぼす影響 沖縄保問研究会・2022年 4 月 ・保育を考える「知性感性を磨き、成長を手助け」 琉球新報論壇掲載2018年9月 ・「叱らない子育てに社会性身につくのか」 琉球新報論壇掲載2019年 4 月 ・幼児教育・保育の無償化「全ての子に恩恵届けて」沖縄タイムス論壇掲載2019年 9 月 【資格】 ・小学校教員専修免許状 ・障害児教育教員（現特別支援教育）専修免許状 ・Child Body Therapist Third-class ・一様式生け花講師（琉浦）免許 ・学校教育カウンセラー（初級）免許取得 ・カラーメンタリスト
所属学会	日本発達障害学会、質的心理学会、沖縄心理学会、沖縄保育問題研究会
主な社会活動	沖縄保育問題研究会（幹事） 毎年 1 回、シンポジウム・セミナー等を開催する

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	特任 助教
氏名（フリガナ）	大中原 千陽（オオナカハラ チハル）
最終学歴	沖縄県立芸術大学美術工芸学部美術学科絵画専攻 卒業 京都芸術大学芸術研究科芸術専攻 修士課程在籍
保有学位	学士（芸術）
主な職歴	・小田原短期大学非常勤講師 ・学校法人沖縄こども専門学校非常勤講師 ・学校法人 SOLA 学園非常勤講師
専門分野	美術（絵画・ファイバーアート・インスタレーション）
研究テーマ	絵画・ファイバーアート・環境芸術・造形活動・アートワークショップ
担当授業科目	造形表現Ⅱ・Ⅲ
教育研究業績	【論文・実践報告等】 【査読有】・「博物館・美術館における未就学児の親子対象造形ワークショップの構築ー地域の植物を用いた実践を通してー」（共著）環境芸術学会 学会誌 34 号（掲載予定） 【査読有】・「制約の中での親子対象造形ワークショップー交流を生み出す仕掛けづくりに着目してー」（共著）2023/美術教育研究 No.28 美術教育研究会 pp.25-36 ・「参加者・実践者にとって持続可能なアートワークショッププログラムの開発・実践・発信事業報告書」2023 沖縄県文化振興会文化活動支援助成事業報告書 講師報告 ・「沖縄の文化を次代へ継承するワークショップ実践者育成に向けた基盤形成」2022 沖縄県文化振興会 文化活動支援助成事業 報告書参加者執筆 ・「人とつながるアートワークショップの開発・実践・発信事業」2021 沖縄県文化振興会 文化活動支援助成事業(芸術文化普及事業)講師報告 【展示会（共同）】 ・「未来への視座 Views for the Future24」2024 ギャラリーTEN/東京 ・「てだこホールロビー展」2024 地域文化遺産研究会主催/浦添市てだこホール/沖縄 ・「美術の先生がつくった作品展 vol.10」2023 沖縄県立博物館・美術館/沖縄県文化振興会 2023 文化活動支援助成事業 【その他】 ・「オンラインアート教育」2022ー2024/未就学児から小学 3 年生対象オンラインアート講師/芸術による教育の会×ベネッセ協働事業 【資格】 ・中学校教諭一種免許（美術）・高等学校教諭一種免許（美術・工芸） ・チャイルドアートセラピスト
所属学会	・こども環境学会・環境芸術学会・美術教育研究会・地域文化遺産研究会
主な社会活動	・「夏休みこどもフェスタ 2024」未就学児対象親子アートワークショップワークショップファシリテーター/沖縄県立博物館・美術館企画（2021～2024 年毎年実施） ・「美術の先生がつくった作品展 2023」アートワークショップファシリテーター/沖縄県文化振興会 2023 文化活動支援助成事業/沖縄県立博物館・美術館 ・「こども環境学会 2023 年沖縄大会」保育士・保育事業者関係者向けワークショップファシリテーター/浦添市美術館 ・「漫湖みんなでミュージアム 2023」作品審査員 漫湖水鳥・湿地センター主催 ・「お花やはっぱのカラフルカーテン」未就学児対象親子アートワークショップワークショップファシリテーター/沖縄県文化振興会 2022 文化活動支援助成事業/協力：漫湖水鳥・湿地センター ・美ら島おきなわ文化祭 2022/第 37 回国民文化祭 第 22 回全国障害者芸術・文化祭造形ワークショップファシリテーター/障害者と健常者の交流事業 ・「ムービングお絵かき」2020 /公民館 2 箇所、沖縄こどもの国ワンダーミュージアム/沖縄県文化振興会助成事業 ・「こども対象アートワークショップ」2019/アートワークショップファシリテーター/NPO 法人こども医療支援わらびの会/沖縄県立南部医療センター・こども医療センター